

平成29年度 花之木地区市民センター耐震補強及び共用トイレ改修工事

No	図面名称	No	図面名称	No	図面名称
A01	改修特記仕様書No1	S01	耐震補強工事特記仕様書・鉄骨標準図	E01	電気設備工事 特記仕様書
A02	改修特記仕様書No2	S02	現況 基礎伏図 基礎詳細図(参考)	E02	電気設備工事 設備図
A03	配置図・付近見取り図・建物概要・仕上表	S03	梁伏図(補強前後)		
A04	現況 平面図	S04	軸組図(補強前後)		
A05	改修後 平面図	S05	補強詳細図	M01	機械設備工事 特記仕様書
A06	立面図 現況改修後 断面図			M02	機械設備工事 凡例・衛生機器表・機器表
A07	現況・改修後 平面詳細図			M03	機械設備工事 平面詳細図(現況・改修後)給排水衛生設備
A08	現況・改修後 矩計図			M04	機械設備工事 平面詳細図(現況・改修後)空調換気設備
A09	現況・改修後 展開図No1				
A10	現況・改修後 展開図No2				
A11	建具表				
A12	現況・改修後 床伏図				
A13	現況・改修後 天井伏図				
A14	部分詳細図No1				
A15	部分詳細図No2				
A16	仮設計画図				

工事名 平成29年度 花之木地区市民センター 耐震補強及び共用トイレ改修工事

I 工事概要

1. 工事場所 伊賀市大内地区

2. 工事内容 建物名：花之木地区市民センター

・上記建物の耐震補強工事

・耐震補強工事に伴う内装工事

・耐震補強工事に伴う設備工事

・トイレ改修工事

II 建築改修工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「三重県公共工事共通仕様書」、「公共建築改修工事標準仕様書」(以下「改標仕」)による。

2. 特記仕様

(1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2)特記事項は、◎の付いたものを適用する。

◎印が付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

◎印と※印の付いた場合は、共に適用する。

(3)特記事項に記載の()内表示番号は建築改修工事標準仕様書の当該図又は当該表を示す。

章	項目	特記事項
一般 共通 事項	①適用基準等	◎公共建築改修工事標準仕様書 国土交通大臣官庁官庁営繕部監修(平成28年版) ◎建築工事標準詳細図 建設大臣官庁官庁営繕部監修(平成28年版) ・プラント再生舗装技術指針 日本道路協会(平成4年版)
	②工事実績情報の登録等	◎受注者は、受注時において工事請負代金額500万円以上の工事について、工事実績情報サービス(CORINS)に基づき受注時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けたうえで、10日以内に登録申請しなければならない。 また、(財)日本建設情報センター発行の「工事カルテ受領書」が受注者に届いた場合は、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。
	③発生材の処理等	・引き渡しを要するもの() (1.1.13) ・特別管理産業廃棄物 ※有() 処理方法() ・現場において再利用を図るもの() ◎再生資材の利用を図るもの ・アスファルトコンクリート塊 ◎セメントコンクリート塊 ・建設発生木材 ◎引渡を要するものについては調査作成し、監督員へ提出すること。 ◎引渡を要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適切処理し、監督員に報告する。(マニフェストA票とE票については写しと種類別集計表を作成して提出すること。)
	④施工条件	・監督員と協議し決定する。 (1.3.5) 施工可能日◎指定あり(夏休み期間中は全日、その他は土日) 施工可能時間帯 ※指定なし ◎監督員と打合せの上決定 部別別の施工順序 ◎指定なし 工事車両の駐車場 ※指定なし ・図示 ◎監督員と打合せの上決定 資材置場 ※指定なし ・図示 ◎監督員と打合せの上決定
	⑤技能士	◎職種別に可能なものについては積極的に活用すること。 (1.6.2) ◎鉄筋工事◎コンクリート工事◎鉄骨工事・ブロック及びALCパネル工事 ◎防水工事・石工事・タイル工事・木工事・屋根及び樋工事◎左官工事 ◎塗装工事・建具工事・内装工事・植栽工事

⑥書類の書式	工事施工における提出書類は、次による <table border="1"><thead><tr><th>番号</th><th>提出書類</th><th>部数</th><th>提出期限</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td>工程表</td><td>1</td><td>契約締結後5日以内</td><td>実施工程表の書式等は、監督員の指示による。</td></tr><tr><td>2</td><td>火災保険又は 請負賠償責任保険等</td><td>2</td><td>加入後契約原本の写しを 直ちに</td><td>受取人→受注者 加入額→請負代金額 加入期間→内部造作開始又は 設備内部配管配線</td></tr><tr><td>3</td><td>工事履行状況 報告書</td><td>2</td><td>1ヶ月毎</td><td>写真</td></tr><tr><td>4</td><td>施工計画書</td><td>2</td><td>契約締結後30日以内</td><td></td></tr></tbody></table> ◎その他指示する書類	番号	提出書類	部数	提出期限	備考	1	工程表	1	契約締結後5日以内	実施工程表の書式等は、監督員の指示による。	2	火災保険又は 請負賠償責任保険等	2	加入後契約原本の写しを 直ちに	受取人→受注者 加入額→請負代金額 加入期間→内部造作開始又は 設備内部配管配線	3	工事履行状況 報告書	2	1ヶ月毎	写真	4	施工計画書	2	契約締結後30日以内	
番号	提出書類	部数	提出期限	備考																						
1	工程表	1	契約締結後5日以内	実施工程表の書式等は、監督員の指示による。																						
2	火災保険又は 請負賠償責任保険等	2	加入後契約原本の写しを 直ちに	受取人→受注者 加入額→請負代金額 加入期間→内部造作開始又は 設備内部配管配線																						
3	工事履行状況 報告書	2	1ヶ月毎	写真																						
4	施工計画書	2	契約締結後30日以内																							
⑦施工計画調査	調査 ◎行う (1.5.1) ◎本工事で事前に、給排水、ガス管、地下埋設物様の調査を行う。																									
⑧建築材料等	◎本工事に使用する建築材料等は、建設大臣官庁官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿」(平成28年版)(以下「評価名簿」という)及び別記記載の資材及び見積りメーカー(参考)又はこれらと同等とする。 ◎品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努めること。また、建設工事で得られた再生資源の活用はもちろんのこと、他産業の廃棄物で得られた再生資源についても利用促進を図るものとする。 ◎①合板、木質系フロリング、構造用パネ、集成材、単板積層材、MDF、パネラボード、その他の木質建材、UV樹脂及び仕上げ塗材は、ホルムアルデヒドを 発散しないか、F☆☆☆☆であること。または、該当製品が無い場合は、使用しようとする材料の比較資料を提出して監督員の確認を受けたものとする。 ② 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒドについては①とし、スプレンを発散しないものとし、該当製品が無い場合は、使用しようとする材料の比較資料を提出して監督員の確認を受けたものとする。 ③ 接着剤は、7-エポキシ樹脂系及び7-エポキシ樹脂系含有しない難揮発性の可塑性剤を使用し、ホルムアルデヒドについては①とし、7-エポキシ樹脂系、7-エポキシ樹脂系を含有しないものとし、該当製品が無い場合は、使用しようとする材料の比較資料を提出して監督員の確認を受けたものとする。 ④ ①から④の建築材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他什器等は、①から④の各項目による。																									
⑨リサイクル認定製品の利用	※本工事は三重県リサイクル製品利用推進条例に基づき認定製品を使用している。入手困難な場合は監督員と協議のうえ、他の同等の製品に変更することができる。																									
⑩施工中の安全管理	◎接着剤及び塗料の塗布にあたっては、使用方法及び塗布量を十分に管理し、適切な乾燥時間をとるものとする。また、施工時、施工後の通風、換気を十分に行い、室内に発散した化学物質等を室外へ放出させること。																									
⑪室内空気中の化学物質の濃度測定	◎本工事は、ホルムアルデヒド及び揮発性物質の発生抑制に努めること。 ※測定物質(○で示したものをとする。) ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、スズレン、ホルムアルデヒド、パラジクロロベンゼン、その他() ※対象箇所(※2箇所) ※測定方法(※パッシブ法 ・アクティブ法) ※報告書 2部																									
⑫特別な材料の工法	◎建築改修工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。																									
⑬騒音・振動の防止	◎低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定に基づき指定された建設機械をできる限り使用する。 ◎特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規制法及び振動規制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手する事とし、又、周辺住民からの苦情があった時は、工事を一時中断し、誠意をもって地元調整を行い、工事の再開は監督員の承認を得てから行うこと。																									
⑭排出ガス対策建設機械の使用	◎排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械をできる限り使用する。																									
⑮工事写真	着工時一敷地及び周辺の道路、建築物、工作物等の現況の撮影。(1部)工事中一進捗状況の撮影記録をすると共に、特に竣工後、隠れ又は埋設される部分は被写体に巾広テープを添えて撮影する。(1部)																									
⑯完成図等	◎作成する ◎完成図 ・保全に関する資料) ◎A3 1部 (1.8.2) ◎完成図作成範囲(全ての図面) 完成図の著作権にかかる権利は発注者に移譲するものとする。 完成図はJWWファイルとする。																									
⑰完成写真	◎合紙貼り1部(カラーA3版、) 700mm1部(大きさ335mm×290mm程度、カラーA3版) ◎箇所数は外観4面各室2面程度とする。規定の箇所数が確保できない場合には、監督員と協議すること。																									
⑱設備工事との取合い	施工範囲 ・図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強 ◎図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強 ・自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 ・駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び操作スイッチ 施工図 設備機器の位置、取合いなどの検討できる施工図を提出して、監督員の承認を受ける。 ◎基準高さは：既存地中梁天端を基準高さとする。																									

⑰養生その他	⑰養生その他	工事施工に際し、在来部分を汚損した場合又は損傷した場合は、構造・仕上げ共在来にならぬ補修する。																				
	⑱事故報告	工事施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督員に通報するとともに、事故の発生報告書を監督員に速やかに提出すること。																				
⑲工事期間	⑲工事期間	※監督員と打合せの上決定																				
	⑳施工図	◎施工図の作成範囲：鉄骨ブレース																				
㉑仮設	㉑仮設																					
	㉒外部足場	外部足場の種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (2.2.1)(表2.2.1) 外部足場の保護シート等による養生 ・適用する ・適用しない (2.2.1)																				
㉓材料、撤去材等の運搬	㉓材料、撤去材等の運搬	種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 (表2.2.2)																				
	㉔既存アライトカーテン等の養生	養生方法 カーテン脱着 (2.3.1) 保管場所 ※構内既存施設内																				
㉕仮設間仕切り	㉕仮設間仕切り	・A種 ◎B種 ・C種 (2.3.2)(表2.3.1) ◎面材の種類：合板5.5mm 合板又は石こうボードの塗装 ・行う ◎行わない																				
	㉖受注者事務所	◎設置する 10 m程度 (2.4.1)																				
㉗仮設便所	㉗仮設便所	・男女別ユニットトイレ汲取式 ◎共用型1穴ユニットトイレ汲取式																				
	㉘工事用水	構内既存の施設 ◎利用できる ◎有償 ・無償) ※利用できない																				
㉙工事用電力	㉙工事用電力	構内既存の施設 ◎利用できる ◎有償 ・無償) ※利用できない																				
	㉚シーリング用材料	(表3.7.1) <table border="1"><thead><tr><th>種別</th><th>材種</th><th>施工箇所</th></tr></thead><tbody><tr><td>◎シリコン系 SR-1</td><td>シリコン系</td><td>ガラス、メラミン化粧板、化粧台廻り</td></tr><tr><td>・シリコン系 SR-2</td><td>シリコン系</td><td></td></tr><tr><td>◎変成シリコン系 MS-2</td><td>変成シリコン系</td><td>アルミドアカバー工法廻り</td></tr><tr><td>・シリカフリー系 PS-2</td><td>シリカフリー系</td><td></td></tr><tr><td>・シリカフリー系 PU-2</td><td>シリカフリー系</td><td></td></tr><tr><td>・アクリル系 AC-1</td><td>アクリル系</td><td></td></tr></tbody></table> 接着性試験 ・簡易接着性試験 ・引張接着性試験 (3.7.8) ◎行わない	種別	材種	施工箇所	◎シリコン系 SR-1	シリコン系	ガラス、メラミン化粧板、化粧台廻り	・シリコン系 SR-2	シリコン系		◎変成シリコン系 MS-2	変成シリコン系	アルミドアカバー工法廻り	・シリカフリー系 PS-2	シリカフリー系		・シリカフリー系 PU-2	シリカフリー系		・アクリル系 AC-1	アクリル系
種別	材種	施工箇所																				
◎シリコン系 SR-1	シリコン系	ガラス、メラミン化粧板、化粧台廻り																				
・シリコン系 SR-2	シリコン系																					
◎変成シリコン系 MS-2	変成シリコン系	アルミドアカバー工法廻り																				
・シリカフリー系 PS-2	シリカフリー系																					
・シリカフリー系 PU-2	シリカフリー系																					
・アクリル系 AC-1	アクリル系																					
㉛改修工法	㉛改修工法	◎かぶせ工法 ◎カバー工法 ・持出し工法 ・ノンシーリング工法) (5.1.3) ・撤去工法 (・はつり工法 ・引抜き工法)																				
	㉜建具金物	7-アルミニウム及び7-アルミニウム合金の表面処理の種別 (表5.2.2) ◎B-1 無着色陽極酸化塗装複合皮膜 JIS H8602																				
㉝閉閉式上引引装置	②建具用金物	金物の見掛かり部等の材質 (5.7.2) ◎改共仕表5.7.1(その1)(その2)による ・マスターキー ・製作する ◎製作しない (5.7.4)																				
	③閉閉式上引引装置	性能値等 (5.9.3)(表5.9.1)																				
㉞ガラス	④ガラス	板ガラス (5.13.2) <table border="1"><thead><tr><th>種別</th><th>厚さ</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>◎フロート板ガラス</td><td>3mm 5mm</td><td></td></tr><tr><td>◎型板ガラス</td><td>4mm</td><td></td></tr><tr><td>・網入り板ガラス</td><td>6.8</td><td>・ひし綱 ・角綱</td></tr><tr><td>・線入り板ガラス</td><td></td><td></td></tr></tbody></table> 材料板ガラスの種類及び厚さ等	種別	厚さ	備考	◎フロート板ガラス	3mm 5mm		◎型板ガラス	4mm		・網入り板ガラス	6.8	・ひし綱 ・角綱	・線入り板ガラス							
	種別	厚さ	備考																			
◎フロート板ガラス	3mm 5mm																					
◎型板ガラス	4mm																					
・網入り板ガラス	6.8	・ひし綱 ・角綱																				
・線入り板ガラス																						
⑤ガラスとめ材	⑤ガラスとめ材 (5.13.2(b)) <table border="1"><thead><tr><th>建具の種類</th><th>種類</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">アルミニウム製</td><td>・ガスケット ※グレイゾングリッド(粘り付き型)</td></tr><tr><td>・シーリング材</td></tr><tr><td rowspan="2">鋼製</td><td>◎シーリング材 ・ガスケット</td></tr><tr><td>・シーリング材</td></tr></tbody></table> 板ガラスをはめ込む溝の大きさ ※表5.13.11による(枠見込み70mmの7-アルミニウム製建具の場合(強化、合わせ、倍強度ガラスを用いる場合を除く))	建具の種類	種類	アルミニウム製	・ガスケット ※グレイゾングリッド(粘り付き型)	・シーリング材	鋼製	◎シーリング材 ・ガスケット	・シーリング材													
建具の種類	種類																					
アルミニウム製	・ガスケット ※グレイゾングリッド(粘り付き型)																					
	・シーリング材																					
鋼製	◎シーリング材 ・ガスケット																					
	・シーリング材																					

①一般事項	①一般事項	既存間仕切り壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲 (6.1.3(b)) <table border="1"><thead><tr><th>改修部分</th><th>改修範囲</th></tr></thead><tbody><tr><td>◎天井</td><td>図示による</td></tr><tr><td>◎壁</td><td>図示による</td></tr><tr><td>◎床</td><td>図示による</td></tr></tbody></table> 天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲 (図示による) (6.1.3(c)) 天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修 (6.1.3(f)) ◎行う(図示による) ・行わない ◎既存床撤去下地補修 既存床仕上げ材の除去等 (6.2.2(a)(1)) 浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去 ・行う ◎行わない 改修後の床の清掃範囲 (6.2.2(c)) (施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲) ◎既存壁撤去下地補修 既存間仕切り壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法 (6.3.2) (図示による) ◎木下地等 表面仕上げ ・A種 ◎B種 ・C種 (6.5.1(c))(表6.5.1) 木材の含水率(工事現場搬入時、質量比) (6.5.2(a)(1))(表6.5.2) <table border="1"><thead><tr><th>部材名称</th><th>種別</th></tr></thead><tbody><tr><td>構造材、下地材</td><td>◎A種 ・B種</td></tr><tr><td>造作材</td><td>◎A種 ・B種</td></tr></tbody></table> 造作材の等級 (6.5.2(b)(2)(iii))(表6.5.3) <table border="1"><thead><tr><th>使用箇所</th><th>部材名称</th><th>等級</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">生地のまま又は透明塗装塗りの場合</td><td rowspan="2">枠、額縁、敷居、かも居、かまの類</td><td>◎A種(ただし、見掛かりの面)・B種</td></tr><tr><td>押入、戸棚等の内面造作の類 ・A種 ・B種</td></tr><tr><td colspan="2">不透明塗料塗りの場合</td><td>◎A種 ・B種</td></tr></tbody></table> 構造材及び下地材の等級 (6.5.2(b)(2)(iv)) <table border="1"><thead><tr><th>部材名称</th><th>等級</th><th>部材名称</th><th>等級</th></tr></thead><tbody><tr><td>下地材</td><td>米栴</td><td>造作材</td><td>米栴</td></tr><tr><td>下地材</td><td>桧</td><td></td><td></td></tr></tbody></table> 代用樹種の使用 ・禁止する ◎禁止しない (表6.5.4) ◎軽量鉄骨天井下地 ◎軽量鉄骨壁下地 ◎ピニル床シート ◎ピニル床シート【JIS A5705(ピニル系床材)】 (6.8.2(a)) <table border="1"><thead><tr><th>種類の記号</th><th>色柄</th><th>厚さ</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>T S</td><td>無地</td><td>2.0mm</td><td></td></tr></tbody></table> ◎その他 (6.8.2(c)) <table border="1"><thead><tr><th>種類</th><th>性能</th><th>厚さ</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>超防汚性ピニル床シート</td><td>超防汚性、抗菌、防かび、耐薬品、美歩行</td><td>2.0mm</td><td></td></tr></tbody></table> 工法 下地 ◎モルタル下地 ・木下地 ・その他 (6.8.3(a)) ピニル床シート張り熱溶接工法 ◎適用する ・適用しない (6.8.3(b)) ◎敷敷き 種別 ・A種 ・B種 ◎C種 ・D種 (6.12.2)(表6.12.1)	改修部分	改修範囲	◎天井	図示による	◎壁	図示による	◎床	図示による	部材名称	種別	構造材、下地材	◎A種 ・B種	造作材	◎A種 ・B種	使用箇所	部材名称	等級	生地のまま又は透明塗装塗りの場合	枠、額縁、敷居、かも居、かまの類	◎A種(ただし、見掛かりの面)・B種	押入、戸棚等の内面造作の類 ・A種 ・B種	不透明塗料塗りの場合		◎A種 ・B種	部材名称	等級	部材名称	等級	下地材	米栴	造作材	米栴	下地材	桧			種類の記号	色柄	厚さ	備考	T S	無地	2.0mm		種類	性能	厚さ	備考	超防汚性ピニル床シート	超防汚性、抗菌、防かび、耐薬品、美歩行	2.0mm	
	改修部分	改修範囲																																																				
◎天井	図示による																																																					
◎壁	図示による																																																					
◎床	図示による																																																					
部材名称	種別																																																					
構造材、下地材	◎A種 ・B種																																																					
造作材	◎A種 ・B種																																																					
使用箇所	部材名称	等級																																																				
生地のまま又は透明塗装塗りの場合	枠、額縁、敷居、かも居、かまの類	◎A種(ただし、見掛かりの面)・B種																																																				
		押入、戸棚等の内面造作の類 ・A種 ・B種																																																				
不透明塗料塗りの場合		◎A種 ・B種																																																				
部材名称	等級	部材名称	等級																																																			
下地材	米栴	造作材	米栴																																																			
下地材	桧																																																					
種類の記号	色柄	厚さ	備考																																																			
T S	無地	2.0mm																																																				
種類	性能	厚さ	備考																																																			
超防汚性ピニル床シート	超防汚性、抗菌、防かび、耐薬品、美歩行	2.0mm																																																				

⑨せつこうボード
その他ボード及び
合板張り

(6.13.2) (表6.13.1)

名称	種類	規格、区分等	厚さ (mm)	
せつこうボード製品	せつこうボード (GP-R)		● 9.5 (準不燃)	
			● 12.5 (不燃)	
	壁		● 15.0 (不燃)	
			● 9.5 (準不燃)	
	天井		● 12.5 (不燃)	
			● 15.0 (不燃)	
	・ソノゾクせつこうボード (GP-S)		・12.5 (不燃) ・12.5 (準不燃)	
	・強化せつこうボード (GP-F)		・12.5 (不燃) ・	
	・せつこうボード (GP-L)		※ 9.5	
	・不燃積層せつこうボード (GP-NC)	模種無し	トラバーチン	※ 9.5 (不燃)
※ 9.5 (不燃)				
・化粧せつこうボード (GP-D)	普通	● トラバーチン	● 9.5 (準不燃)	
			● 木目模様	● 9.5 (準不燃) ・12.5 (不燃)
	特殊			
吸音材料	・ロックウール吸音ボード (RM-B)	1号	・2.5	
	・グラスウール吸音ボード (GM-B)	2号 32K	・2.5 ガラスクロス包	
	・ウレタン吸音ボード (UM)	内部用	普通	・9.0 (不燃) ・12
			立体模様	・12.0 (不燃) ・
		軒天用	普通	・9.0 (不燃) ・
		立体模様	・12.0 (不燃) ・	
繊維強化セメント	・0.8mm厚カルシウム板 (0.8FC)		・6.0	
合板	特殊	・天然木化粧合板	・なら ・しおじ 化粧単板 ※ 0.3未満	
		・特殊加工化粧合板	板 ※ 4.2	
	合板	・メラミン化粧合板	※ 3.0	
		・ポリエステル化粧合板	・	
有孔合板	・ナ	● 6.5		

合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの発散量
 ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆
 遮音シール材
 ・適用する (アクリル系シリング材・ジョイントコンパウンド) ●適用しない

⑩壁紙張り

ホルムアルデヒドの発散量 ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ (6.14.2)

施工箇所	品質の程度	防火性能
壁		不燃

品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。

⑪断熱材

ロックウール、グラスウール、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの発散量
 ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆

断熱材打込み工法 (9.5.2)

種類	種別	厚さ (mm)	施工箇所
・ビーズ法ポリスチレンフォーム	・	・	
● 押出法ポリスチレンフォーム	・保温板2種b	・2.5 ● 5.0	
	・保温板3種b	・2.5	
	・	・	
・硬質ウレタンフォーム	・	・5.0	

上記保温材は、特定フロンを含まないものとする。

断熱材現場発泡工法 (9.5.3)

難燃性	厚さ (mm)	施工箇所
・2級	・2.5	※窓回り等の断熱材補修部分、ムドレ回り
・3級	・	の床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所
		・

上記保温材は、特定フロンを含まないものとする。

⑫接着剤

壁紙施工用でん粉系接着剤、リウ樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒドの発散量
 ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆

⑥ 塗装
改修工事

①材料
建物内部に使用するリウ樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの発散量
 ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆
 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする (7.1.3)
 ・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所)

②下地調整

③錆止め塗料塗り

④合成樹脂調合ペイント塗り

⑤ポイント塗り

種別 (7.2.2~7.2.7) (表7.2.1~7.2.7)

下地	種別
・木部	・RA種 ●RB種 ・RC種
・鉄鋼面	●RA種 ・RB種 ・RC種
・亜鉛めっき面	・RA種 ※RB種 ・RC種
・珪藻土面、アラシ面	・RA種 ※RB種 ・RC種
・コンクリート、ACパネル面	・RA種 ※RB種 ・RC種
・コンクリート、押出成形セメント板面	・RA種 ・RB種 ・RC種
・せつこうボード、その他のボード	・RA種 ●RB種 ・RC種

塗料種別 (7.3.2) (表7.3.1)
 鉄鋼面錆止め塗料 ※A種 (屋外、屋内) ●B種 (屋内)
 錆止め塗料塗り種別 (7.3.3) (表7.3.3~7.3.4)
 鉄鋼面 ●A種 ・B種 ●C種
 亜鉛めっき面 ・A種 ・B種 ※C種

塗料種別 ※1種 (7.4.2)
 種別 (7.4.3~7.4.5) (表7.4.1~7.4.3)

下地	種別
・木部	●A種 ・B種 ・C種
・鉄鋼面	・A種 ※B種 ・C種
・亜鉛めっき面	・A種 ・B種 ・C種

種別 (7.14.2) (表7.14.1)

⑦ 耐震改修工事

①鋼材 ●S-01図による (8.2.8)

②高力ボルト ●S-01図による (8.2.9)

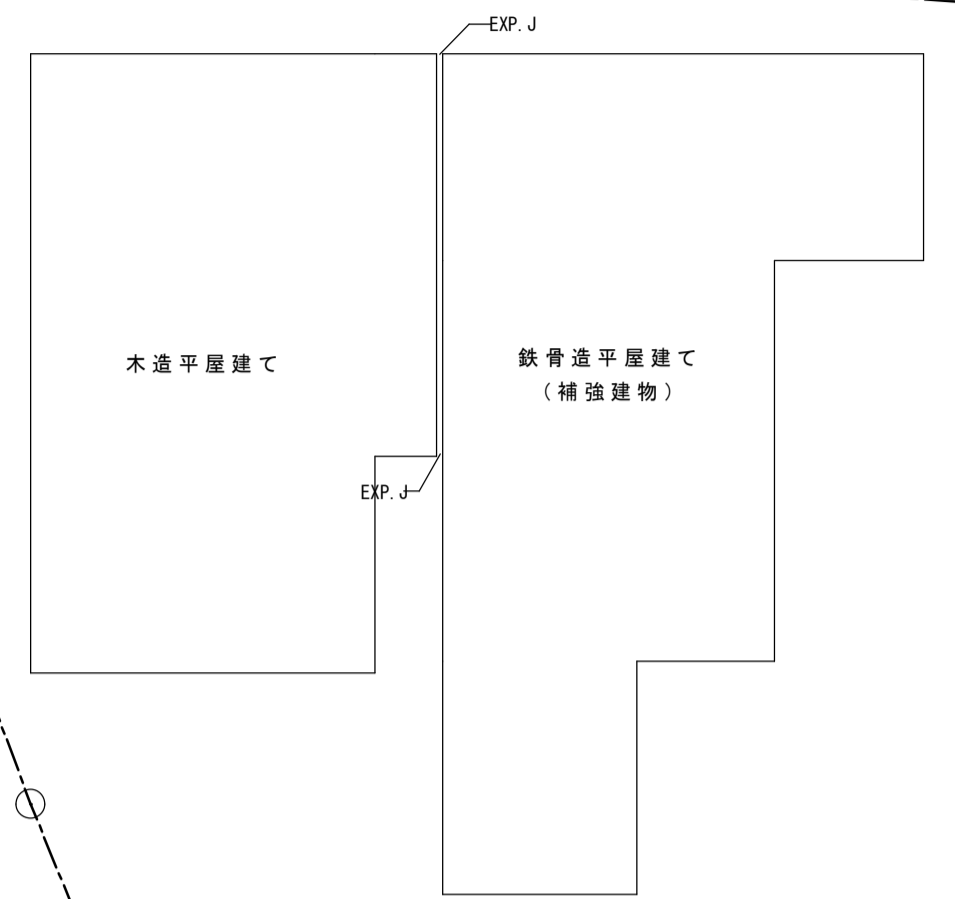
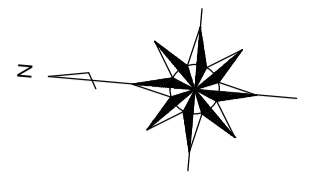
③溶接材料 ●S-01図による (8.2.10)

④鉄骨工作 ●S-01図による (8.12.2)

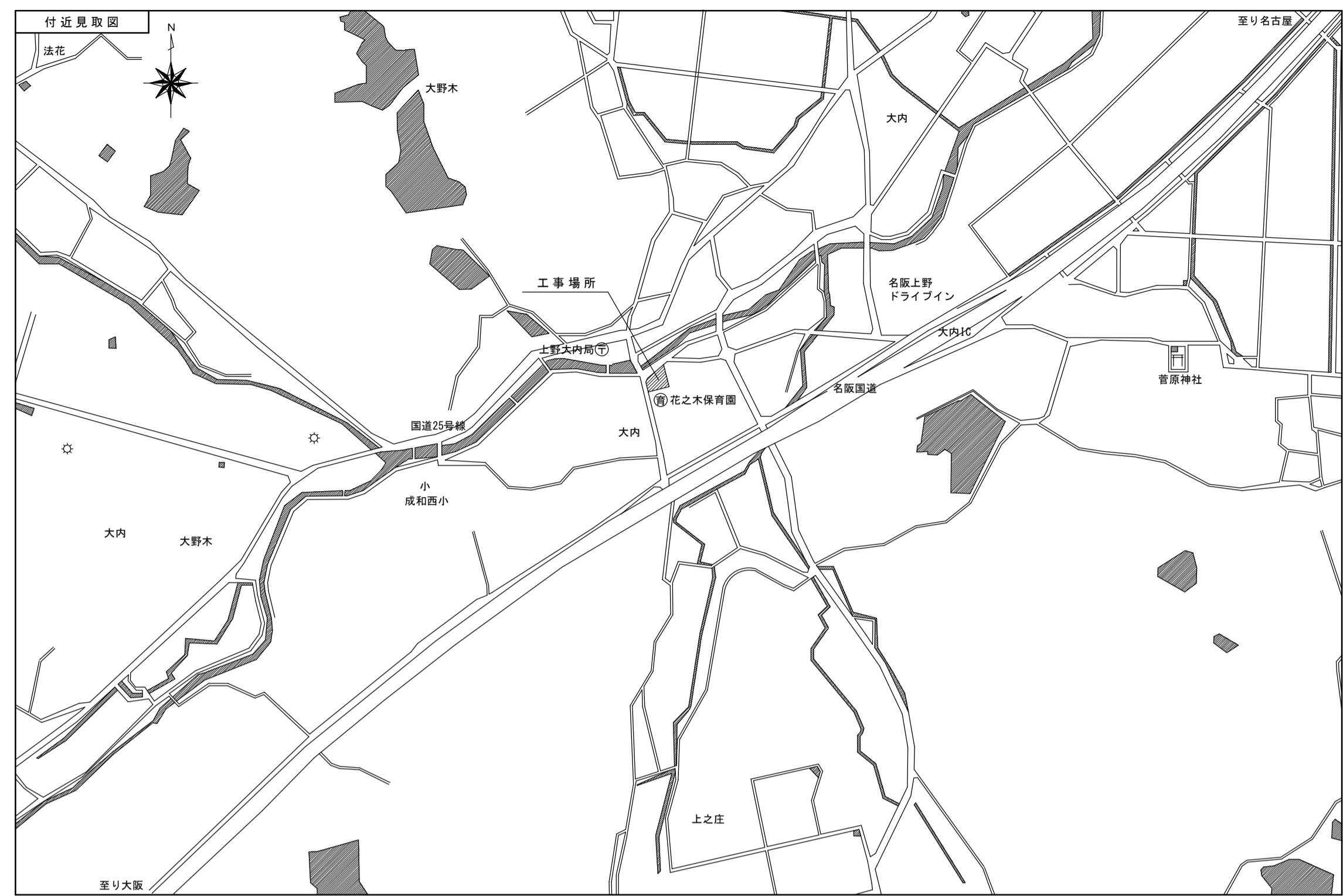
⑤高力ボルト接合 ●S-01図による (8.13.2)

⑥溶接管理技術者 ●適用する ・適用しない (8.14.2)

⑦錆止め塗料 鉄骨造の鉄部錆止め塗料の種別は、下記とする。 (8.16.2)
 ●JIS K 5674
 ●工場2回



配置図 S=1/200

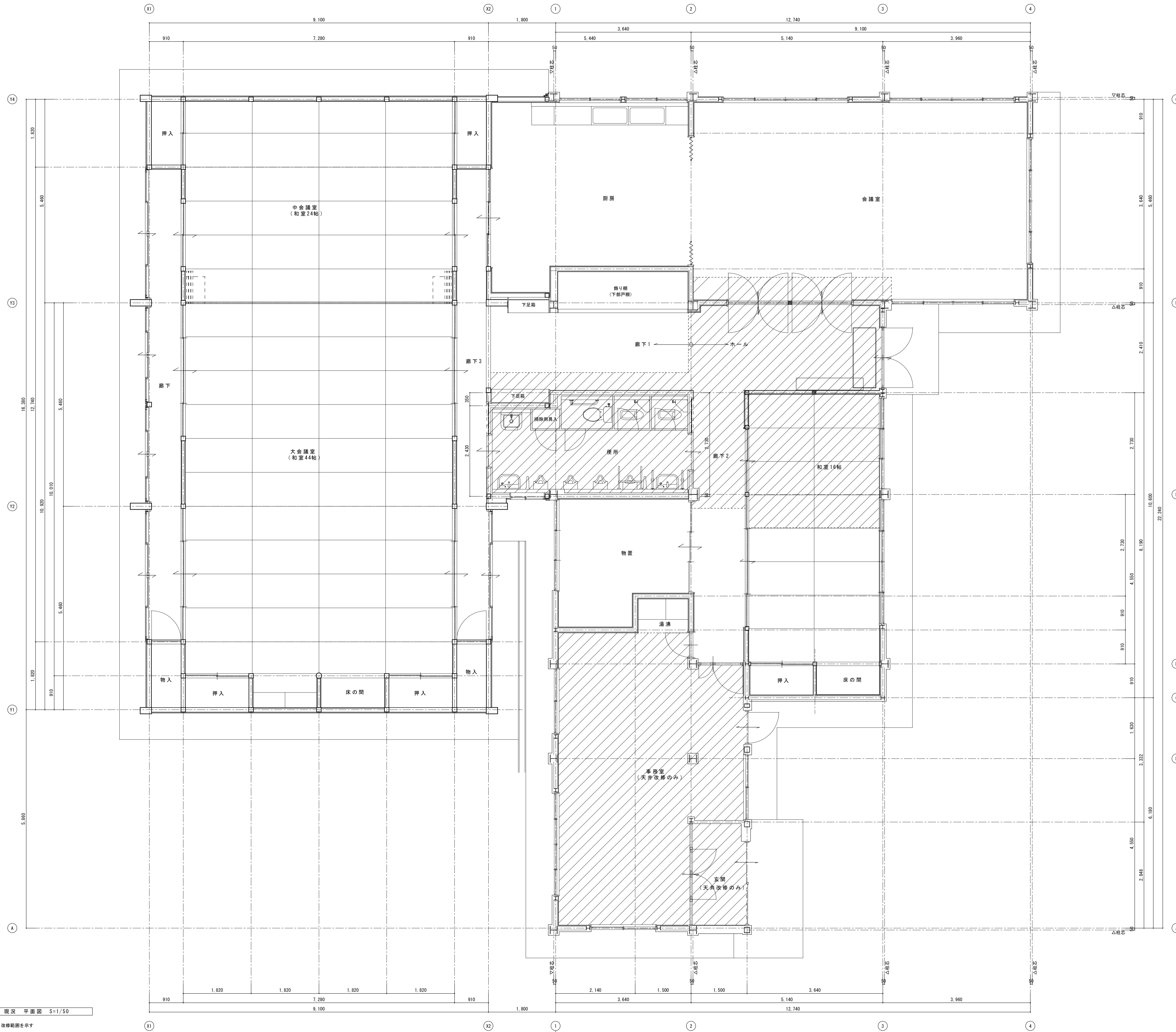


建物概要		
1	工事名称	花之木地区市民センター耐震補強工事
2	建築場所	伊賀市大内791-1
3	地域・地区	市街化調整区域 用途地域 指定無し
4	敷地面積	1071.09㎡
5	面積表	構造 鉄骨造+木造 平屋建て
		建築面積 356.35㎡
		延床面積 S造183.75㎡ 木造168.23㎡ 延べ面積351.98㎡

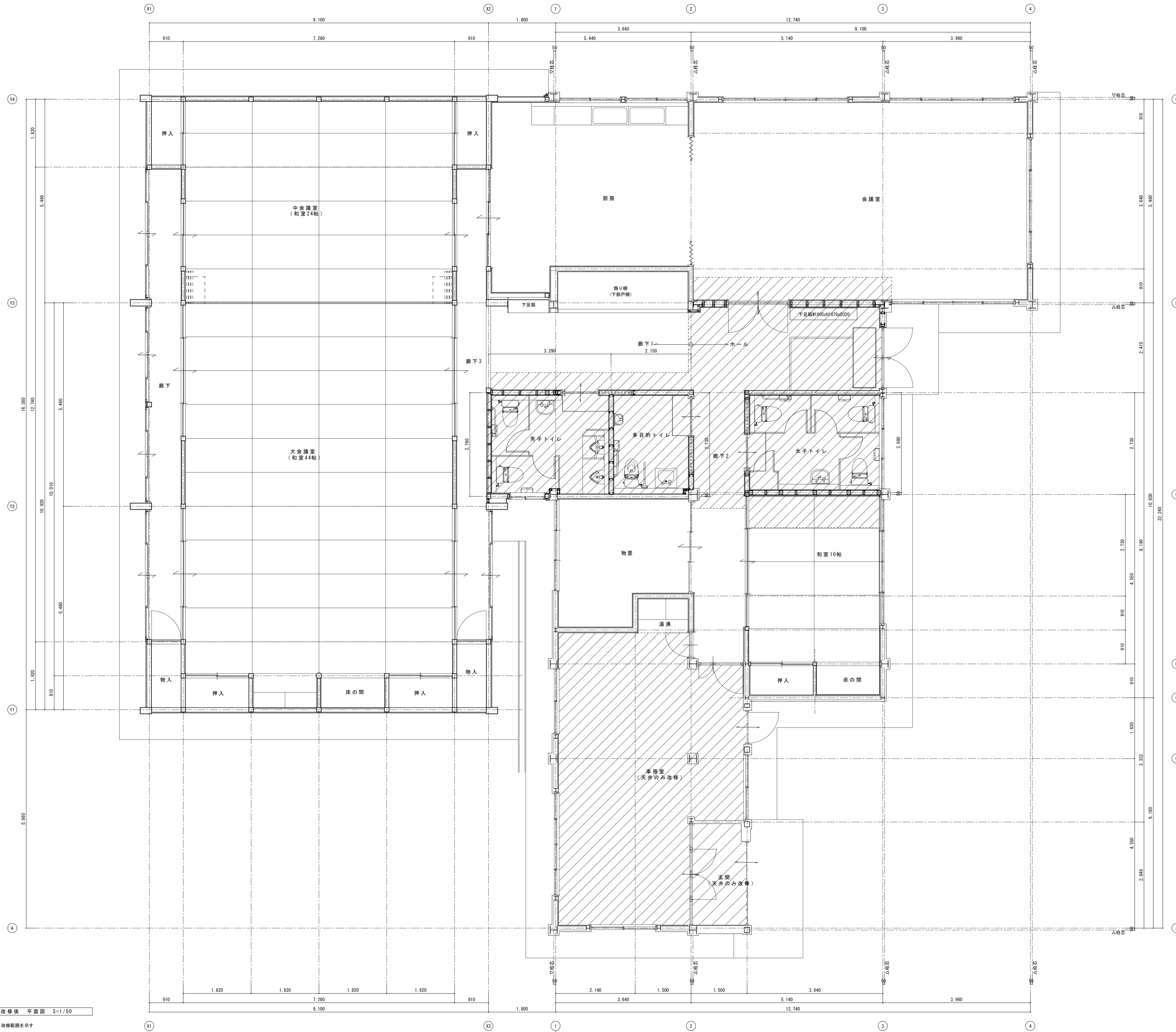
※下記仕上げ材料は、下記同等品とする。
 メラミン不燃化粧板：セウール（アイカ工業）同等品
 汚れれ耐板：ハイドロセラ・フロアPU（澤型）（TOTO）同等品
 超防汚性ビニル床シート：サニタリウム（ロンシール）同等品

内部仕上げ表

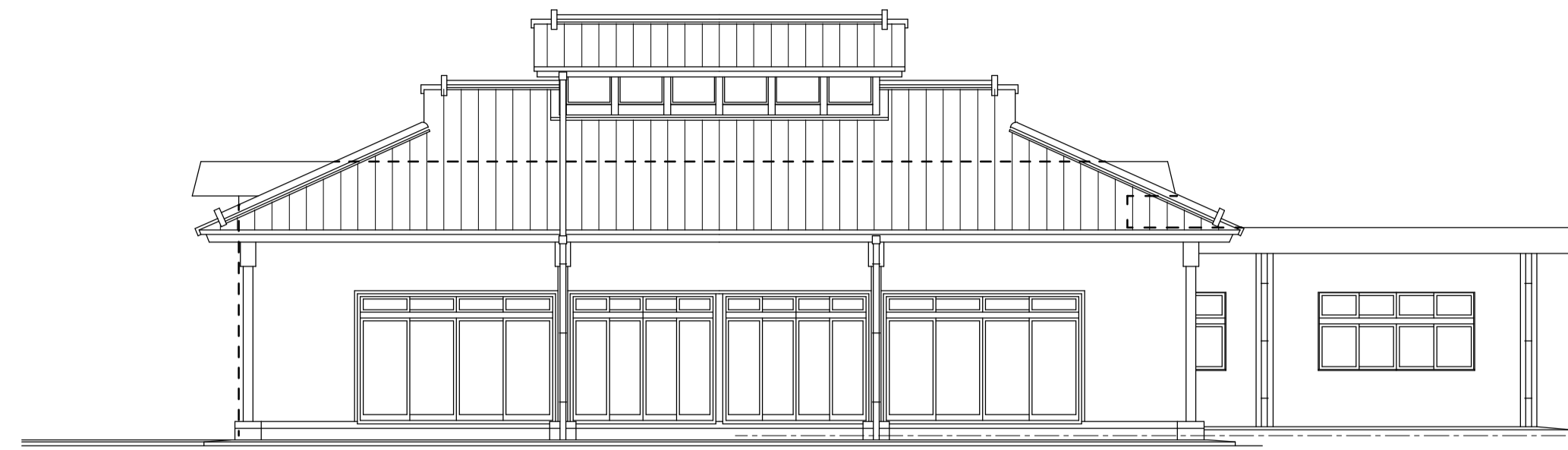
室名	階	仕上	床			中木			壁			天井			窓名	3-FW BOX	備考
			厚さ	仕上	厚さ	高さ	塗装	厚さ	塗装	厚さ	塗装	厚さ	塗装	天井高			
男子トイレ	改修後	仕上	超防汚性ビニル床シート 汚れれ耐板t=5	2	ABS樹脂+ステンレス箔	60	メラミン不燃化粧板	3	化粧PB	9.5	化粧PB	9.5	9.5	2.490	1	小便器x2、仕切り壁、洗風便器x2、L型手摺、紙巻器x2、洗面器、鏡、トイレブース、小便器手摺、ビクトサイン	
	下地	モルタルt=20+土間コンクリートt=120（ワイヤーメッシュφx150） スタyroフォームt=50+ポリエチレンフィルムt=0.15+捨てコンクリートt=30+砕石t=120															
多目的トイレ	改修後	仕上	超防汚性ビニル床シート	2	ABS樹脂+ステンレス箔	60	メラミン不燃化粧板	3	化粧PB	9.5	化粧PB	9.5	9.5	2.490	1	洋風便器、L型手摺、腰掛便器手摺、紙巻器、洗面器、鏡、ペーパーチェア、ビクトサイン	
	下地	モルタルt=20+土間コンクリートt=120（ワイヤーメッシュφx150） スタyroフォームt=50+ポリエチレンフィルムt=0.15+捨てコンクリートt=30+砕石t=120															
便所	現況	仕上	超防汚性ビニル床シート	2	ABS樹脂+ステンレス箔	60	メラミン不燃化粧板	3	化粧PB	9.5	化粧PB	9.5	9.5	2.500		洗面器x2、洗面器手摺、SK、小便器x4、小便器手摺、小便器仕切り板x2、撤去、和風便器x2（タンク共）、洗風便器、L型手摺、トイレブース、掃除用具入、鏡x2、撤去、紙巻器x3、片引き戸x2、カーテンレール 撤去	
	下地	モルタルt=20+土間コンクリートt=120（ワイヤーメッシュφx150） スタyroフォームt=50+ポリエチレンフィルムt=0.15+捨てコンクリートt=30+砕石t=120															
女子トイレ	改修後	仕上	超防汚性ビニル床シート	2	ABS樹脂+ステンレス箔	60	メラミン不燃化粧板	3	化粧PB	9.5	化粧PB	9.5	9.5	2.500	1	洋風便器x3、L型手摺、紙巻器x3、洗面器、鏡、トイレブース、掃除用具入、ビクトサイン	
	下地	モルタルt=20+土間コンクリートt=120（ワイヤーメッシュφx150） スタyroフォームt=50+ポリエチレンフィルムt=0.15+捨てコンクリートt=30+砕石t=120															
和室10帖	改修後	仕上	新張畳2枚	55	畳タタミ	55	ビニルクロス貼り						2.900				
	下地	コンパネ下地 既存のまま	9														
和室16帖	現況	仕上	畳8枚 撤去	55	畳タタミ 一部撤去	55	ビニルクロス貼り						2.900			引き違いガラス戸、引き違いガラス欄間、内障子6枚 撤去	
	下地	コンパネt=9+根太54x44x50+大引き90x90+土間コンクリートt=75 一部撤去 スタyroフォームt=25+ポリエチレンフィルムt=0.15+捨てコンクリートt=50+新張石t=100 一部撤去															
ホール	改修後	仕上	長尺塩ビシート (撤去箇所)	2	ラワン既製品 一部撤去	100	ビニルクロス貼り (撤去箇所)						2.690			ビクチャーレール 下反扉改修後移動	
	下地	土間コンクリート 既存のまま	73														
廊下	改修後	仕上	長尺塩ビシート 一部撤去	2	ラワン既製品 一部撤去	100	ビニルクロス 一部撤去						2.690			下反扉撤去、ビクチャーレール撤去	
	下地	モルタル下地 既存のまま	28														
廊下2	改修後	仕上	長尺塩ビシート (撤去箇所)	2	ラワン既製品 一部撤去	100	ビニルクロス貼り (撤去箇所)						2.690				
	下地	モルタル下地 既存のまま	28														
廊下3	改修後	仕上	長尺塩ビシート (撤去箇所)	2	ラワン既製品 一部撤去	100	ビニルクロス貼り (撤去箇所)						2.690				
	下地	土間コンクリート 既存のまま	73														
会議室	改修後	仕上	既存のまま		ラワン既製品 一部撤去	100	ビニルクロス 一部撤去						3.000			高開き戸x1撤去	
	下地	土間コンクリート	73														
事務室・玄関	改修後	仕上	既存のまま		ラワン既製品 一部撤去	100	ビニルクロス 一部撤去						2.800				
	下地	土間コンクリート	73														



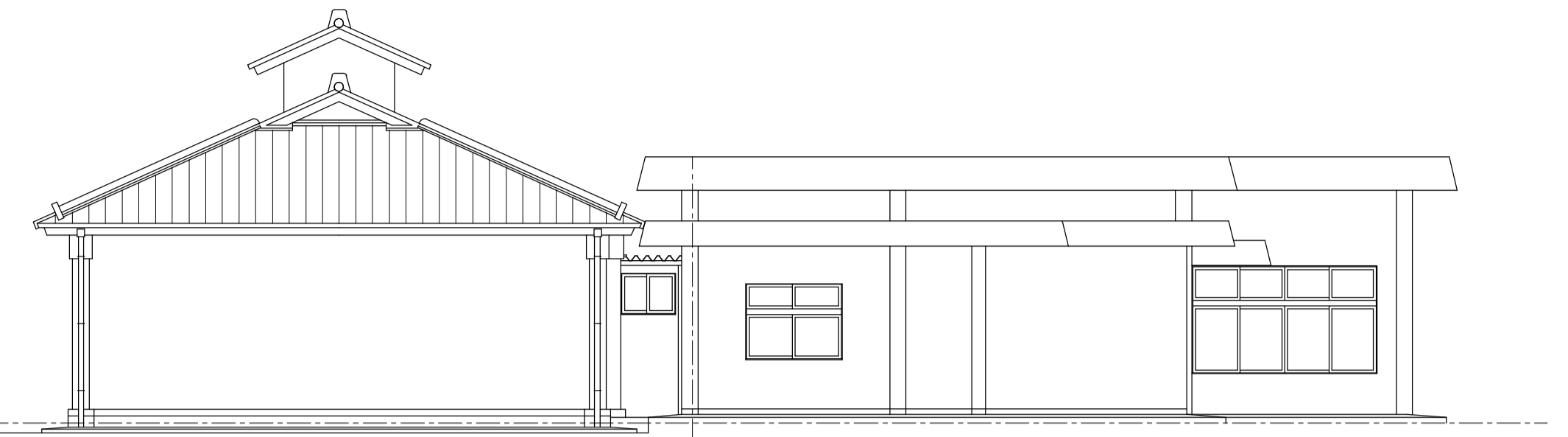
平成29年度 花之木地区市民センター耐震補強及び共用トイレ改修工事		
No.	伊賀市管内地区	A1版
A-04	現況平面図	1/50
日付		m/m
設計		棟員



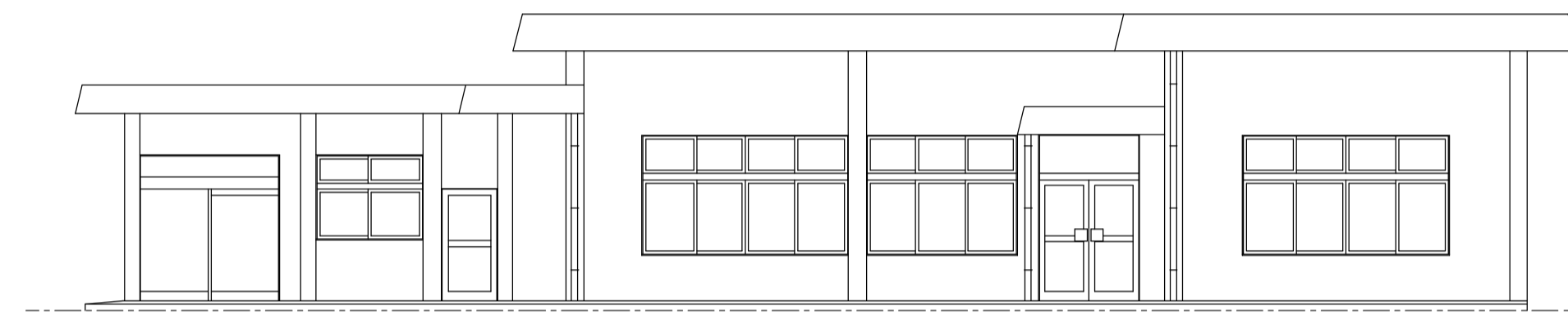
平成29年度 花之木地区市民センター耐震補強及び共用トイレ改修工事		
No.	伊賀市市内地区	A1版
A-05	改修後 平面図	1/50
日付		m/m
設計		棟員



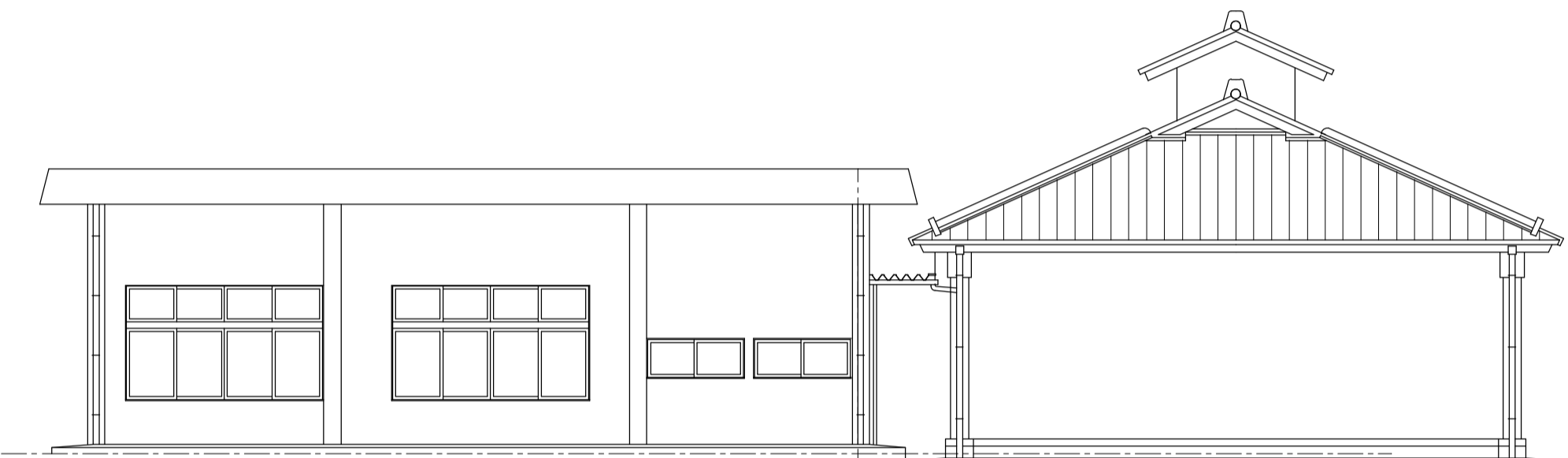
北側 立面図 S=1/100



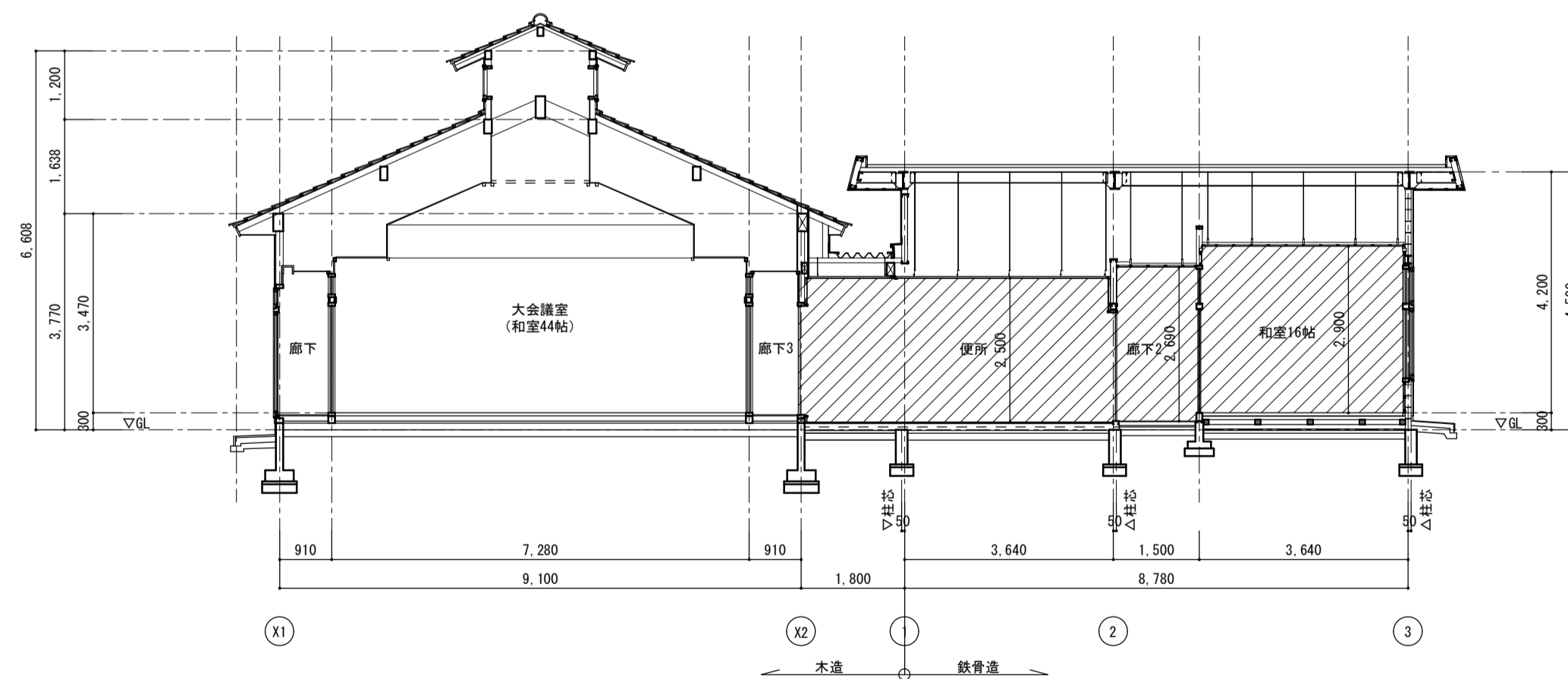
西側 立面図 S=1/100



南側 立面図 S=1/100

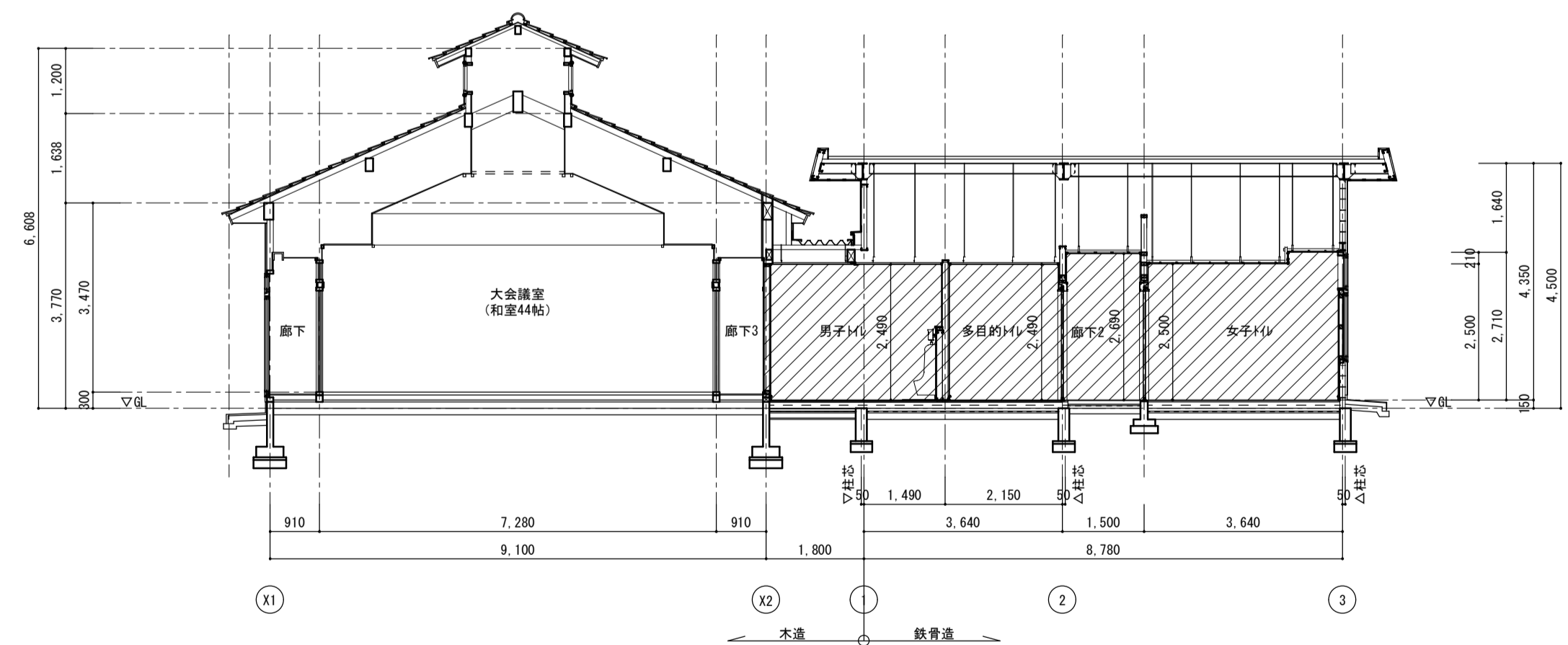


東側 立面図 S=1/100



現況 断面図 S=1/100

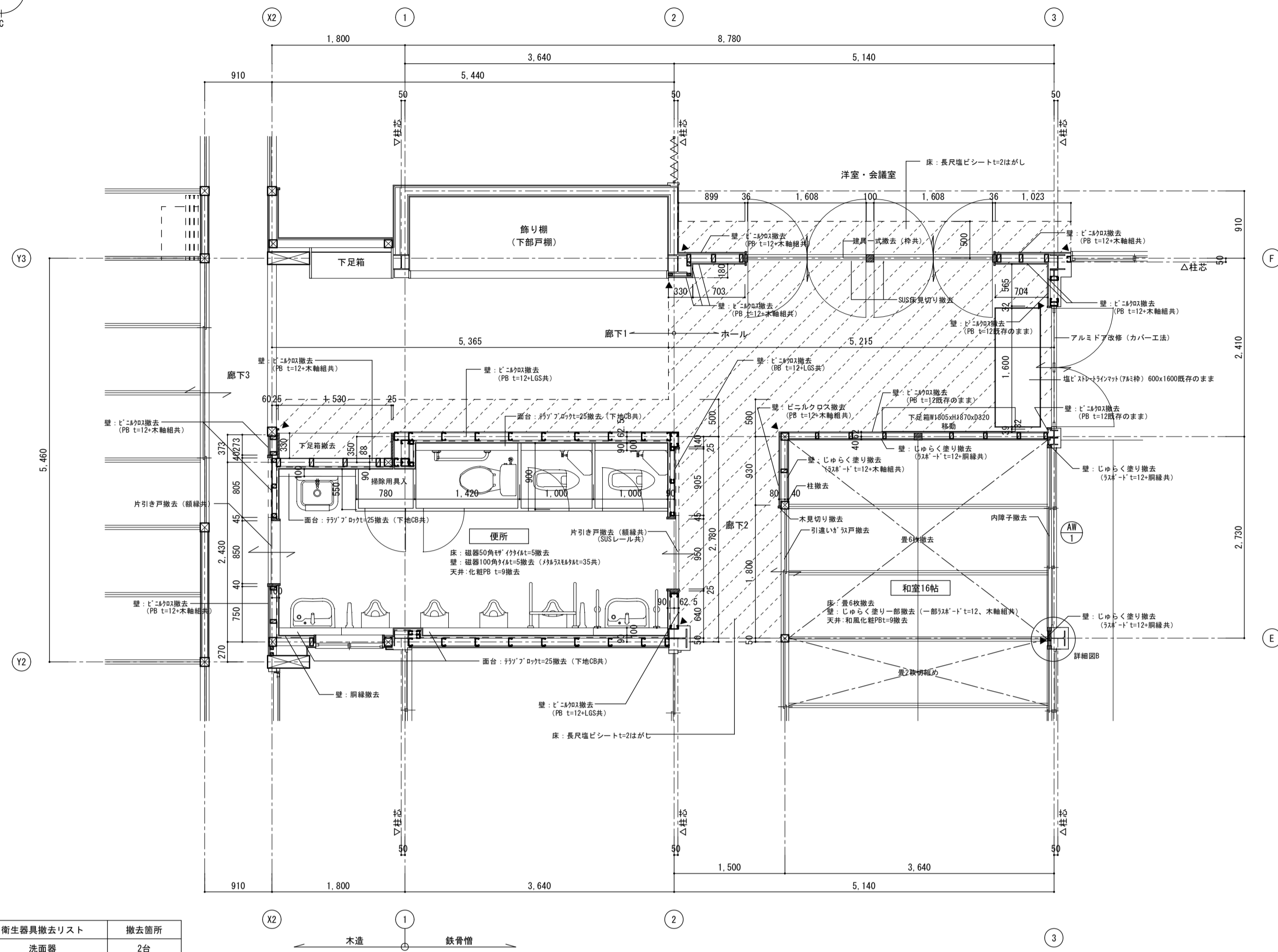
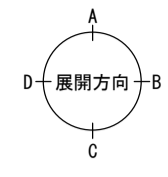
改修範囲を示す (天井、床については、伏図参照のこと)



改修後 断面図 S=1/100

改修範囲を示す (天井、床については、伏図参照のこと)

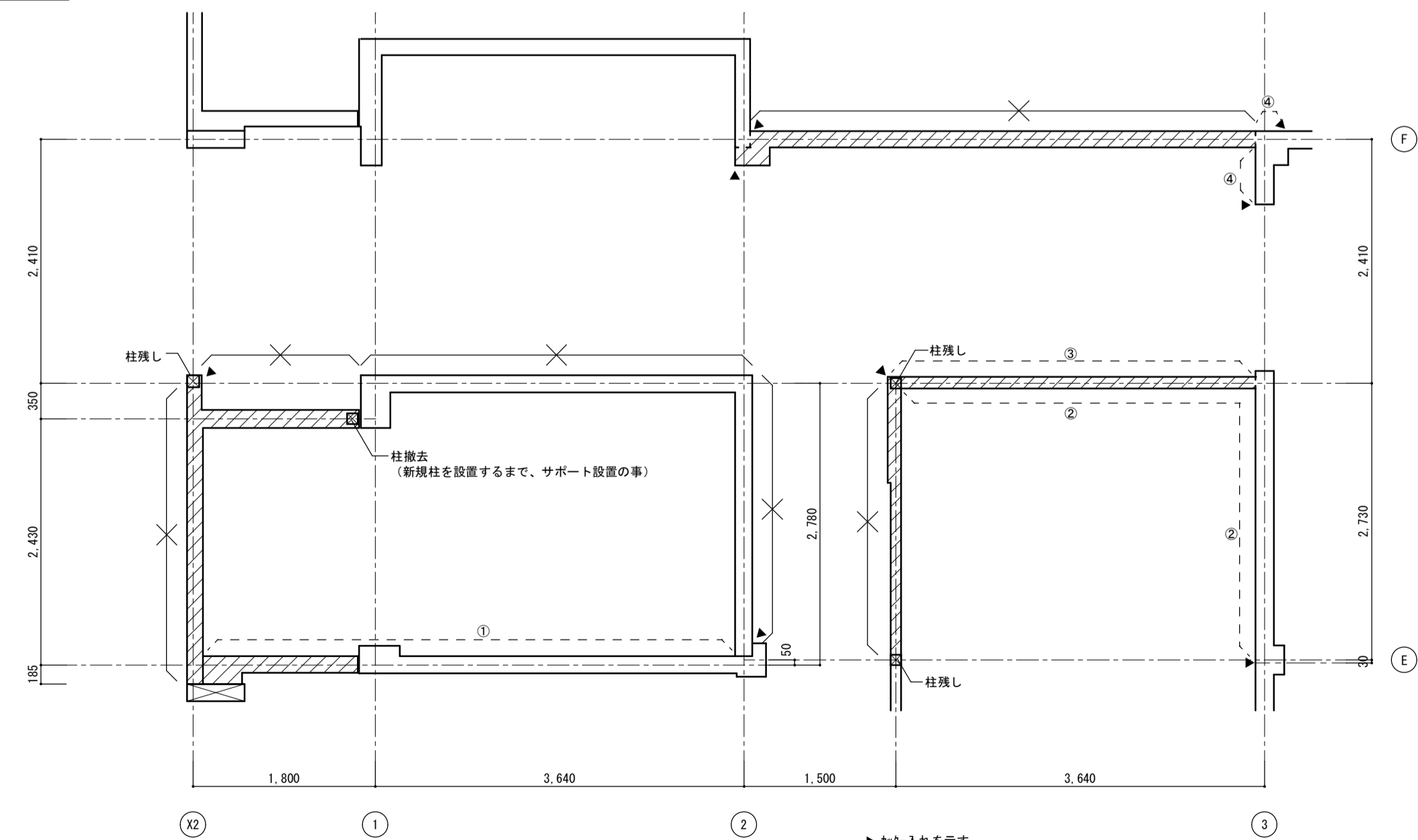
平成29年度 花之木地区市民センター耐震補強及び共用トイレ改修工事		
No.	伊賀市大内地区内	A1版
A-06	立面図 現況 改修後 断面図	1/100
日付:		棟名
設計		



衛生器具撤去リスト	撤去箇所
洗面器	2台
洗面器手摺	1台
SK	1台
小便器	4台
小便器手摺	1台
小便器仕切板	2枚
和風便器 (タンク共)	2台
洋風便器	1台
L型手摺	1台
紙巻器	3冊
トイレブース	1式
掃除用具入	1式
鏡	2枚

現況 平面詳細図 S=1/50

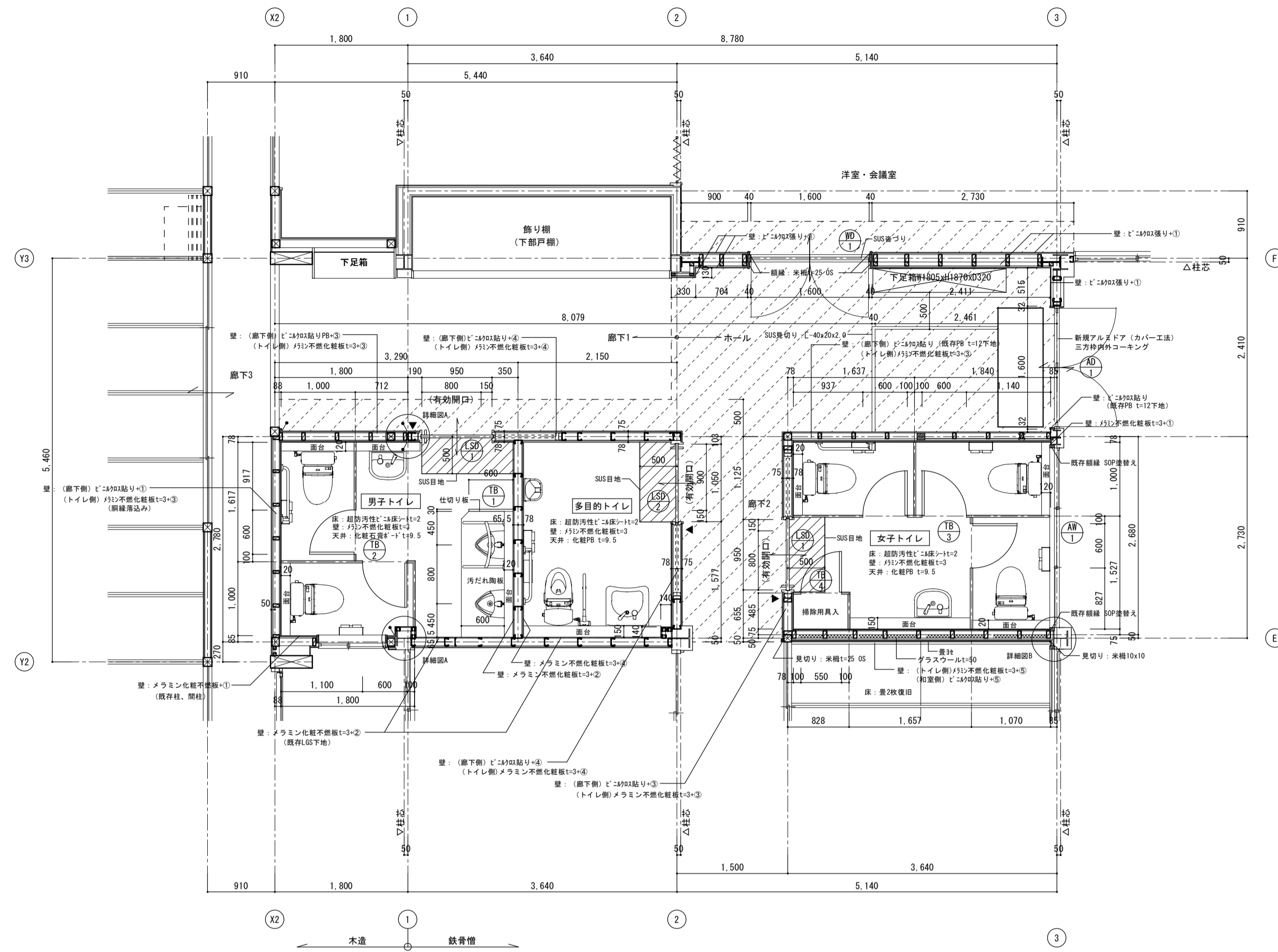
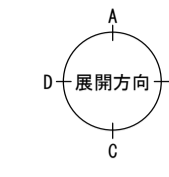
床: 長尺塩ビシートはがし
 エンジンは撤去
 床: 天井撤去については、伏図参照のこと
 ▲壁カッター入れを示す



現況 壁軸組撤去図 S=1/50

→カッター入れを示す
 既存LGS軸組を示す
 既存木軸組を示す
 軸組撤去 (表面仕上げとも)

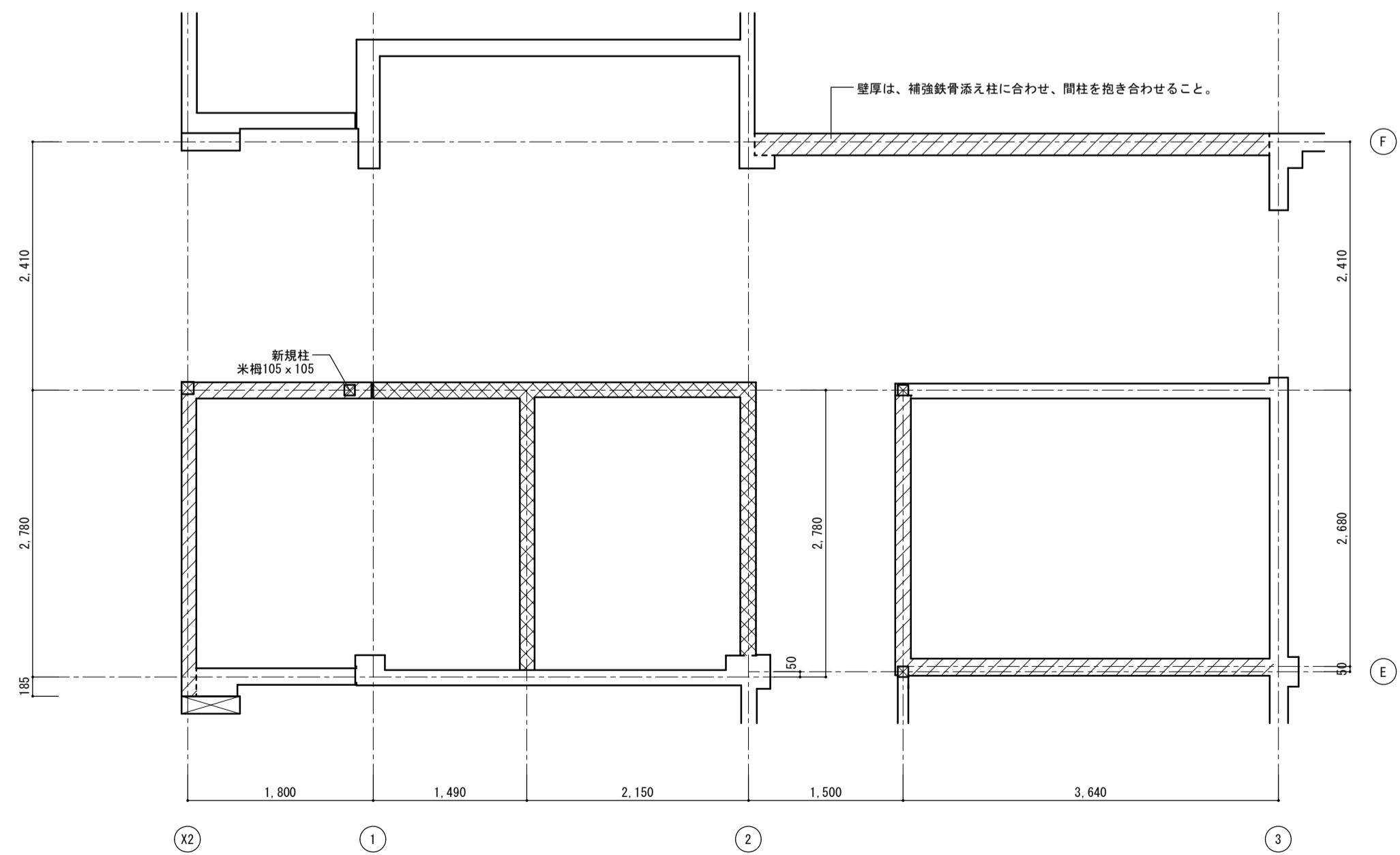
①壁: 縦割100角φ45×5-99×3389×1-35撤去 (木軸組は引継も撤去)
 ②壁: 巾着くまり+95×112×12-木軸組 撤去
 ③壁: 巾着くまり+95×112×12-木軸組 撤去
 ④壁: 巾着くまり+95×112×12撤去



改修後 平面詳細図 S=1/50

壁: 長尺塩ビシート
 床: 補助劣化シートの色分けを示す。 床: 505地盤厚212
 ▼ピクトサインを示す。
 床: 天井下については、伏図参照のこと
 壁: マラミン不燃化粧板
 手摺、小便器、ペーパーホルダーの設置箇所は、コンパネ112×225を貼付とする。
 壁: 第一層部分の撤去は、95×112×5を撤去しを基本とする。
 トイレベンチの撤去は、95×112×5を撤去しを基本とする。
 洗面器設置箇所は、伏図にて確認すること。
 床: 撤去部分には、下地調整を行うこと
 ▲壁カッター入れを示す

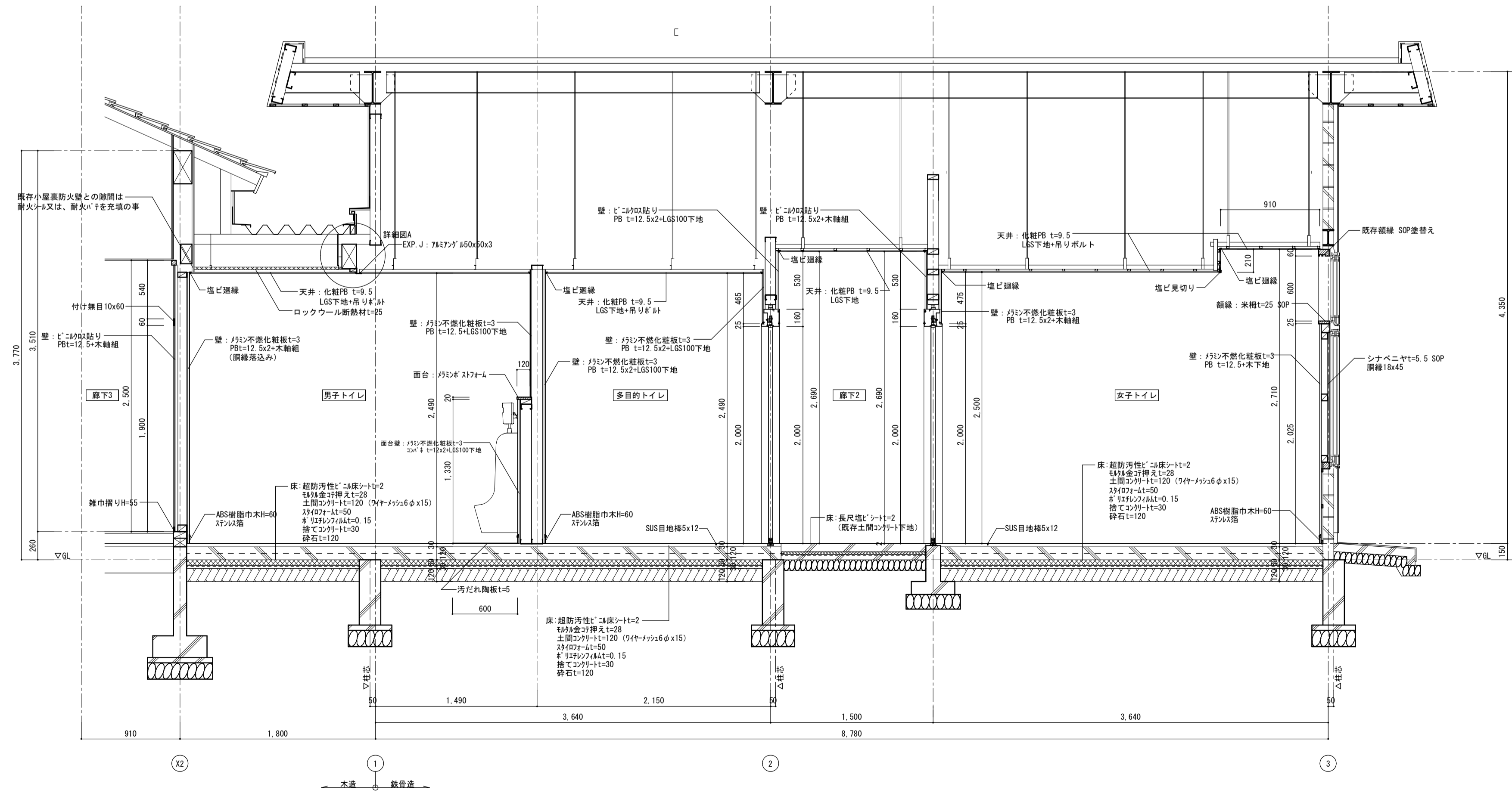
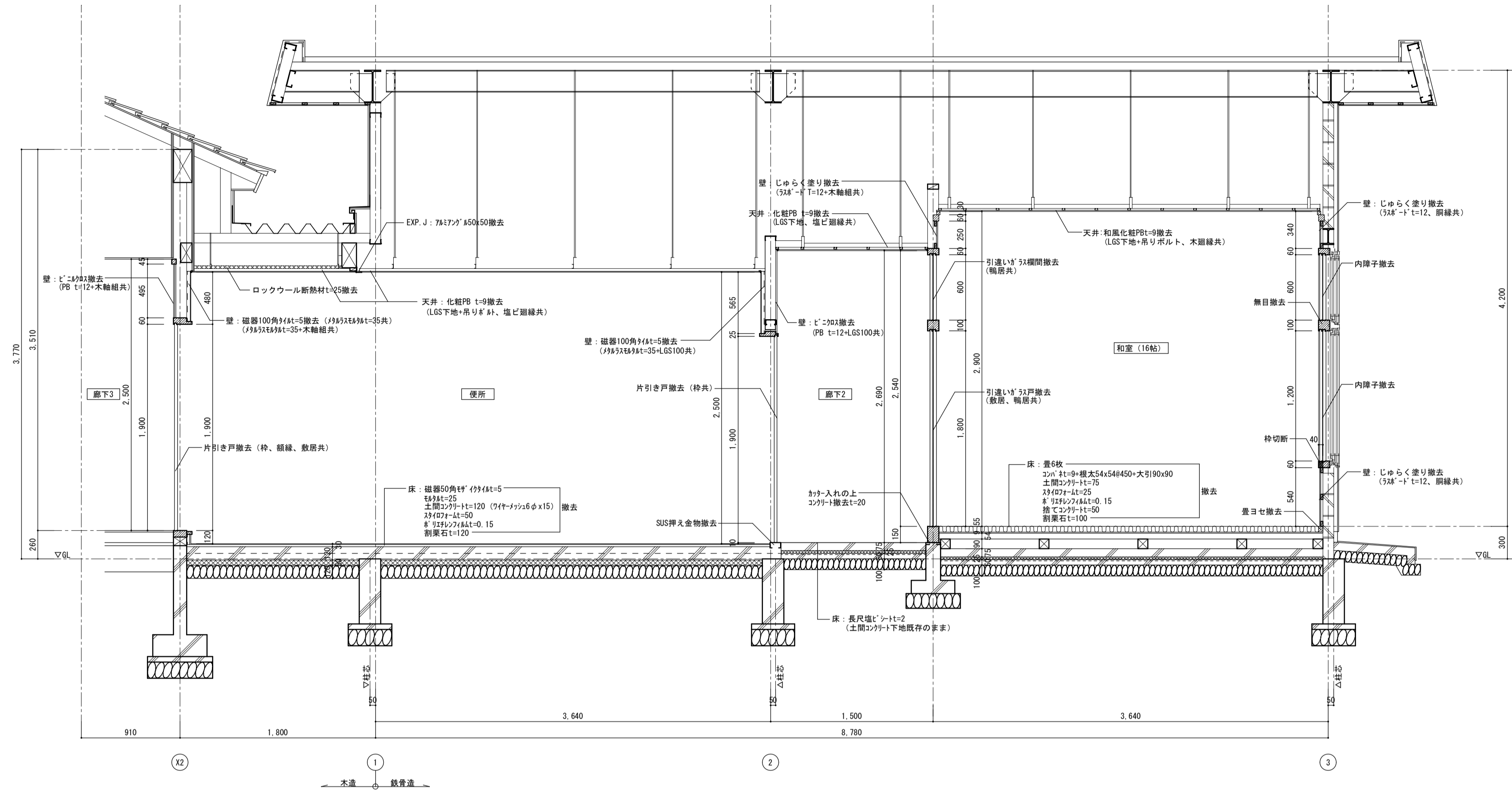
壁下地種別
 ①95×112-5-撤去
 ②95×112-5 (LGS)
 ③95×112-5-撤去
 ④95×112-5-撤去 (LGS)
 ⑤95×112-5-撤去



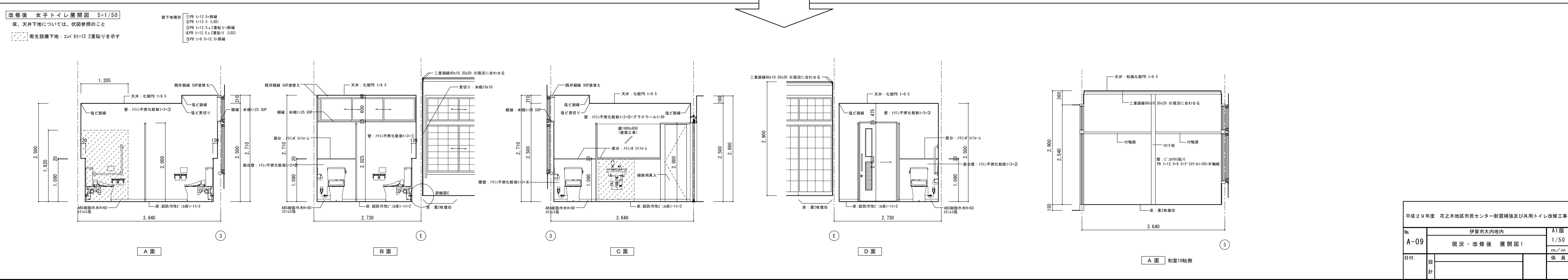
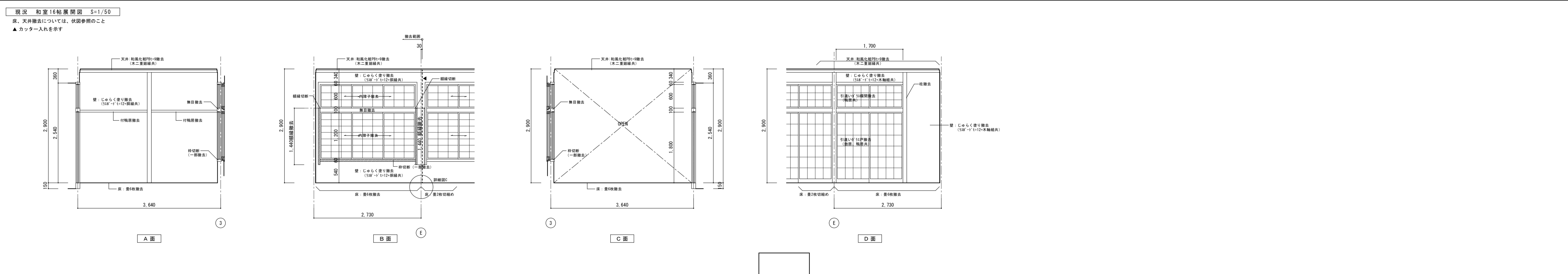
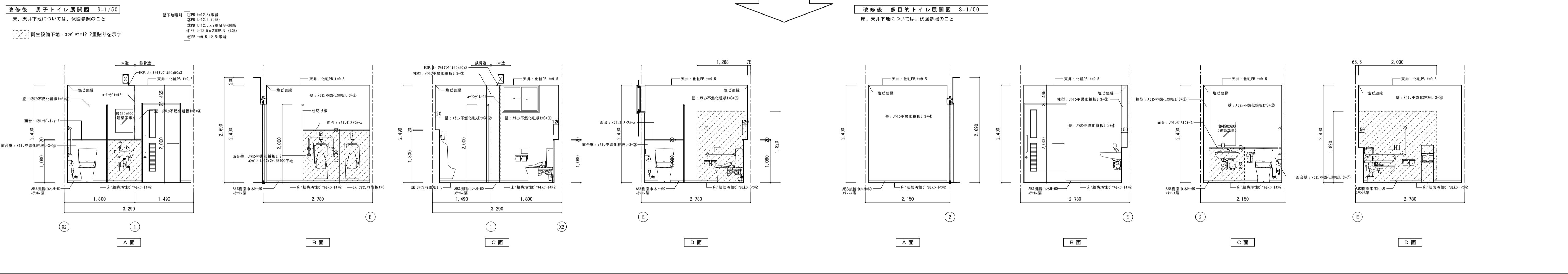
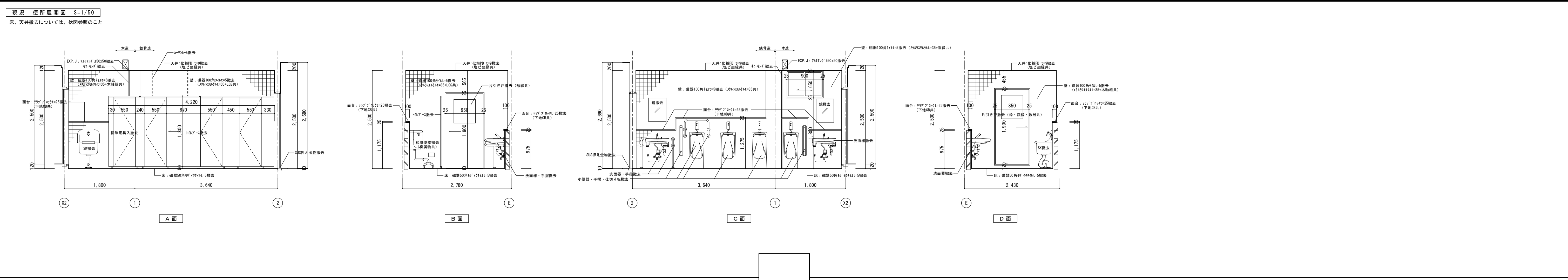
改修後 壁軸組図 S=1/50

新設LGS軸組
 新設木軸組
 土台100×100
 間柱45×100米組φ450
 間柱φ60×100米組

平成29年度 花之木地区市民センター耐震補強及び共用トイレ改修工事		
No.	伊賀市天内地区	A1版
A-07	現況・改修後 平面詳細図	1/50
日付:	設計:	係員:



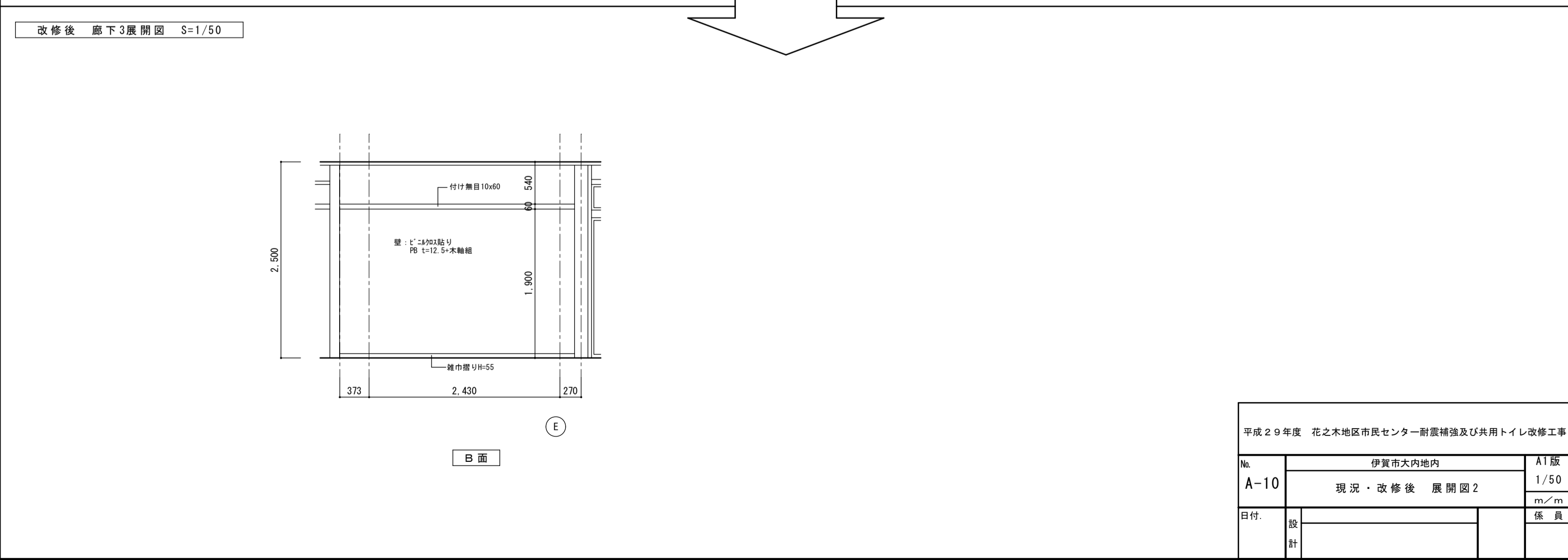
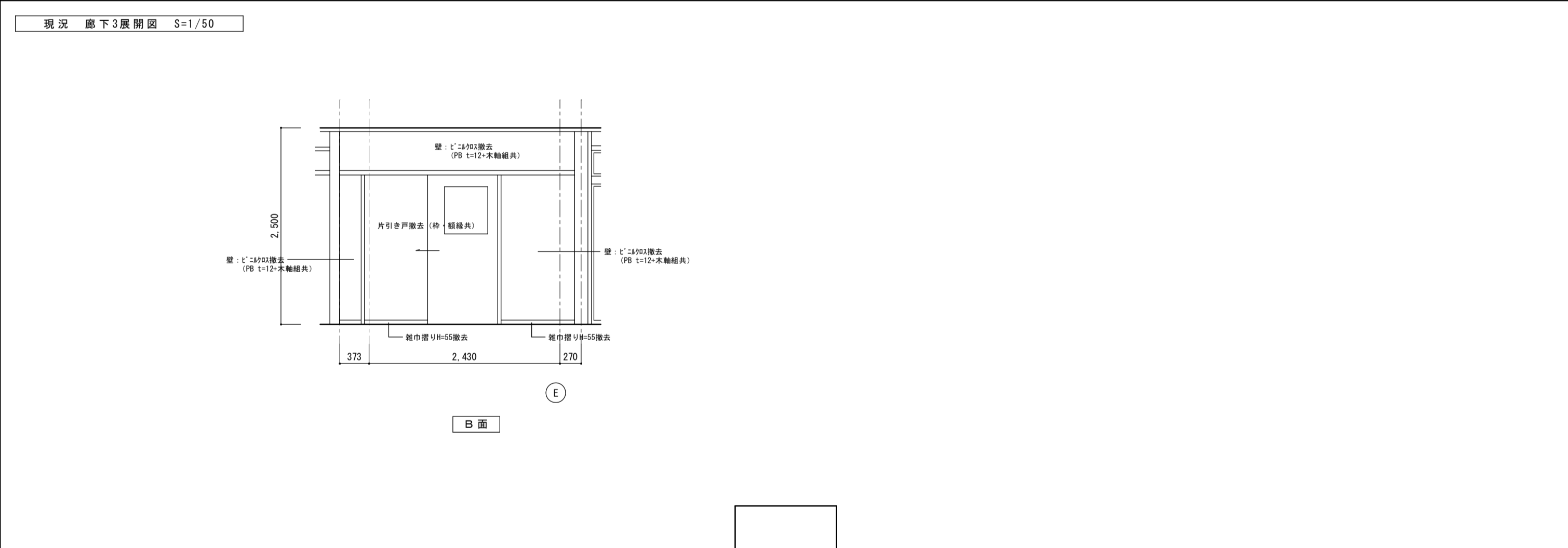
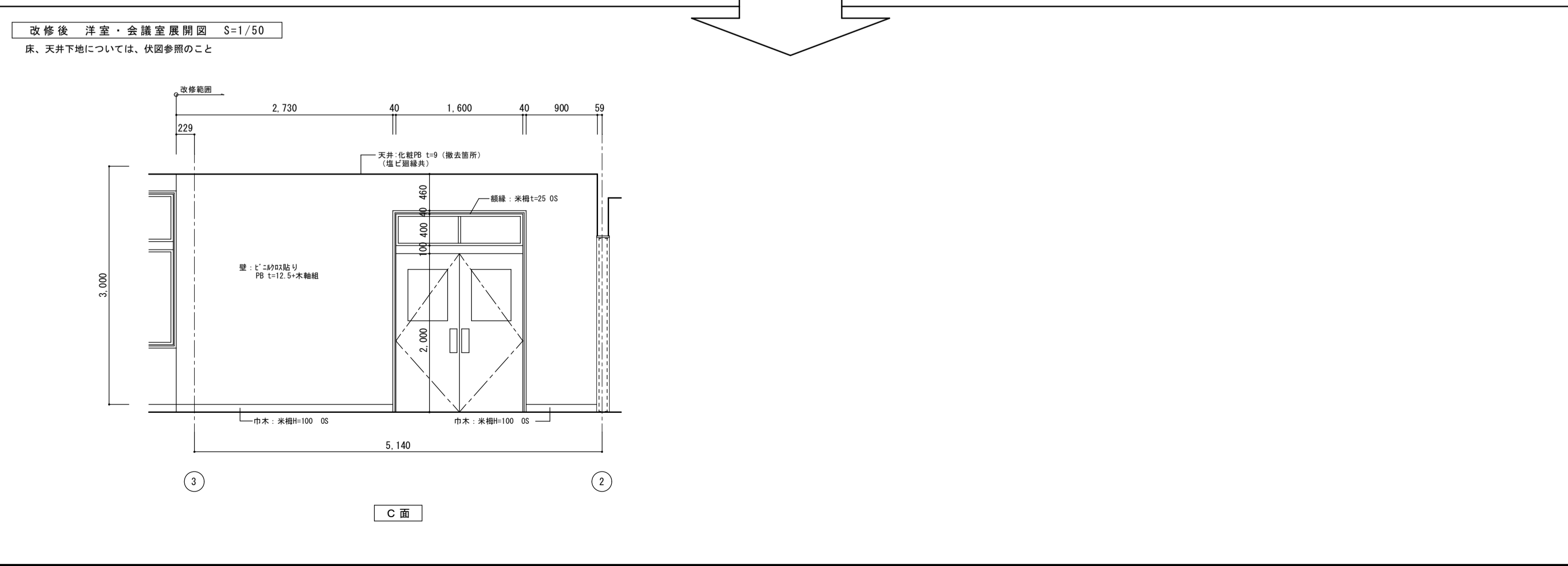
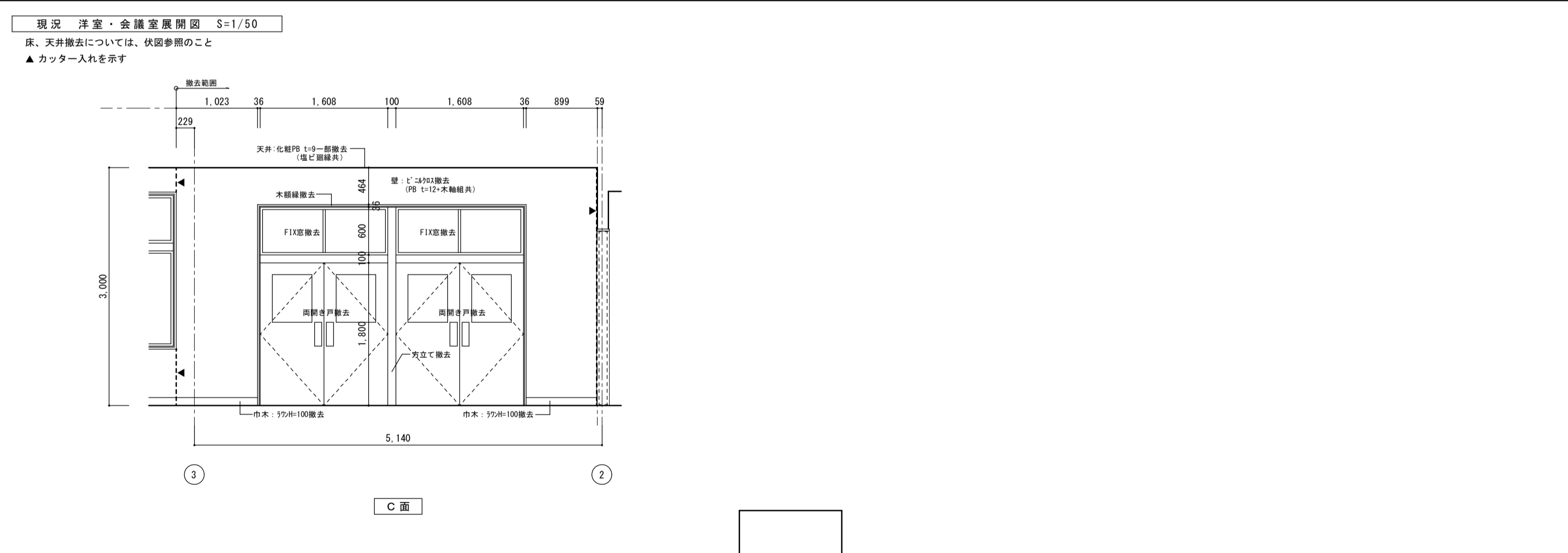
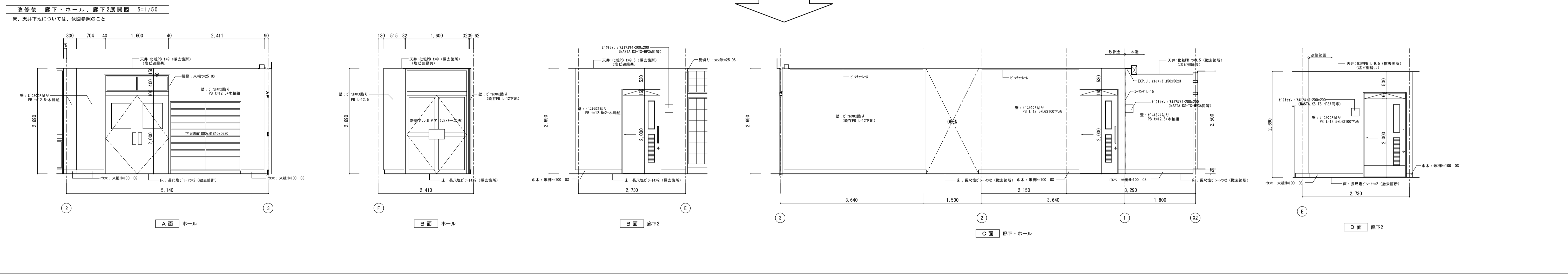
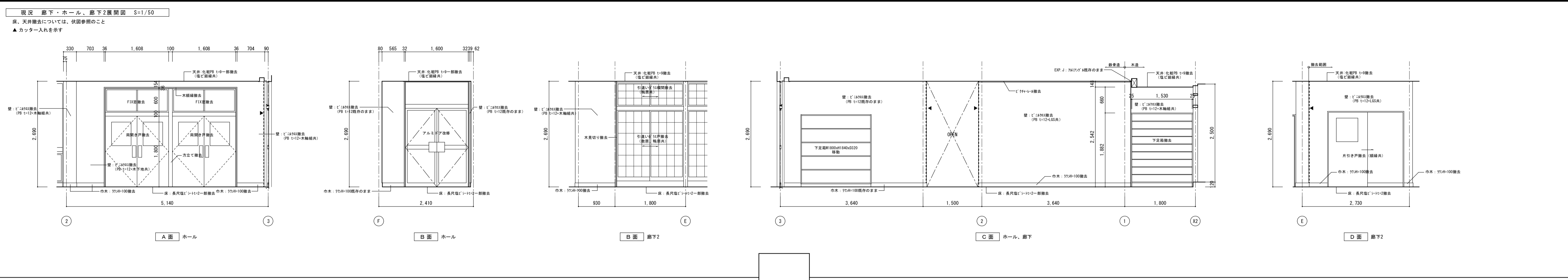
平成29年度 花之木地区市民センター耐震補強及び共用トイレ改修工事		
No.	伊賀市天内地内	A1版
A-08	現況・改修後 矩計図	1/30
日付:		m/m
設計:		係員



平成29年度 花之木地区市民センター耐震補強及び共用トイレ改修工事

No.	伊賀市管内内	A1版
A-09	現況・改修後 展開図1	1/50
日付:		m/m
設計:		係員

A3版 1/100

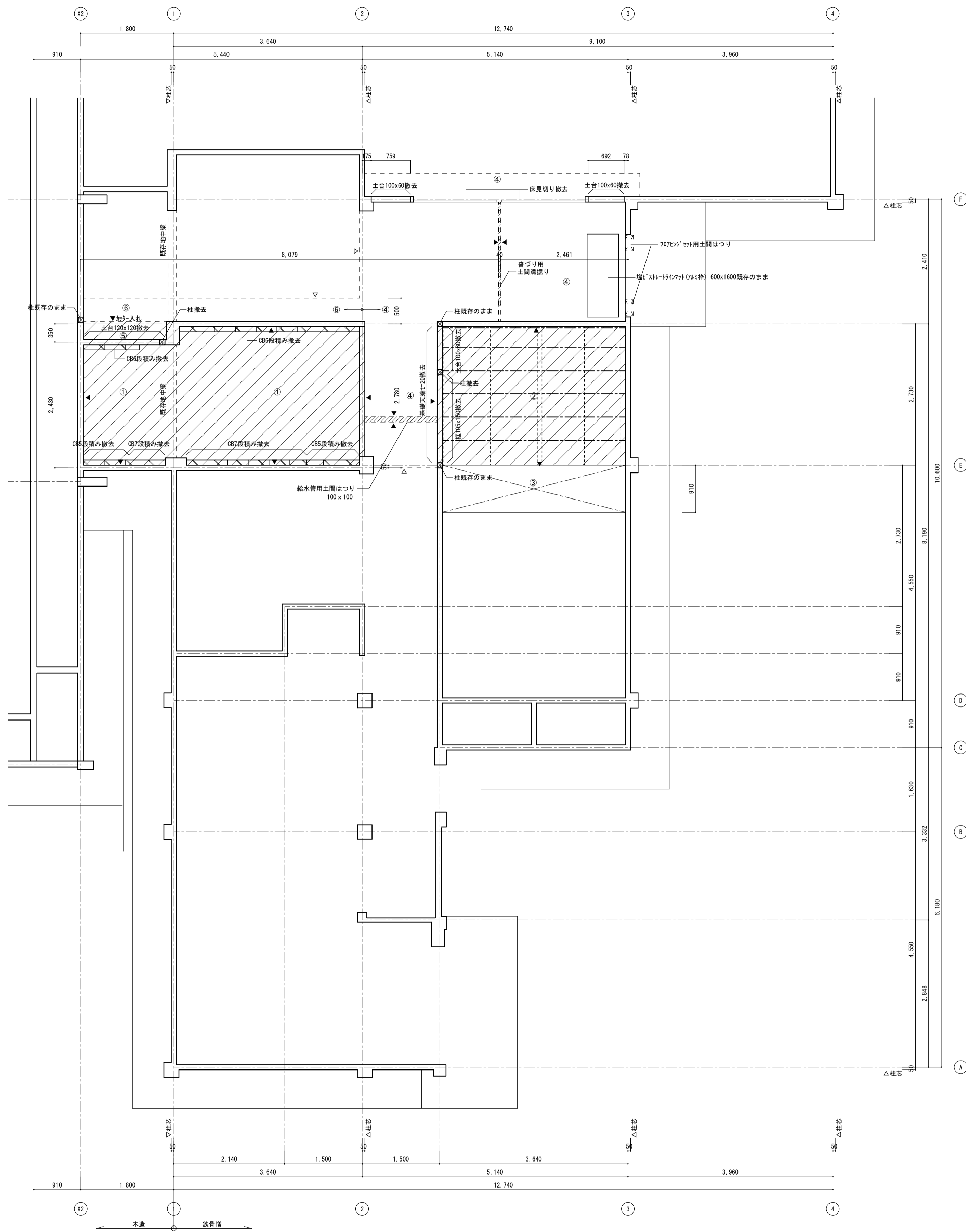


平成29年度 花之木地区市民センター耐震補強及び共用トイレ改修工事

No.	伊賀市天内地区	A1版
A-10	現況・改修後 展開図2	1/50
日付		m/m
設計		係員

A3版 1/100

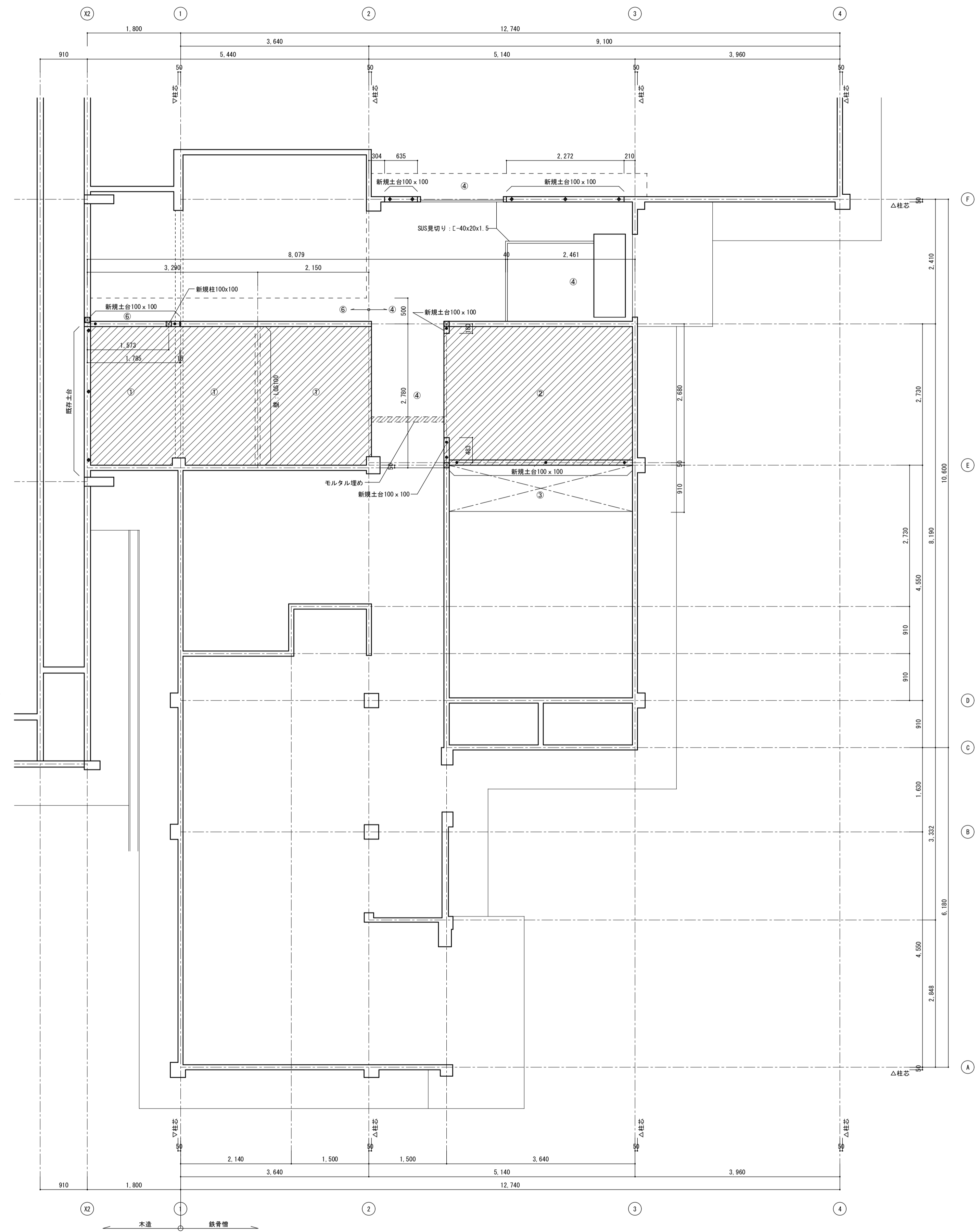
記号・数量	既存 1ヶ所	新規 1ヶ所	新規 1ヶ所	新規 2ヶ所	新規 1ヶ所	新規 1ヶ所
場 所	和室16帖	玄関	洋室・会議室	男子トイレ・女子トイレ	多目的トイレ	男子トイレ
形 式	2段3枚引違い窓	ランマ付き両開きドア改修(カバー工法)	ランマ付き自由開き戸	自閉式片引きハンガードア(戸袋ボード納まり)	自閉式片引きハンガードア(戸袋ボード納まり)	仕切り板
内寸・見込	1900x2400x70	1600x2670x70	2500x1600x36	2000x950x170	2000x1050x170	600x2000x30
材質・仕上	アルミ	アルミ、アルマイト処理	ポリ合板フラッシュ	スチール 扉：化粧鋼板	スチール 扉：化粧鋼板	高圧メラミン化粧板、芯材MDF、アルミ(窓木、エッジ)、SUS巾木
附属金物		付属金物一式、シンナー錠、サムターン、押し板、フロアヒンジ、ドアチェック、フランス落とし	丁番、パルゴ錠錠、握り玉、アサシ、ドアチェック	シンナー錠(廊下側) 吊钩(廊下側)、戸先ゴム、SUS合摺、窓、引	表示付非常解放ボタン錠(廊下側) 大型吊钩(廊下側)、戸先ゴム、SUS合摺、窓、引	
ガラス	ガラス入れ替えFL3-F4	FL3	F4、ランマFL3	F4	F4	
備 考						
記号・数量	新規 1ヶ所	新規 1ヶ所	新規 1ヶ所	新規 1ヶ所	新規 1ヶ所	新規 1ヶ所
場 所	男子トイレ	男子トイレ	女子トイレ	女子トイレ	女子トイレ	女子トイレ
形 式	トイレブース	トイレブース	トイレブース	トイレブース	トイレブース	トイレブース
内寸・見込	(1830, 860, 1602) x 2000 x 30	(1830, 860, 1602) x 2000 x 30	(3477, 885, 1529, 5) x 2000 x 30	(3477, 885, 1529, 5) x 2000 x 30	(3477, 885, 1529, 5) x 2000 x 30	(3477, 885, 1529, 5) x 2000 x 30
材質・仕上	高圧メラミン化粧板、芯材MDF、アルミ(窓木、エッジ)、SUS巾木	高圧メラミン化粧板、芯材MDF、アルミ(窓木、エッジ)、SUS巾木	高圧メラミン化粧板、芯材MDF、アルミ(窓木、エッジ)、SUS巾木	高圧メラミン化粧板、芯材MDF、アルミ(窓木、エッジ)、SUS巾木	高圧メラミン化粧板、芯材MDF、アルミ(窓木、エッジ)、SUS巾木	高圧メラミン化粧板、芯材MDF、アルミ(窓木、エッジ)、SUS巾木
附属金物	グレイトヒンジ、表示付き334型引付(内開き)、窓木戸当り、帽子掛戸当り	グレイトヒンジ、表示付き334型引付(内開き)、窓木戸当り、帽子掛戸当り	グレイトヒンジ、表示付き334型引付(内開き)、窓木戸当り、帽子掛戸当り	グレイトヒンジ、表示付き334型引付(内開き)、窓木戸当り、帽子掛戸当り	グレイトヒンジ、表示付き334型引付(内開き)、窓木戸当り、帽子掛戸当り	グレイトヒンジ、表示付き334型引付(内開き)、窓木戸当り、帽子掛戸当り
ガラス						
備 考						



現状床伏図 S=1/50
 △仕上げカッター入れ
 ▲コンクリートカッター入れ
 --- 大引き90x90
 // モルタル下地から割栗石までの撤去範囲を示す

※特記なき限り下記の通り

①	仕上 粗珪50角モザイクタイルt=5 撤去	④	仕上 長尺塩ビシートt=2 撤去
	下地 モルタルt=25+土間コンクリートt=120 (ワイヤーメッシュφ6x150x150) 撤去 スタイロフォームt=50+ポリエチレンフィルムt=0.15+割栗石t=120 撤去		下地 土間コンクリートt=75 既存のまま
②	仕上 床6枚 撤去	⑤	仕上 長尺塩ビシートt=2 撤去
	下地 コンパネt=19+増大54x54x450+大引き90x90+土間コンクリートt=75 撤去 スタイロフォームt=25+ポリエチレンフィルムt=0.15+捨てコンクリートt=50+割栗石t=100 撤去		下地 モルタルt=28+土間コンクリートt=120 (ワイヤーメッシュφ6x150x150) 撤去 スタイロフォームt=50+ポリエチレンフィルムt=0.15+割栗石t=120 撤去
③	仕上 畳2枚切替	⑥	仕上 長尺塩ビシートt=2 撤去
	下地 たたみ下地板 既存のまま		下地 モルタル金コシ押えt=28 既存のまま



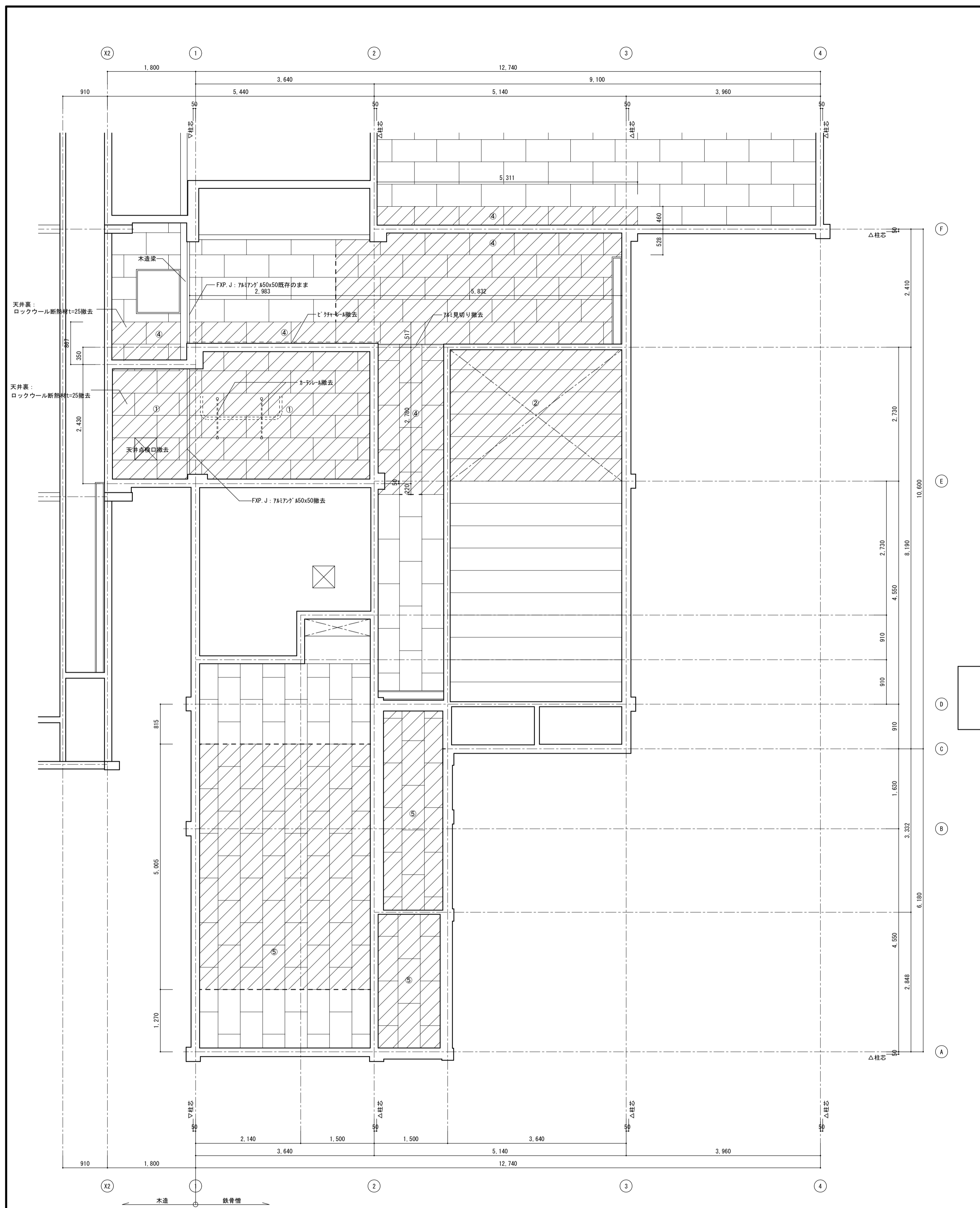
改修後床伏図 S=1/50
 ※木土台は、丸オキ3方塗り
 // モルタル下地から割栗石までの撤去範囲を示す
 ● F-341-M12
 ● 掃帚系あと施工F-34-M12

※特記なき限り下記の通り

①	仕上 ビニル床シートt=2	④	仕上 長尺塩ビシートt=2
	下地 モルタルt=28+土間コンクリートt=120 (ワイヤーメッシュφ6x150x150) スタイロフォームt=50+ポリエチレンフィルムt=0.15+捨てコンクリートt=30+砕石t=120		下地 既存土間コンクリートt=75
②	仕上 ビニル床シートt=2	⑤	仕上
	下地 モルタルt=28+土間コンクリートt=120 (ワイヤーメッシュφ6x150x150) スタイロフォームt=50+ポリエチレンフィルムt=0.15+捨てコンクリートt=30+砕石t=120		下地
③	仕上 畳2枚復旧	⑥	仕上 長尺塩ビシートt=2
	下地		下地 既存モルタル金コシ押えt=28

平成29年度 花之木地区市民センター耐震補強及び共用トイレ改修工事

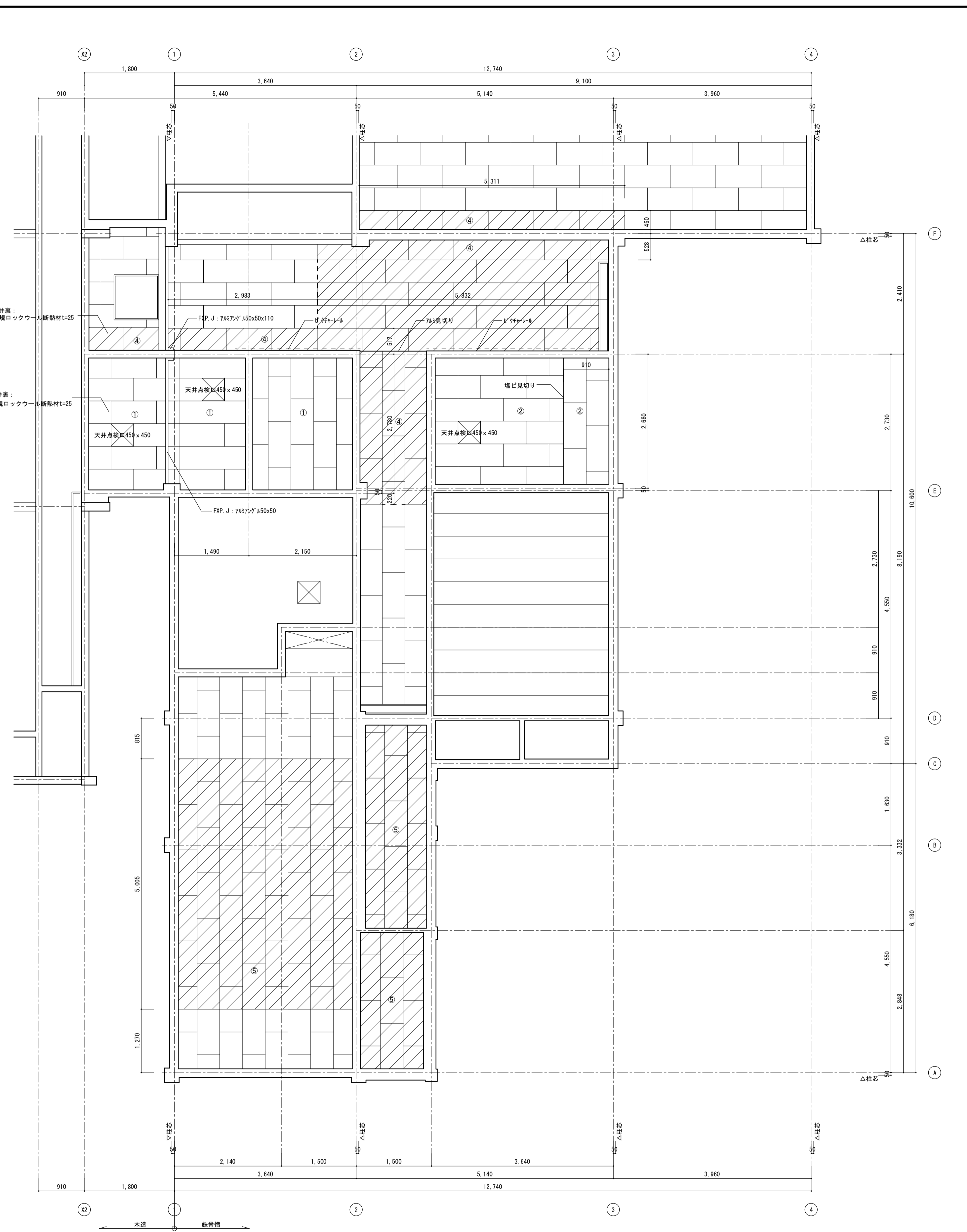
№	伊賀市次内地区	A1版
A-12	現況 改修後 床伏図	1/50
日付		m/m
設計		係員



現況 天井伏図 S=1/50

※特記なき限り下記の通り

①	仕上 化粧PB t=9撤去 (塩ビ隠蔽共)	⑤	仕上 化粧PB t=9撤去 (ビ隠蔽共) ※現場目地に合わせること
	下地 LGS下地+吊りボルト撤去		下地 LGS下地既存撤去
②	仕上 和紙化粧PB t=9撤去 (木二重隠蔽共)		仕上
	下地 LGS下地+吊りボルト撤去		下地
③	仕上		仕上
	下地		下地
④	仕上 化粧PB t=9撤去 (ビ隠蔽共) ※現場目地に合わせること		仕上
	下地 LGS下地既存撤去		下地

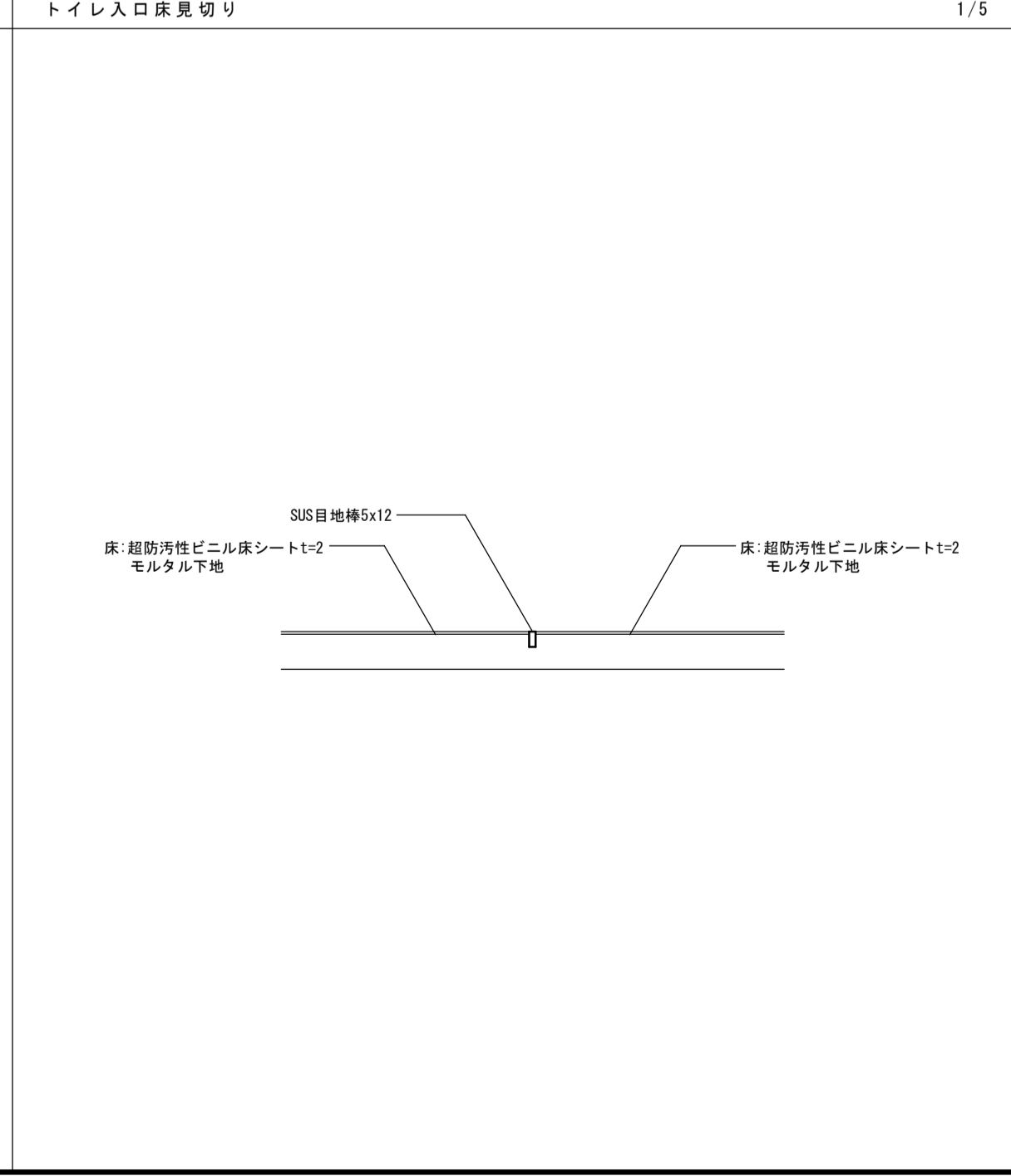
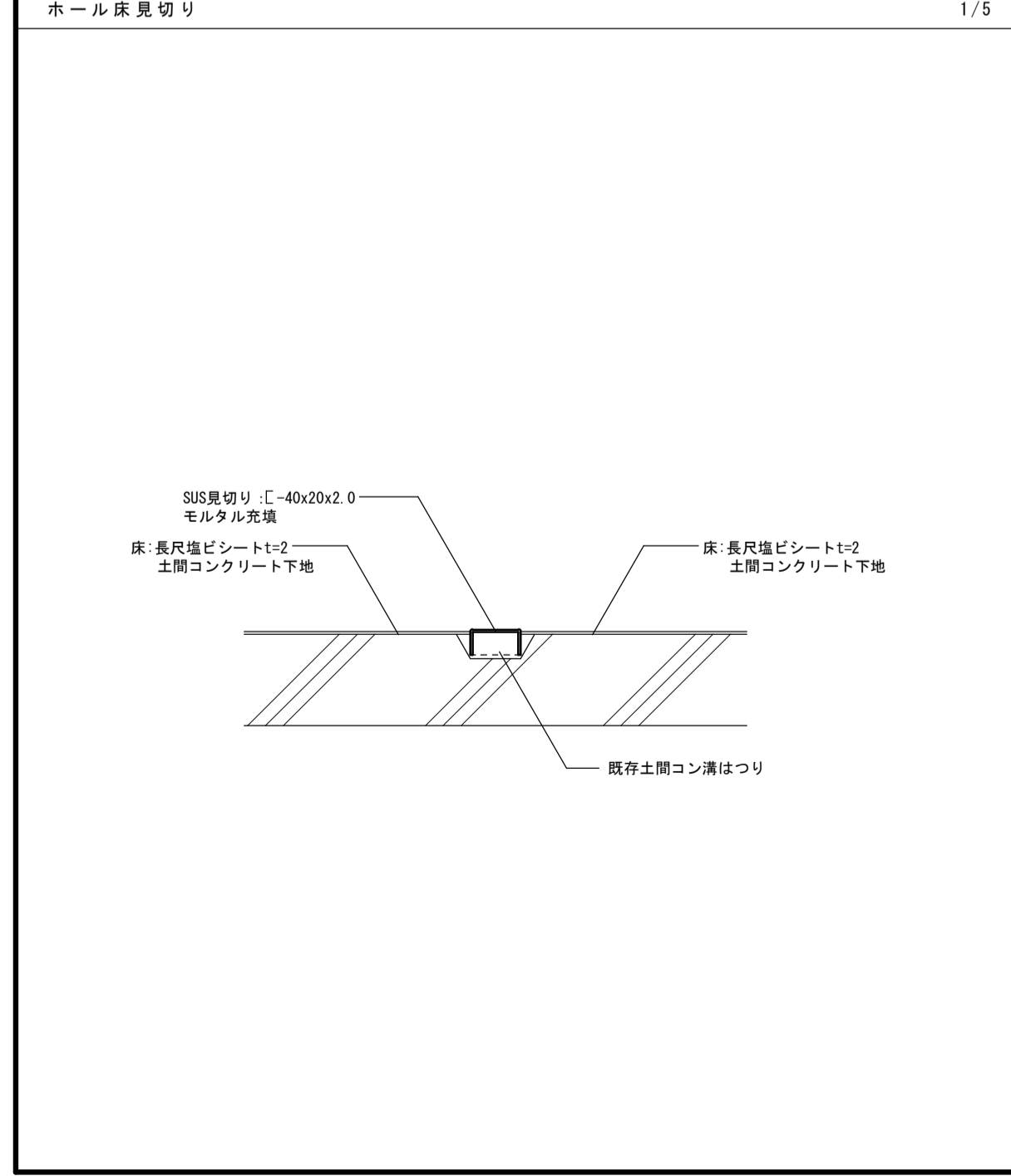
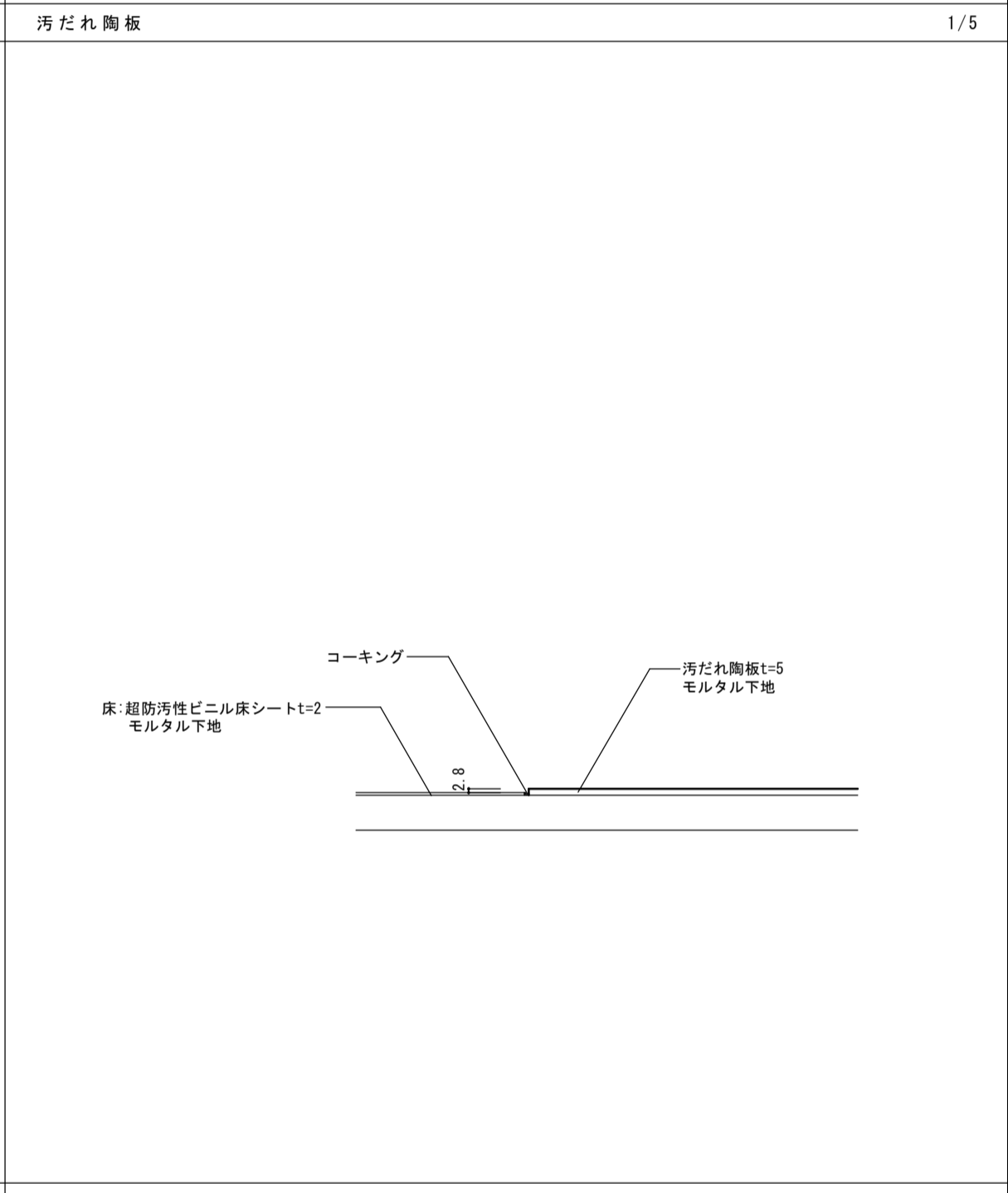
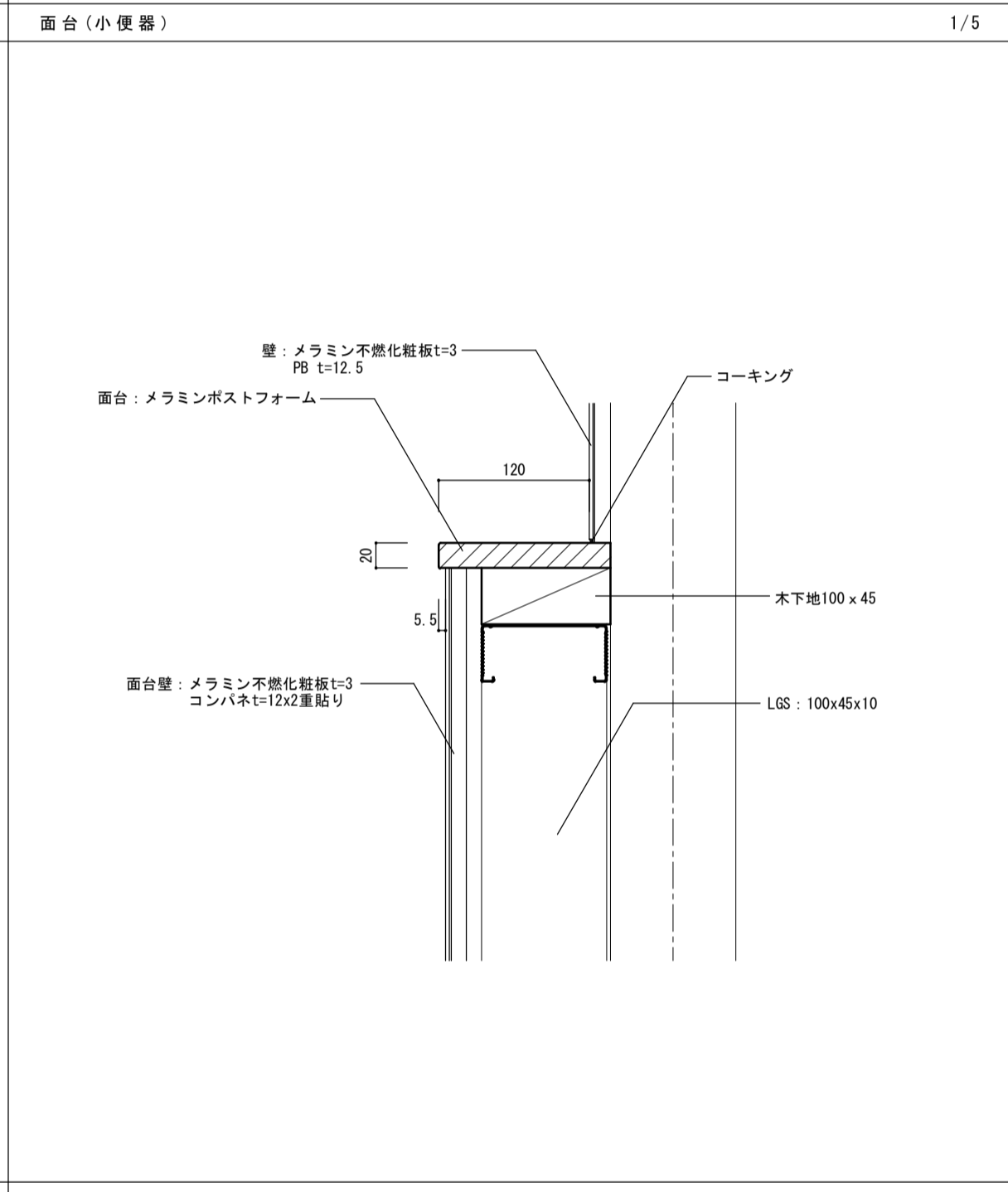
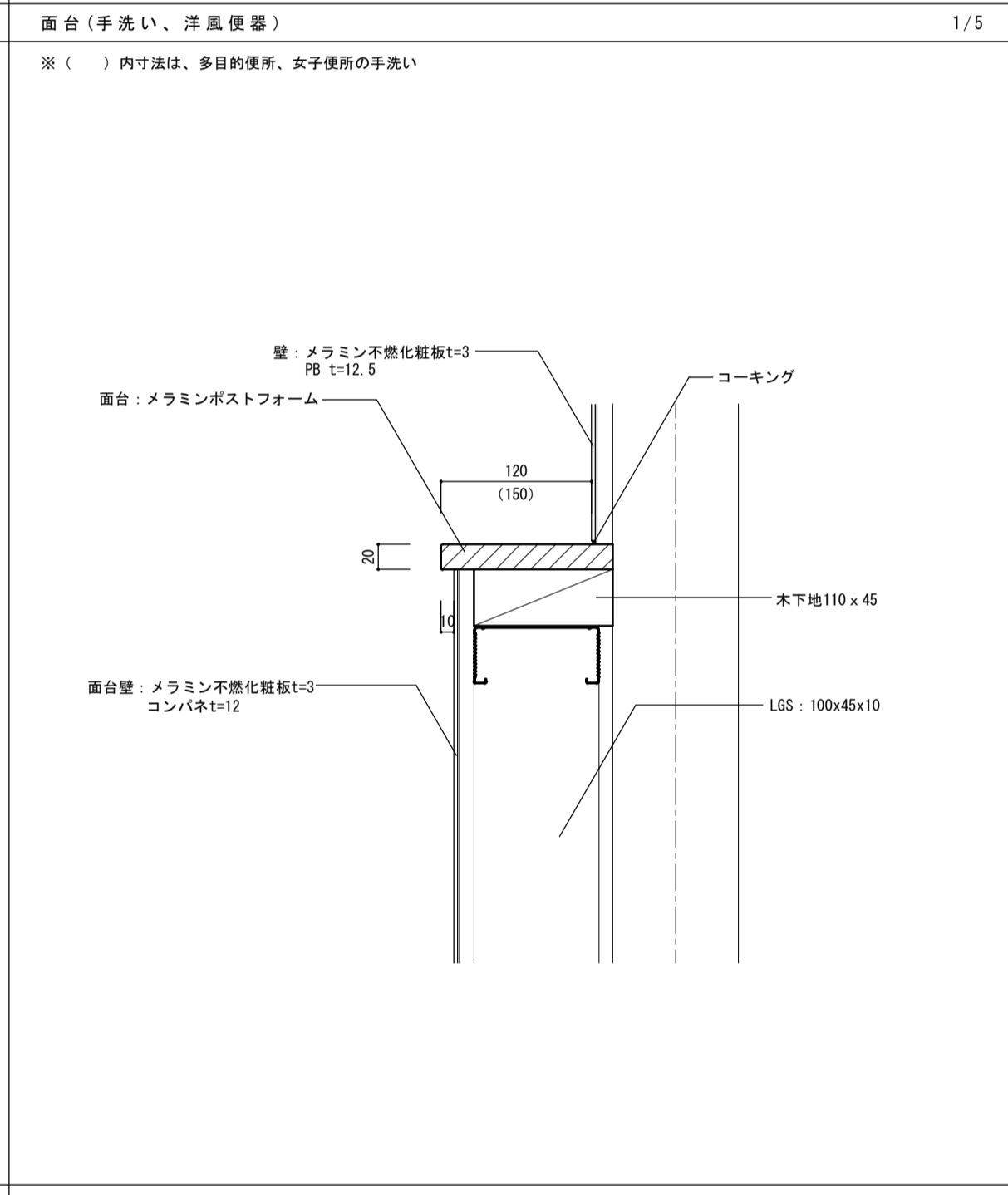
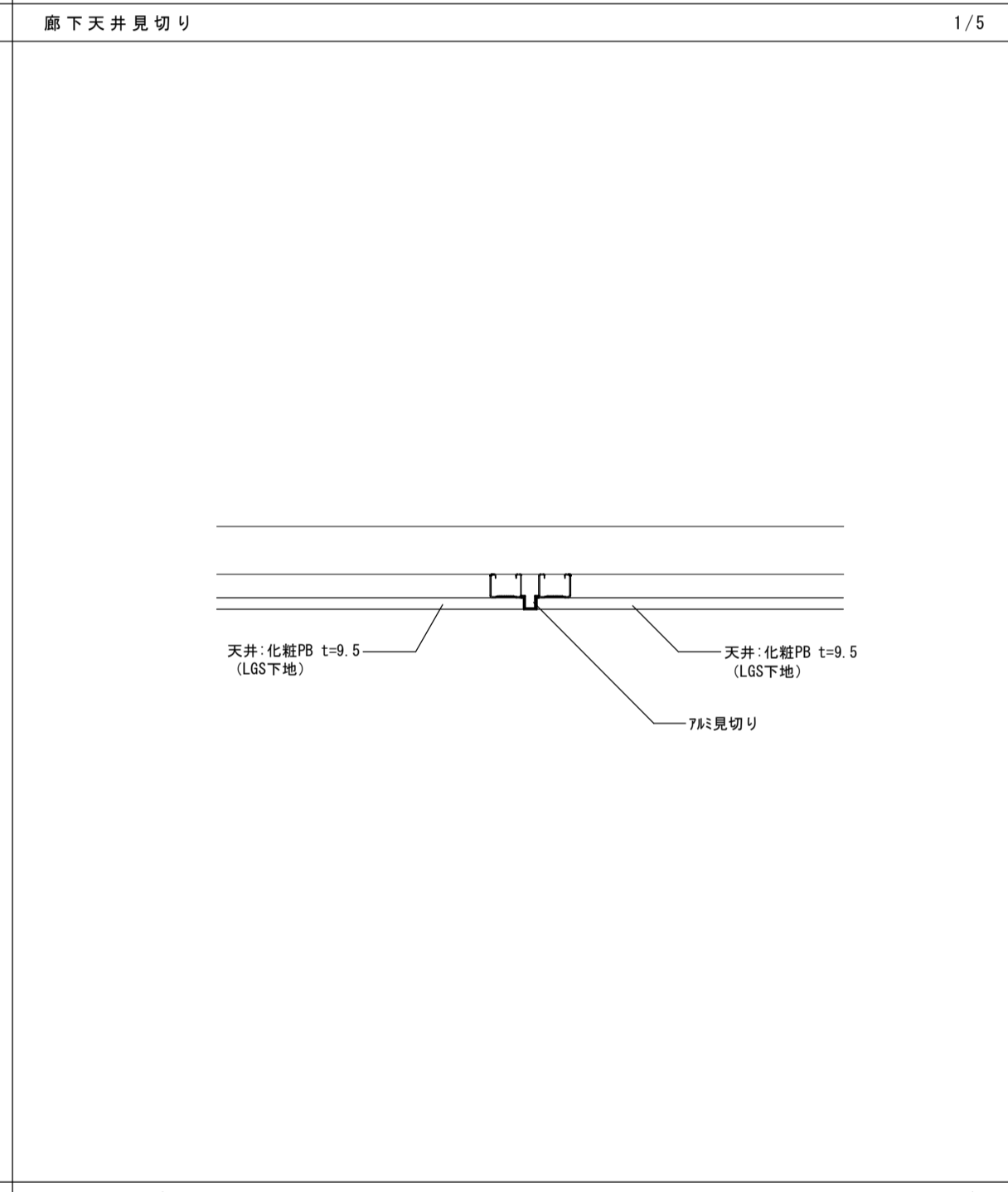
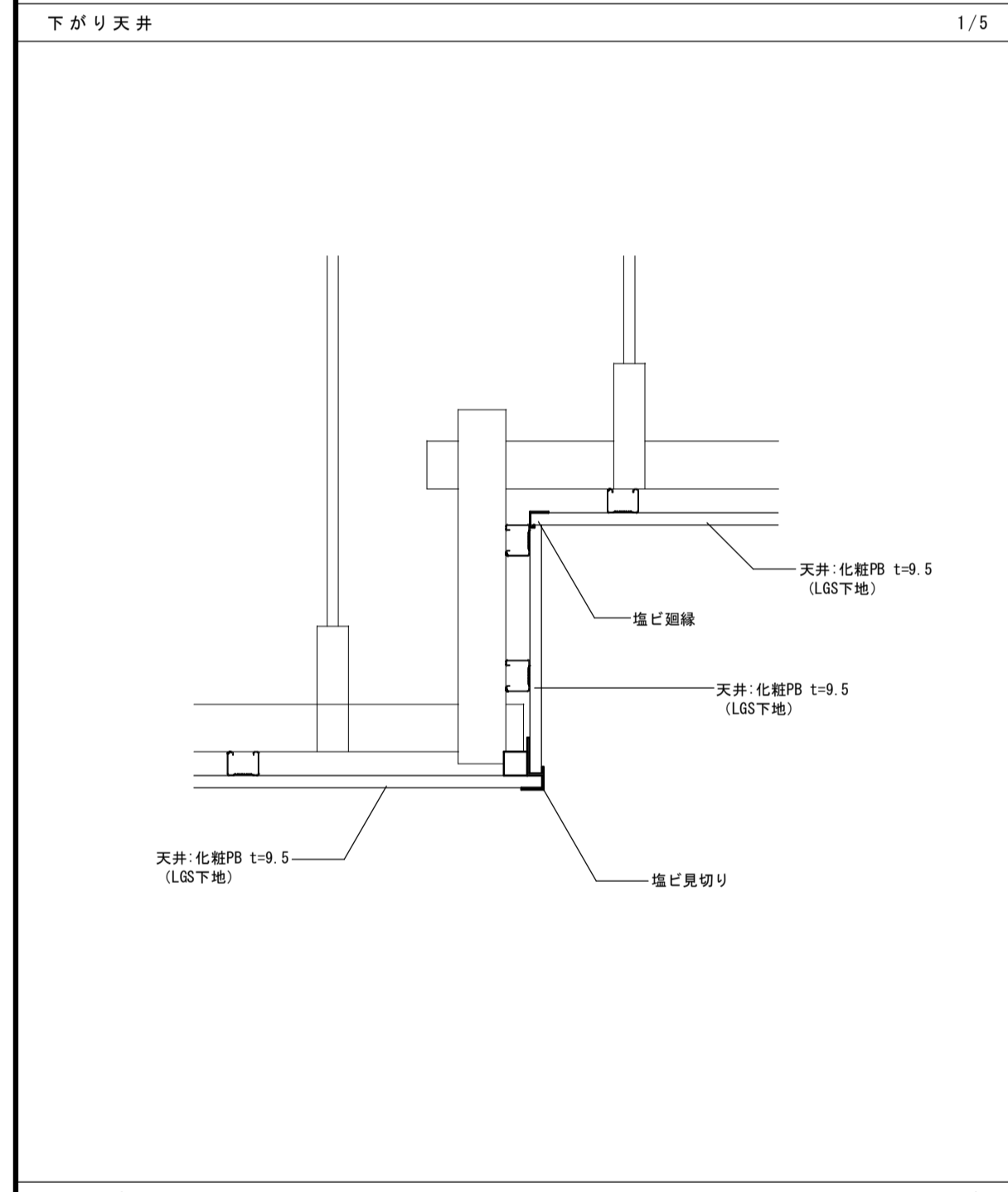
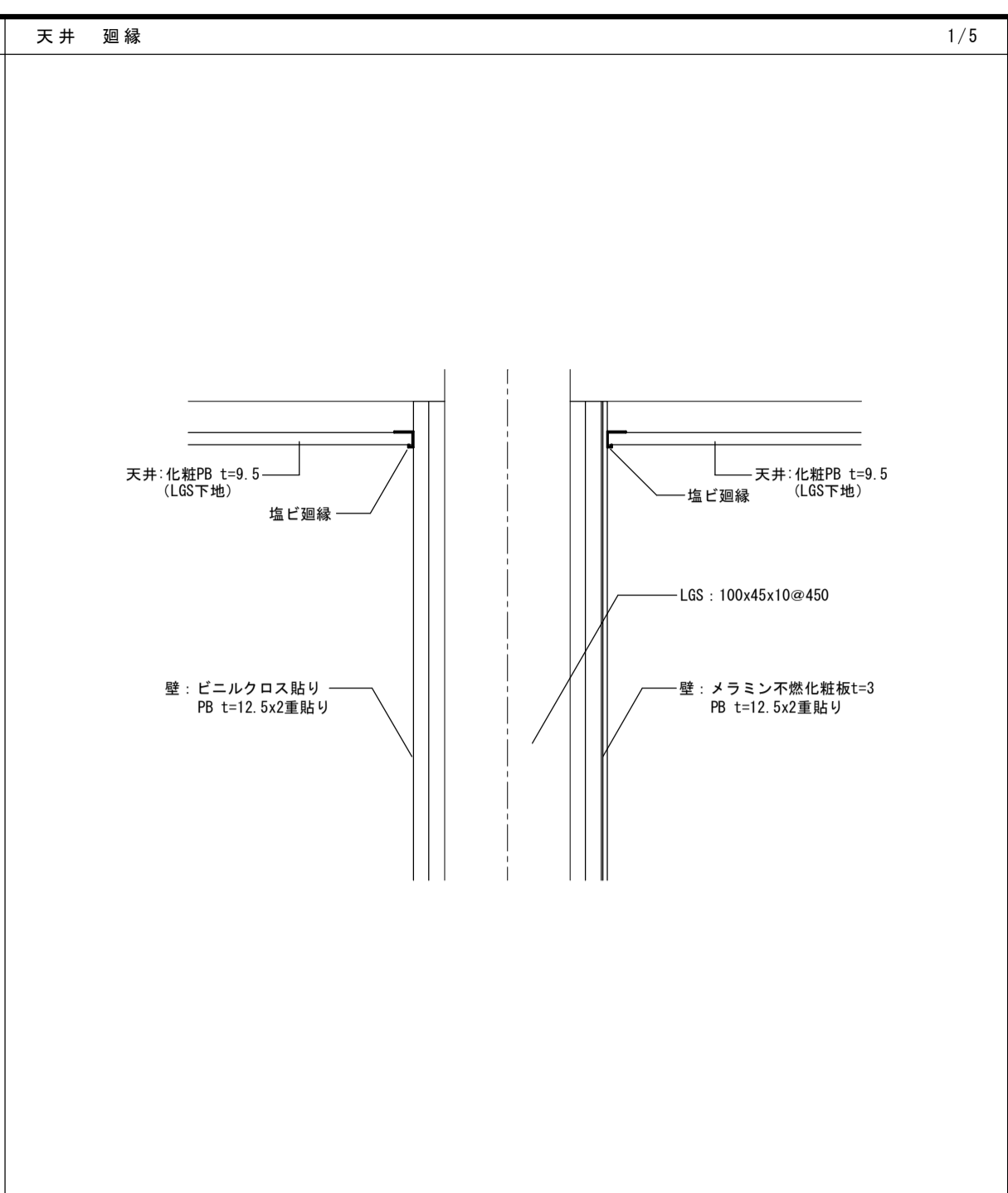
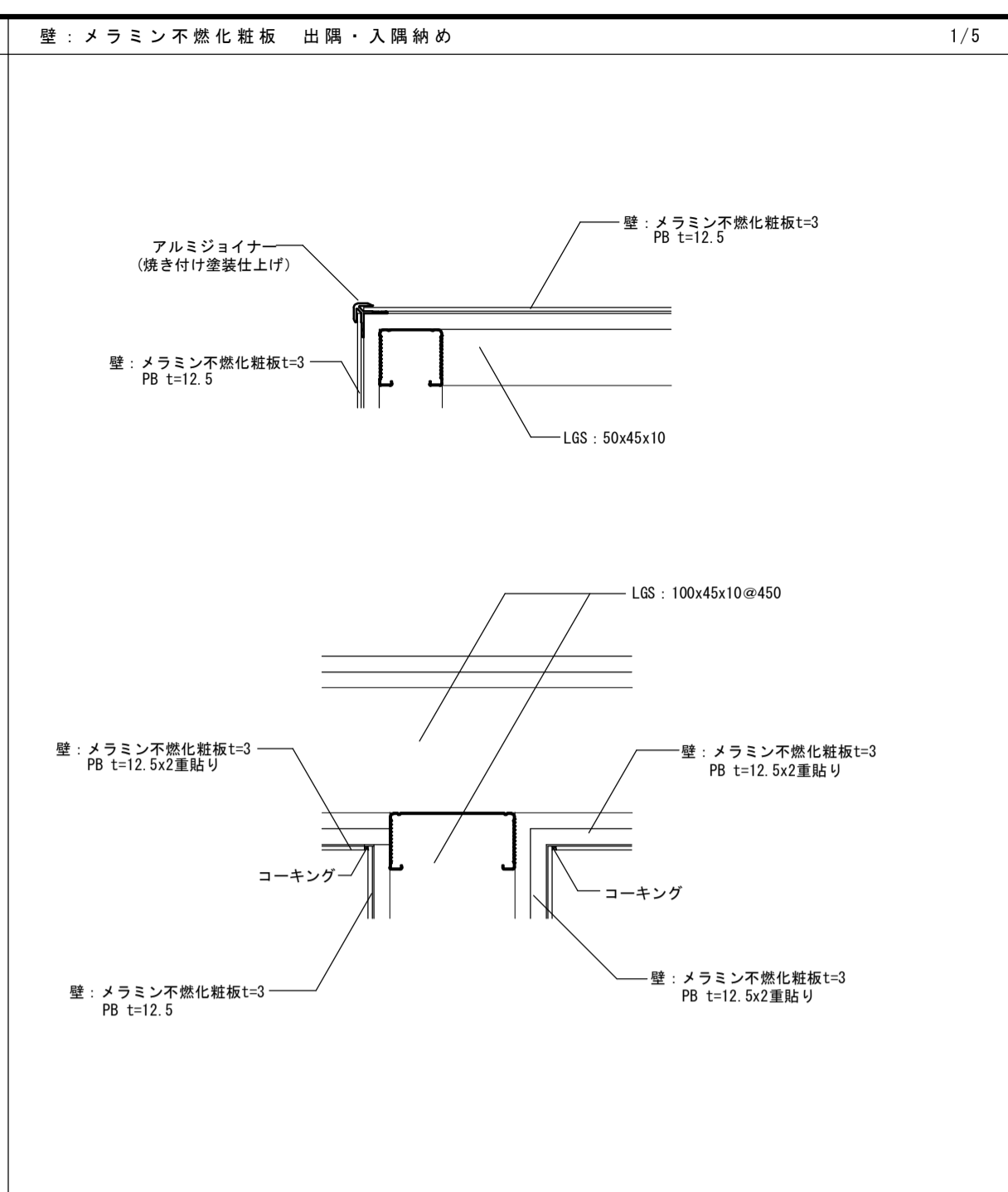
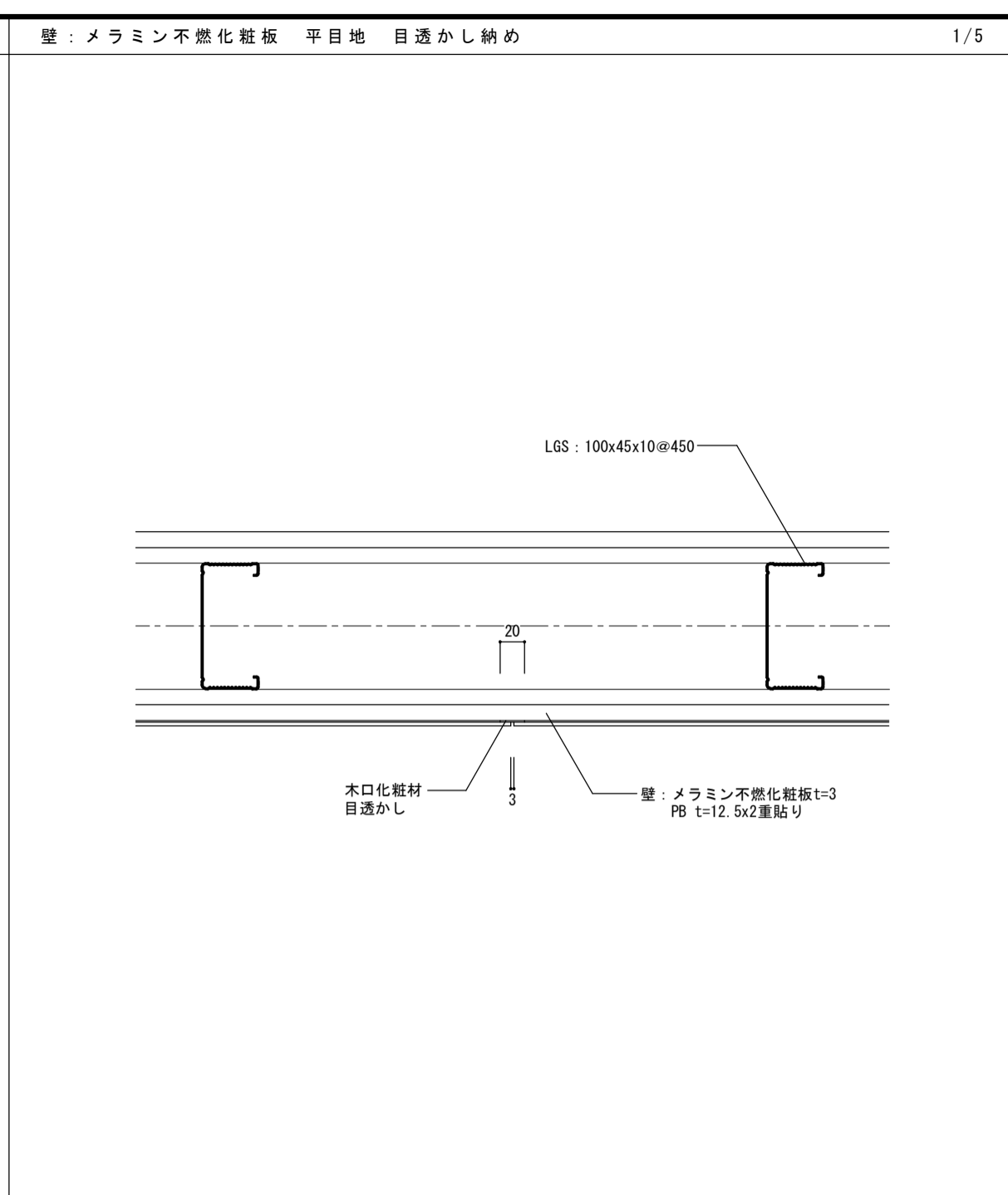
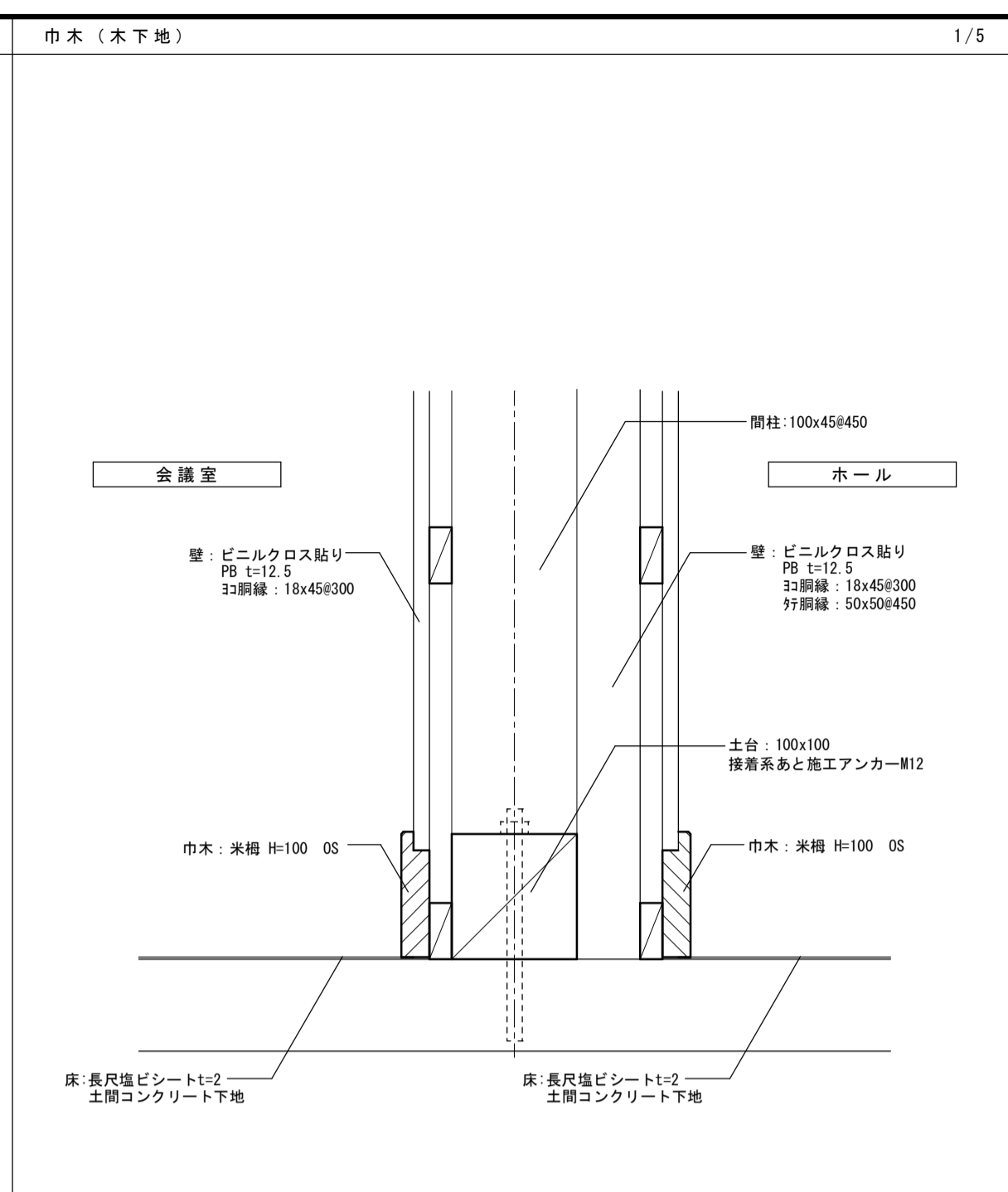
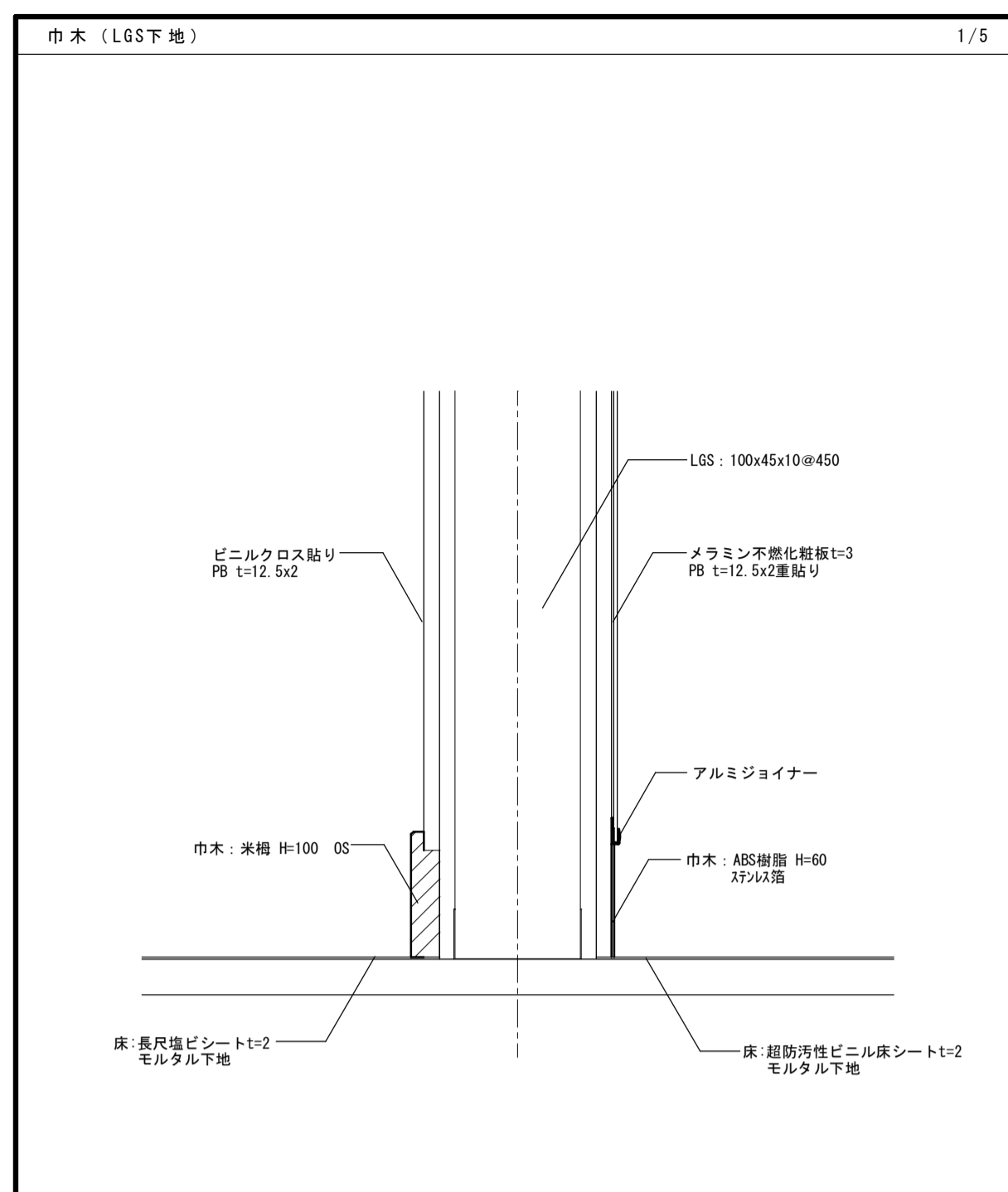


改修後 天井伏図 S=1/50

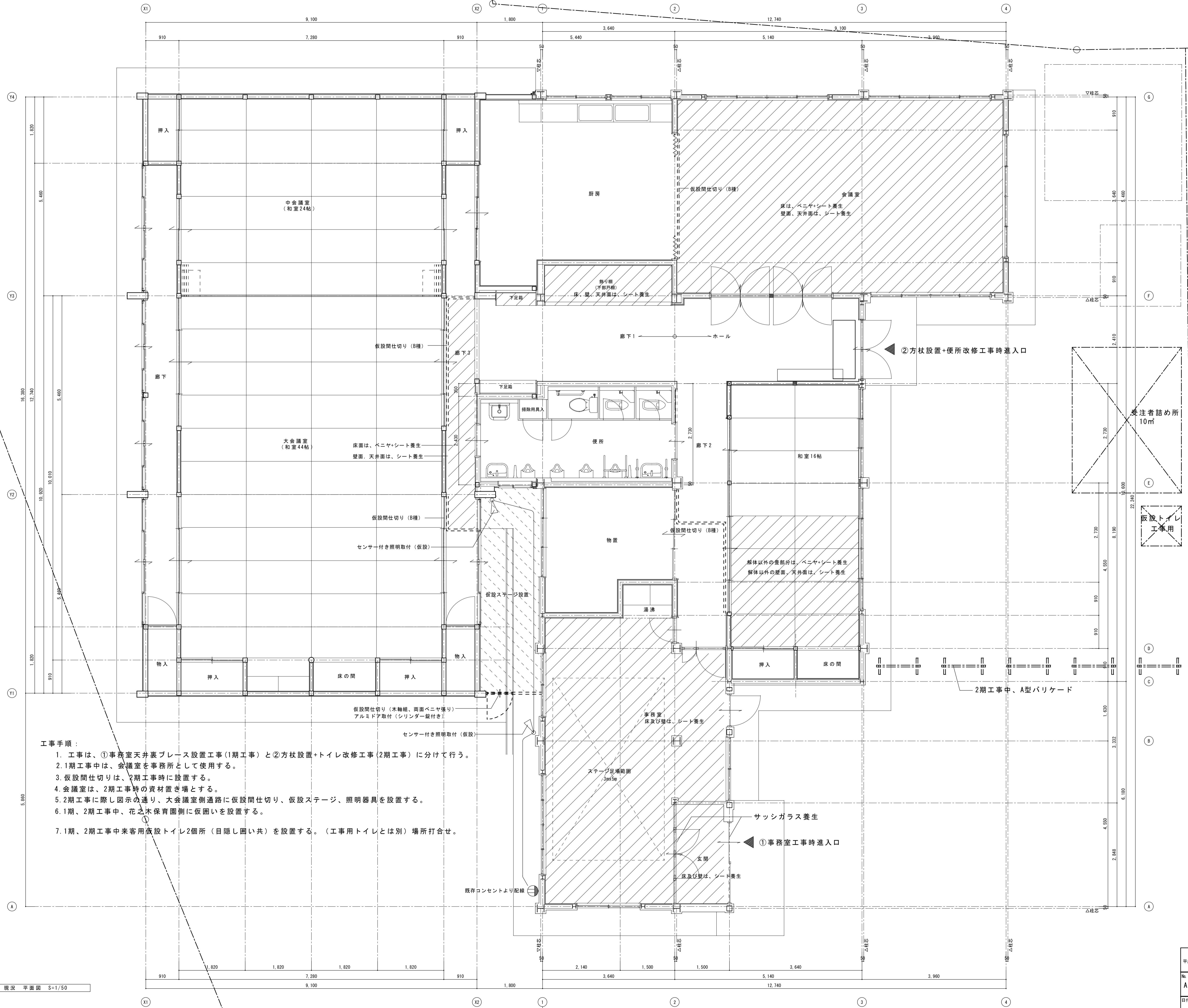
※特記なき限り下記の通り

①	仕上 化粧PB t=9.5 塩ビ隠蔽	⑤	仕上 化粧PB t=9.5 塩ビ隠蔽 (撤去箇所)
	下地 LGS下地+吊りボルト		下地 LGS下地
②	仕上 化粧PB t=9.5 塩ビ隠蔽		仕上
	下地 LGS下地+吊りボルト		下地
③	仕上		仕上
	下地		下地
④	仕上 化粧PB t=9.5 塩ビ隠蔽 (撤去箇所)		仕上
	下地 LGS下地		下地

平成29年度 花之木地区市民センター耐震補強及び共用トイレ改修工事		
No.	伊賀市天内地区	A1版
A-13	現況 改修後 天井伏図	1/50
日付:	設計	係員



平成29年度 花之木地区市民センター耐震補強及び共用トイレ改修工事		
No.	伊賀市天内地区	A1版
A-15	部分詳細図2	1/5
目付:	図	m/m
	計	棟員



工事手順:

1. 工事は、①事務室天井裏ブレース設置工事(1期工事)と②方杖設置+トイレ改修工事(2期工事)に分けて行う。
2. 1期工事中は、会議室を事務所として使用する。
3. 仮設間仕切りは、2期工事時に設置する。
4. 会議室は、2期工事時の資材置き場とする。
5. 2期工事に際し図示の通り、大会議室側通路に仮設間仕切り、仮設ステージ、照明器具を設置する。
6. 1期、2期工事中、花之木保育園側に仮囲いを設置する。
7. 1期、2期工事中来客用仮設トイレ2箇所(目隠し囲い共)を設置する。(工事用トイレとは別)場所打合せ。

現況平面図 S=1/50

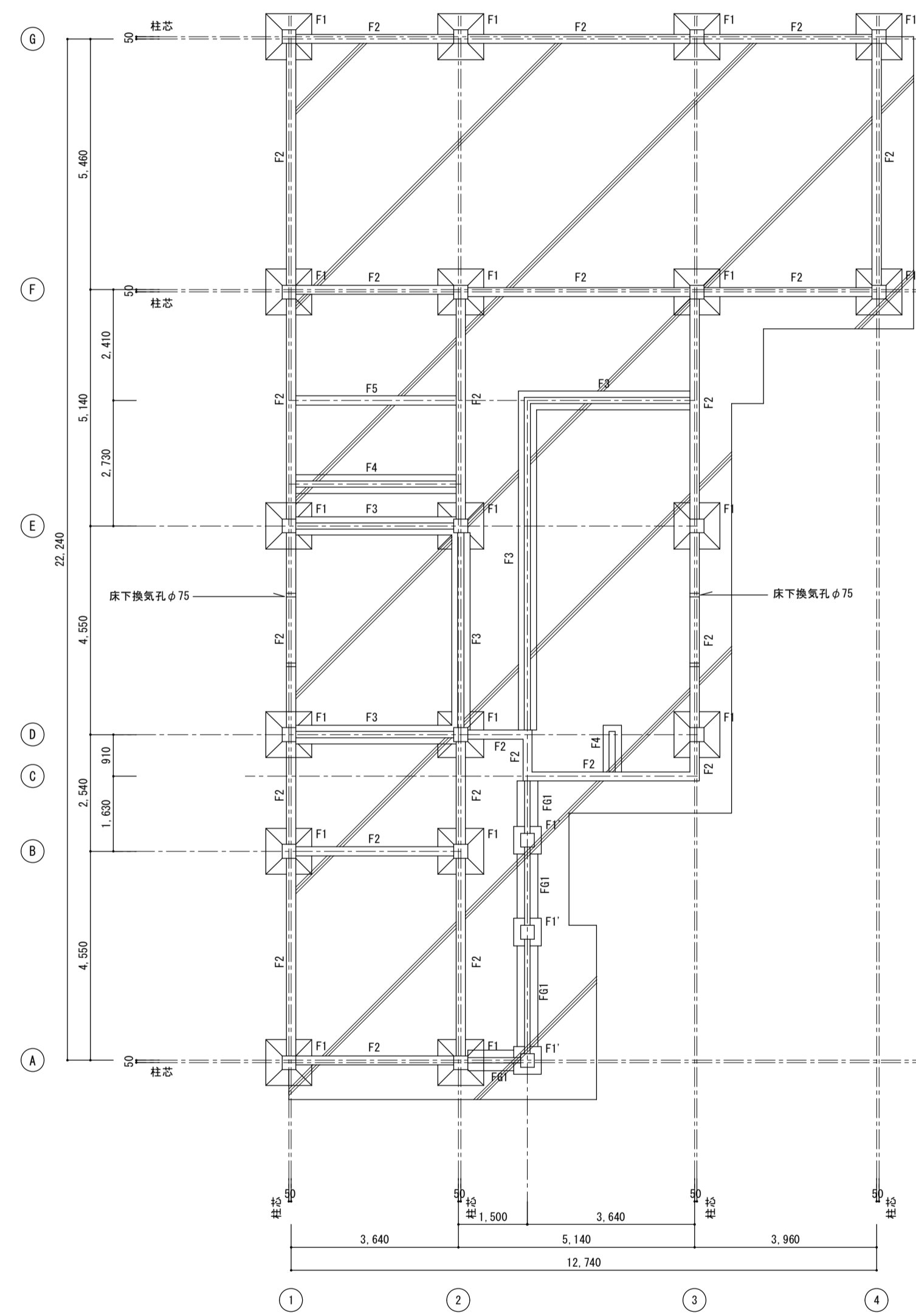
仮囲いH=2m (L=30m)

2期工事中、A型バリケード

発注者詰め所
10㎡

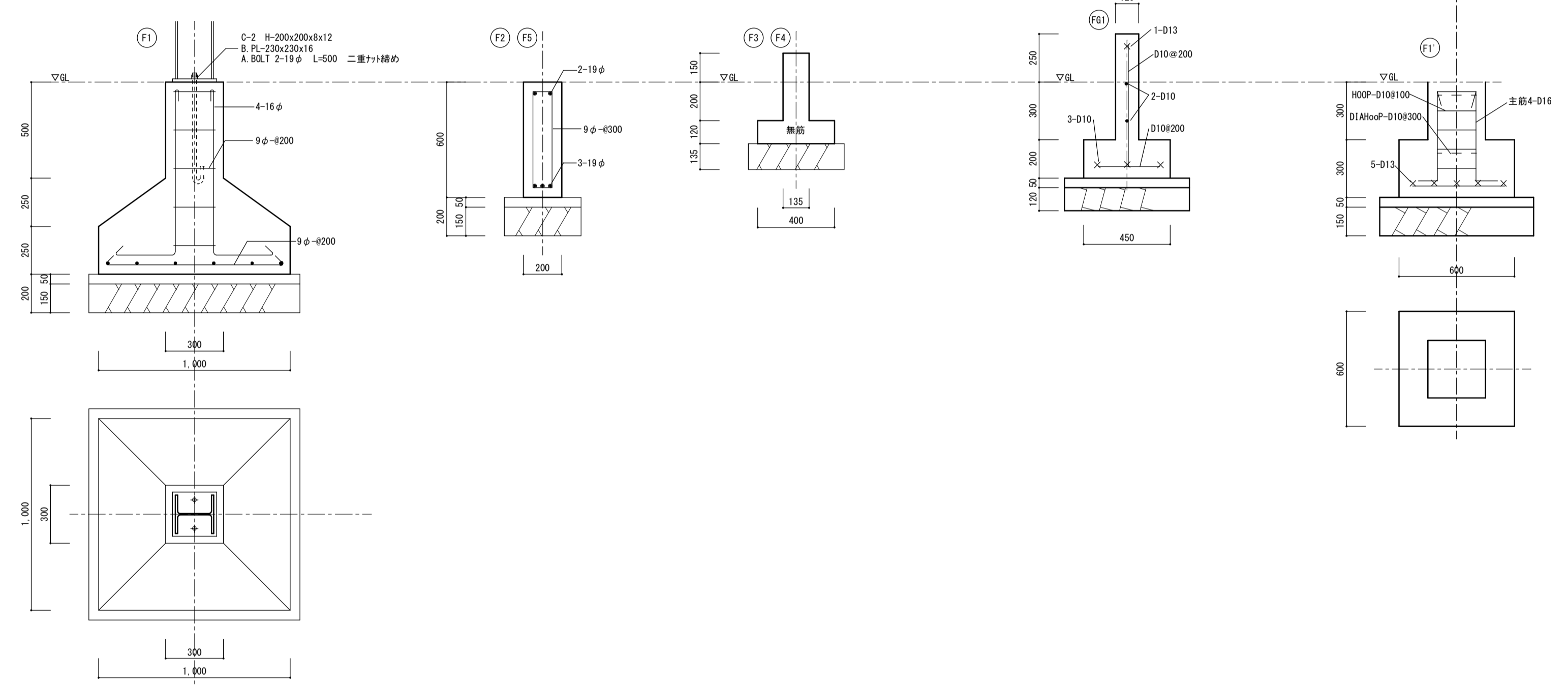
仮設トイレ
工事用

平成29年度 花之木地区市民センター耐震補強及び共用トイレ改修工事		
No.	伊賀市天内地内	A1版
A-6	仮設計画図	1/50
日付		m/m
設計		係員



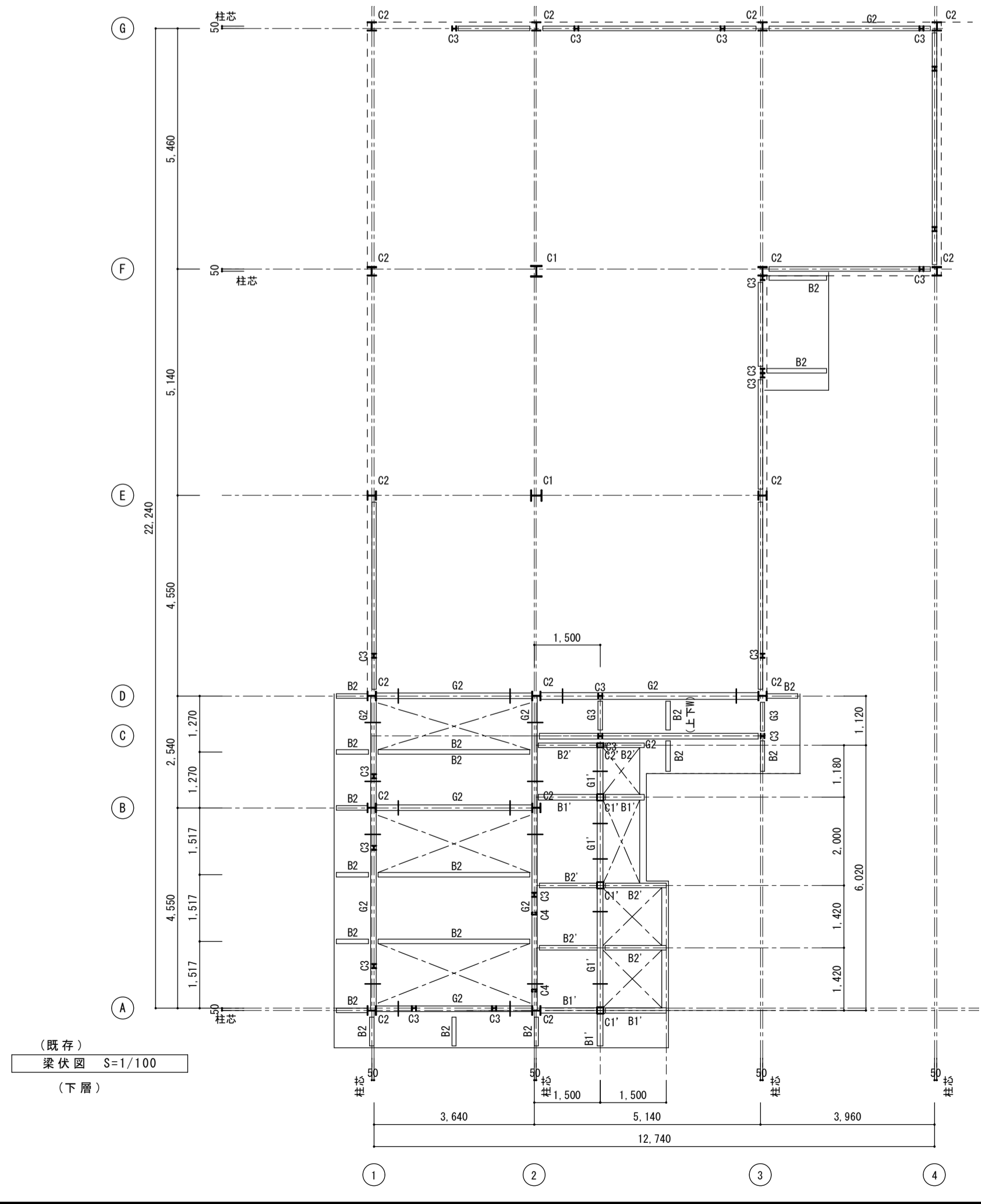
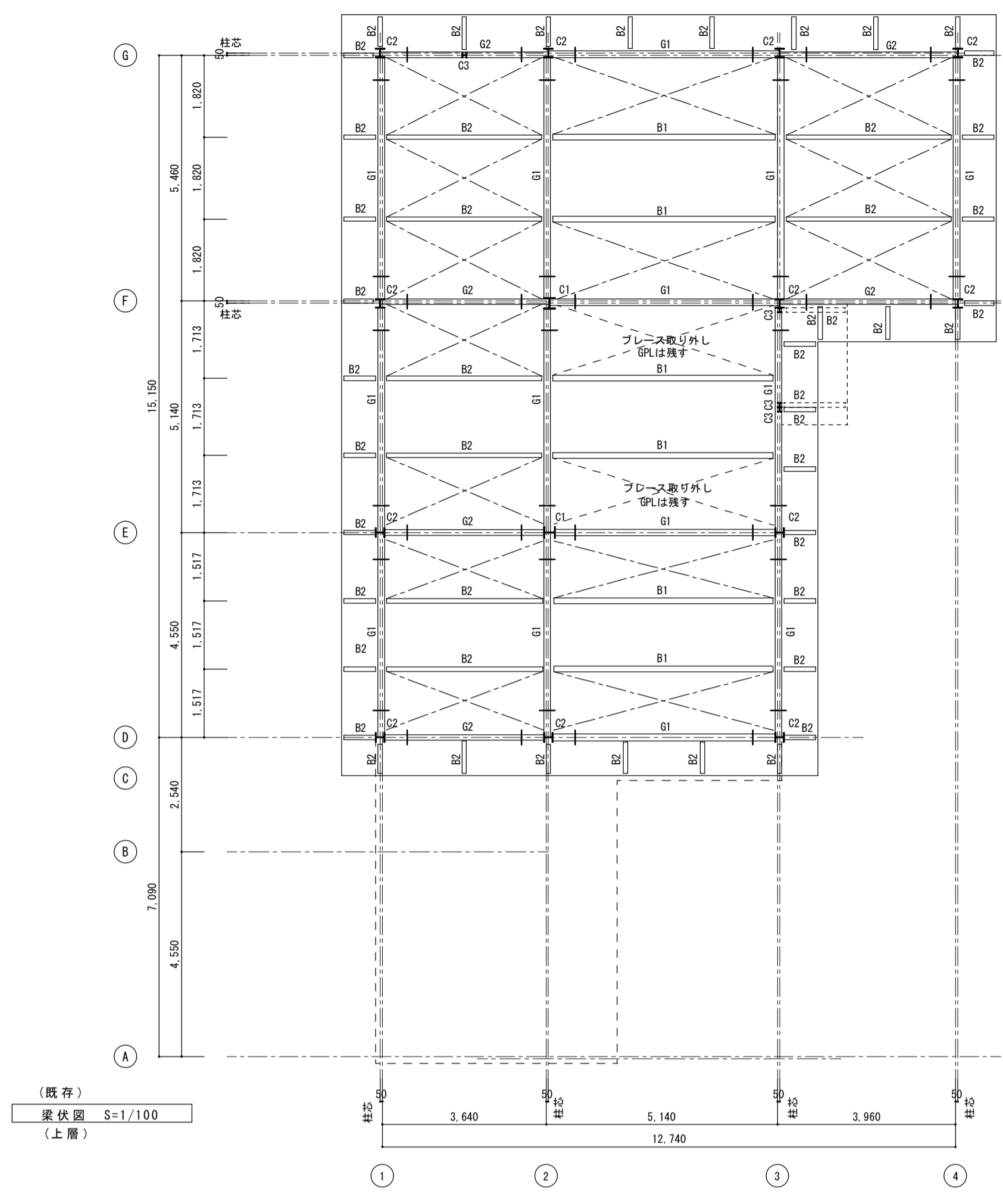
基礎伏図 S=1/100

基礎詳細図 S=1/20



参考

平成29年度 花之木地区市民センター耐震補強及び共用トイレ改修工事		
No.	伊賀市天内地区	A1版
S-02	現況 基礎伏図 基礎詳細図 (参考)	1/100
日付:		m/m
図		係員
計		

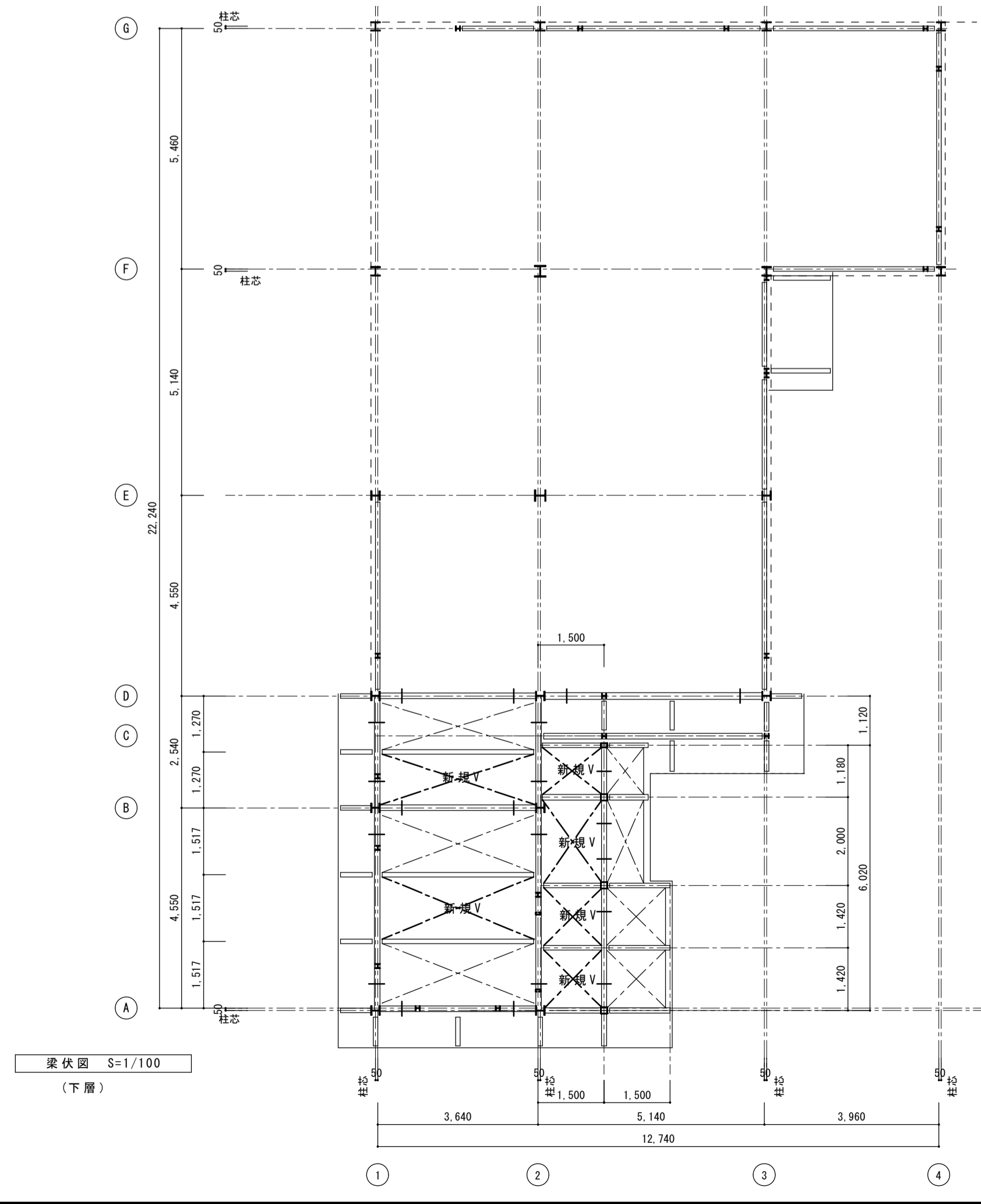
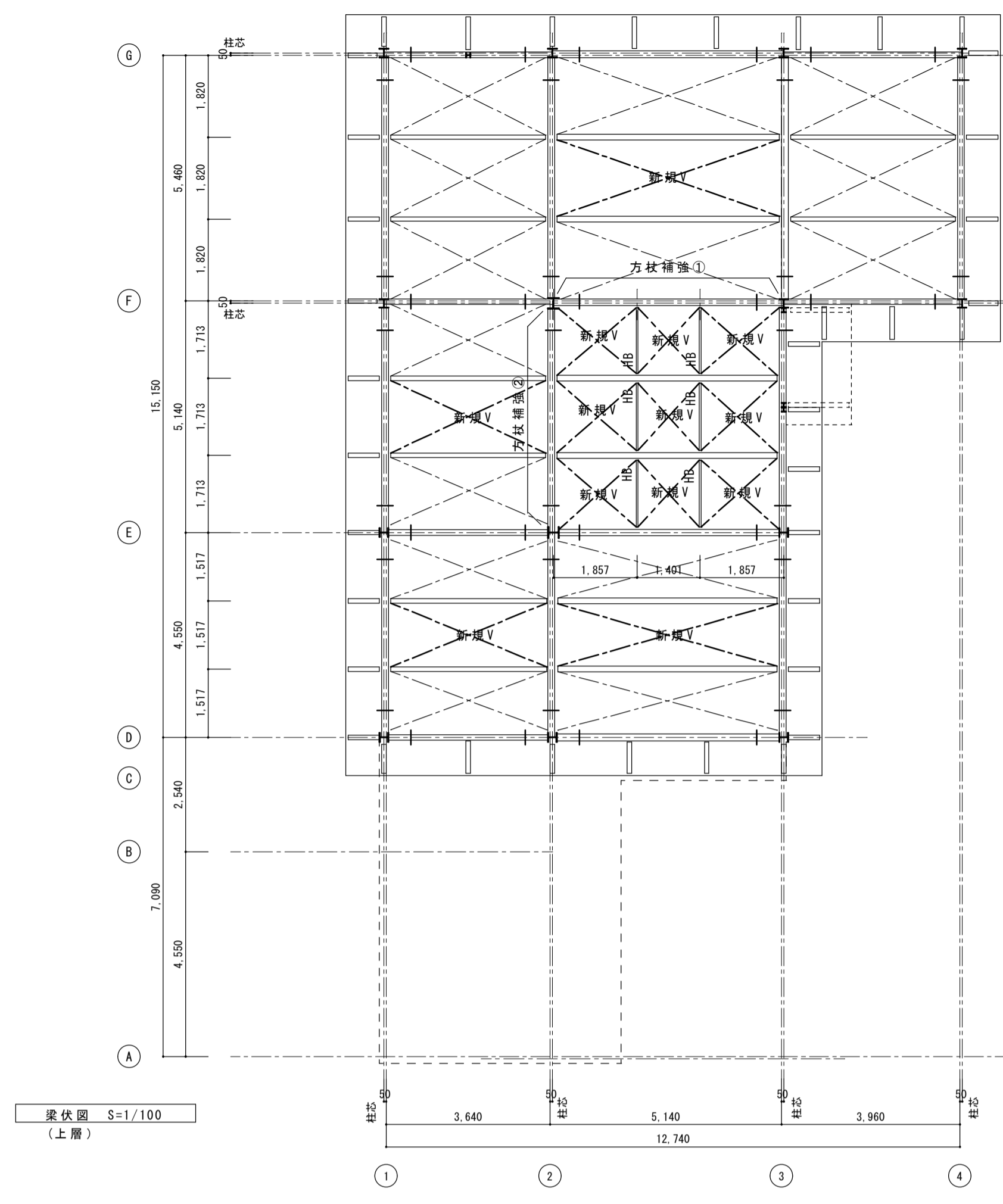
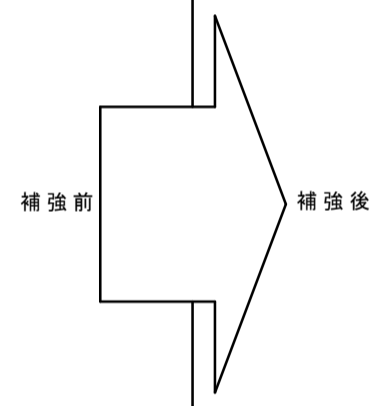


部材リスト(既存)

C1	H-250x250x9x14
C2	H-200x200x8x12
C3	H-100x100x6x8
C4	C-100x50x20x3.2
G1	H-300x150x6.5x9
G2	H-250x125x6x9
G3	H-200x100x5.5x8
B1	H-250x125x6x9
B2	H-200x100x5.5x8
プレート	16φ

部材リスト(既存増設部分)

G1'	C-150x150x6
G2'	C-150x100x6
G1'	H-250x125x6x9
B1	H-250x125x6x9
B2	H-200x100x5.5x8
プレート	13φ

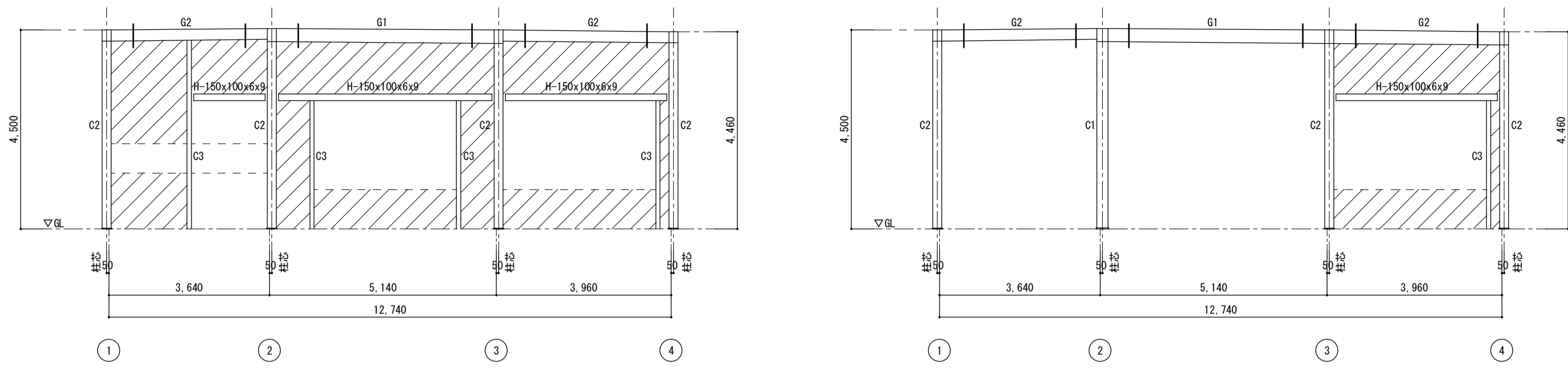


部材リスト(補強部材)

方柱T1	H-100x100x6x8
添柱P1	H-250x125x6x9
HB	C-75x40x5x7
座継止L	L-75x75x6
プレート	M16 (JIS)

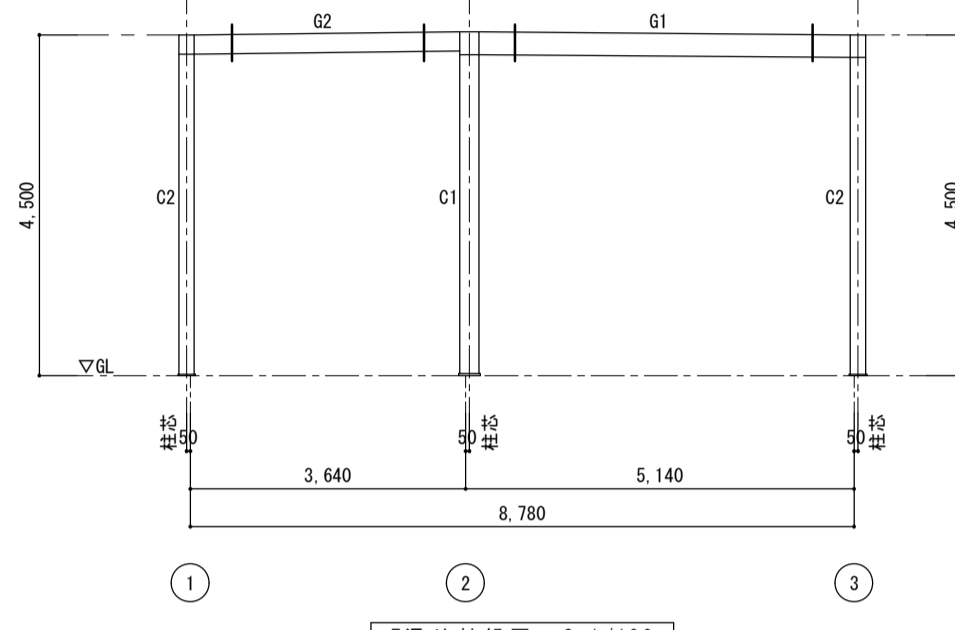
平成29年度 花之木地区市民センター耐震補強及び共用トイレ改修工事

No.	S-03	伊賀市次内地区	A1版
図名	梁伏図(補強前後)		1/50
設計			m/m
検査			検査員

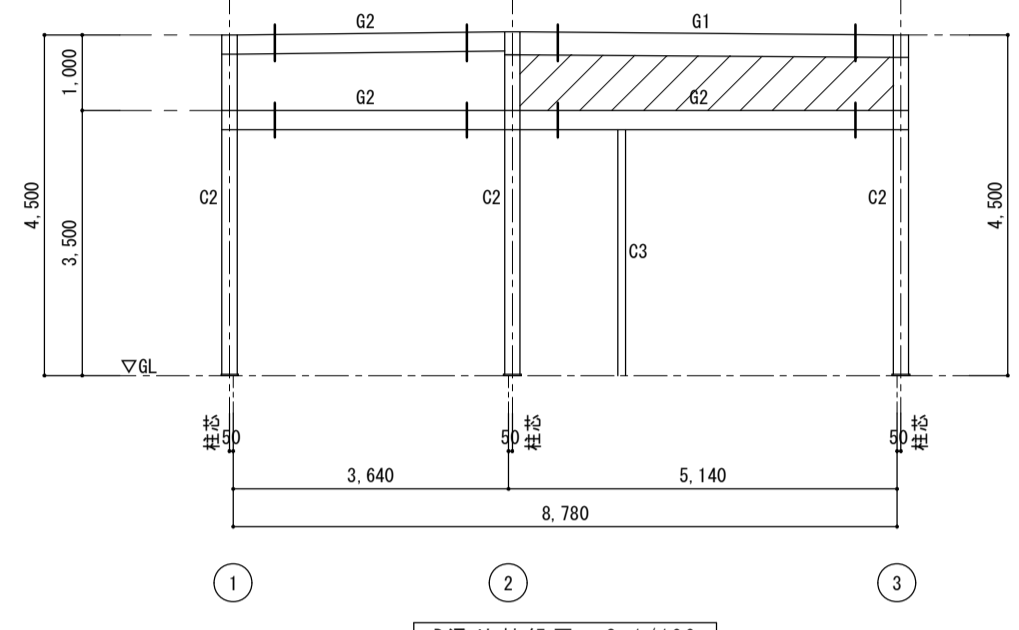


G通り軸組図 S=1/100

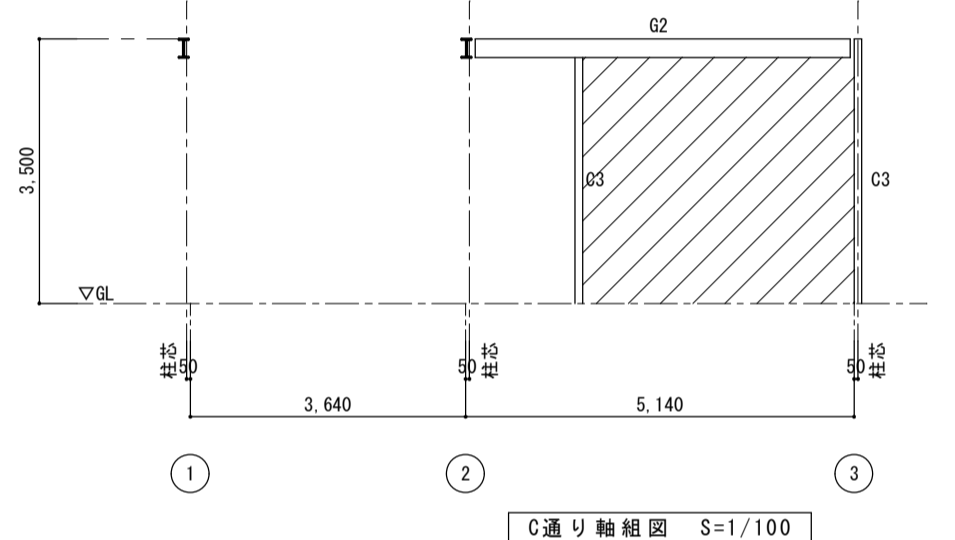
F通り軸組図 S=1/100



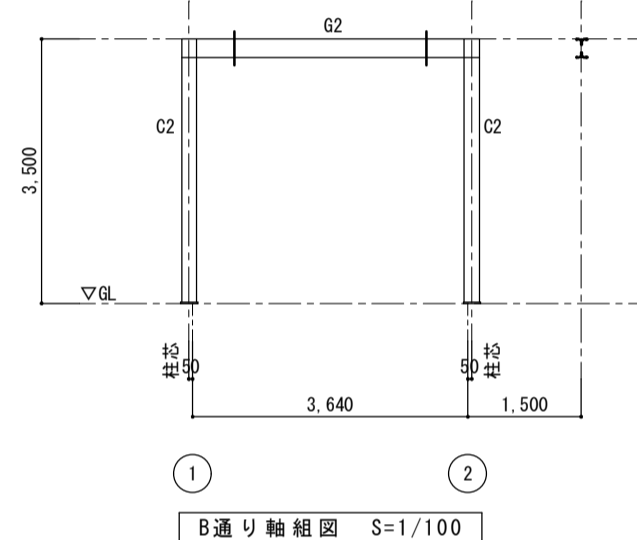
E通り軸組図 S=1/100



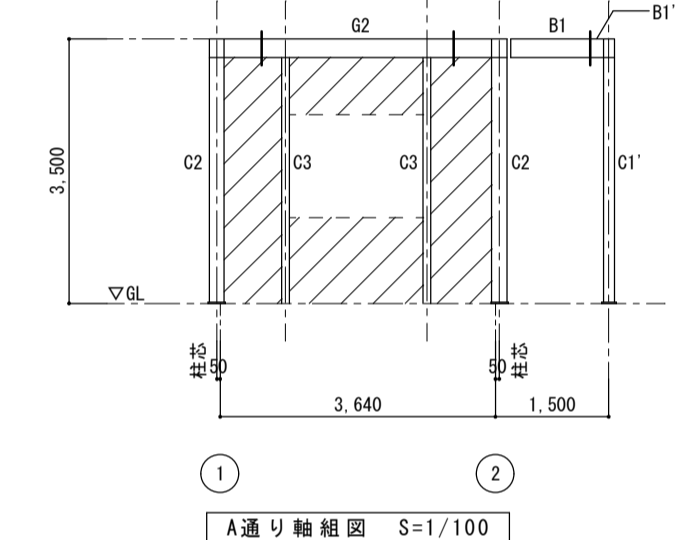
D通り軸組図 S=1/100



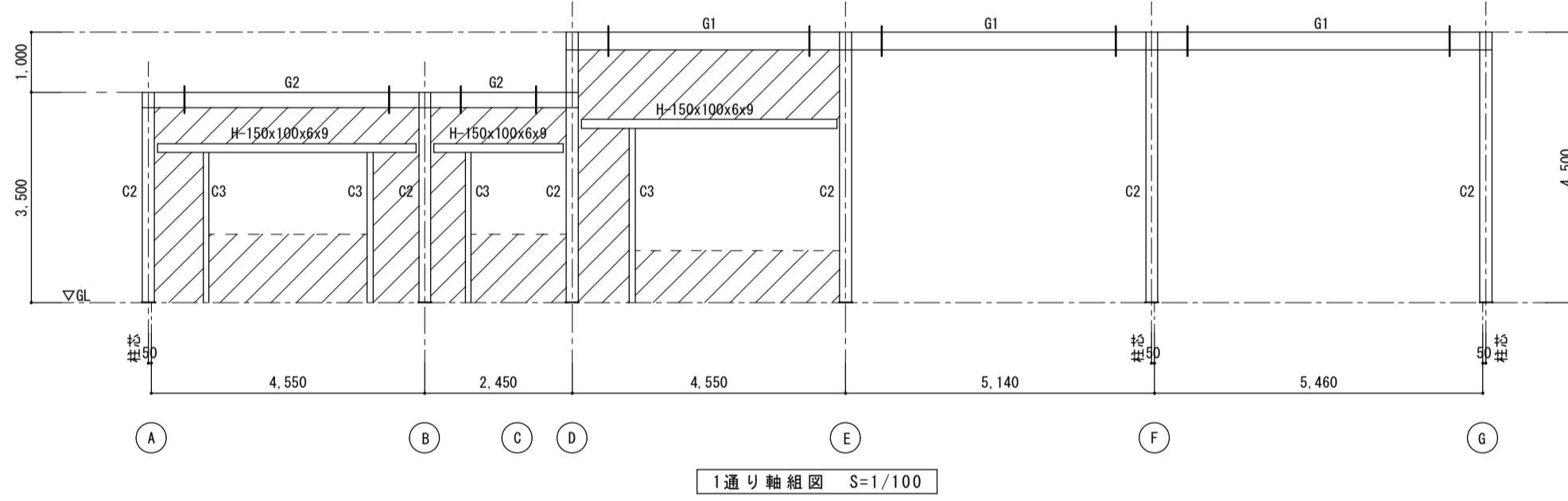
C通り軸組図 S=1/100



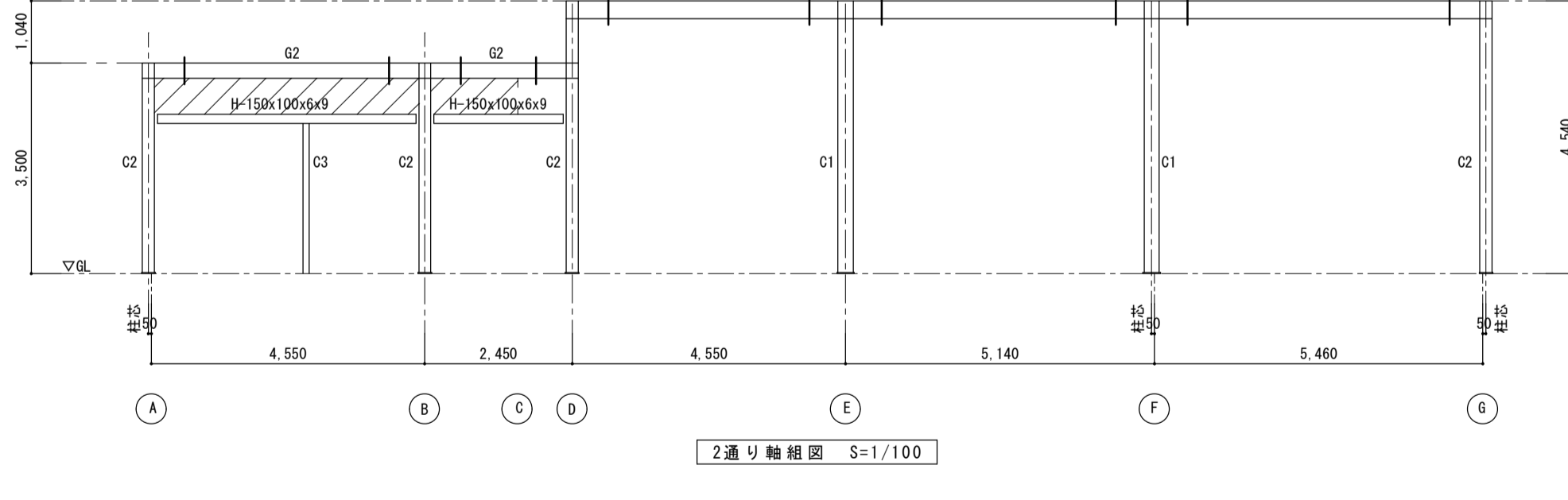
B通り軸組図 S=1/100



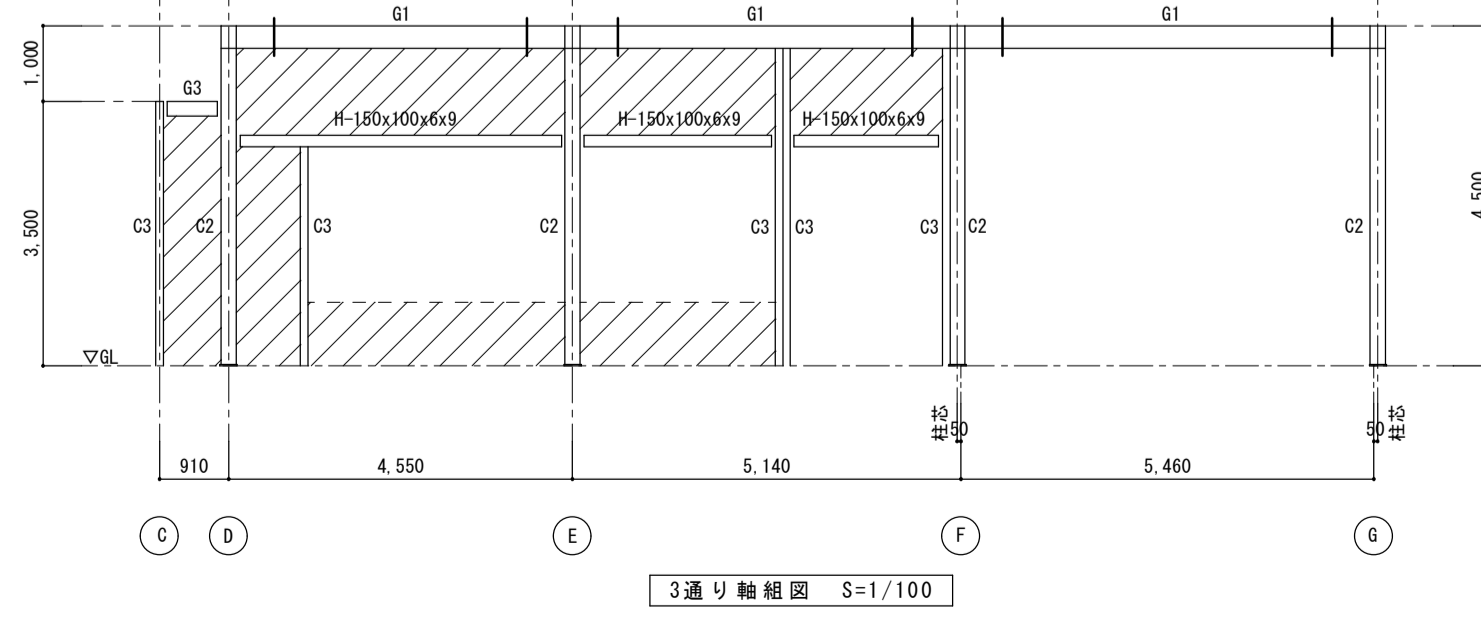
A通り軸組図 S=1/100



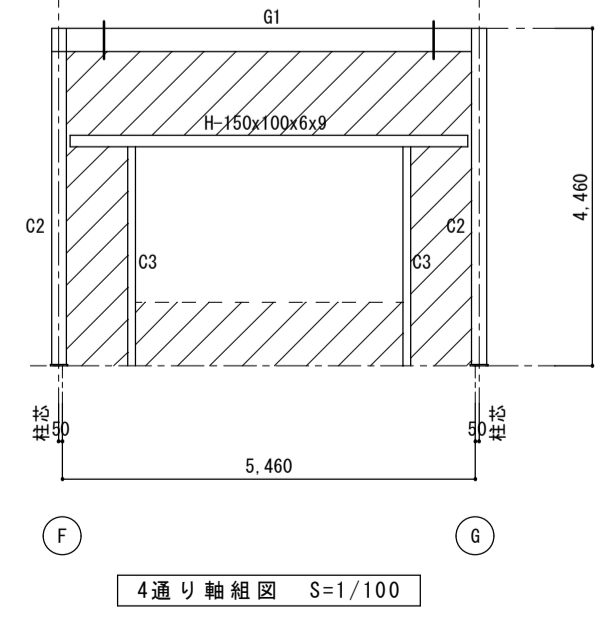
1通り軸組図 S=1/100



2通り軸組図 S=1/100



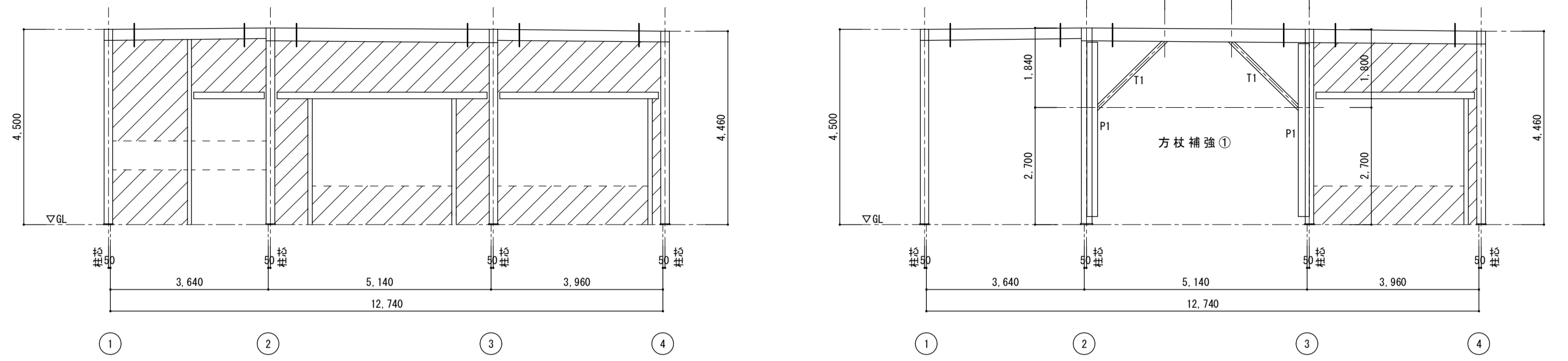
3通り軸組図 S=1/100



4通り軸組図 S=1/100

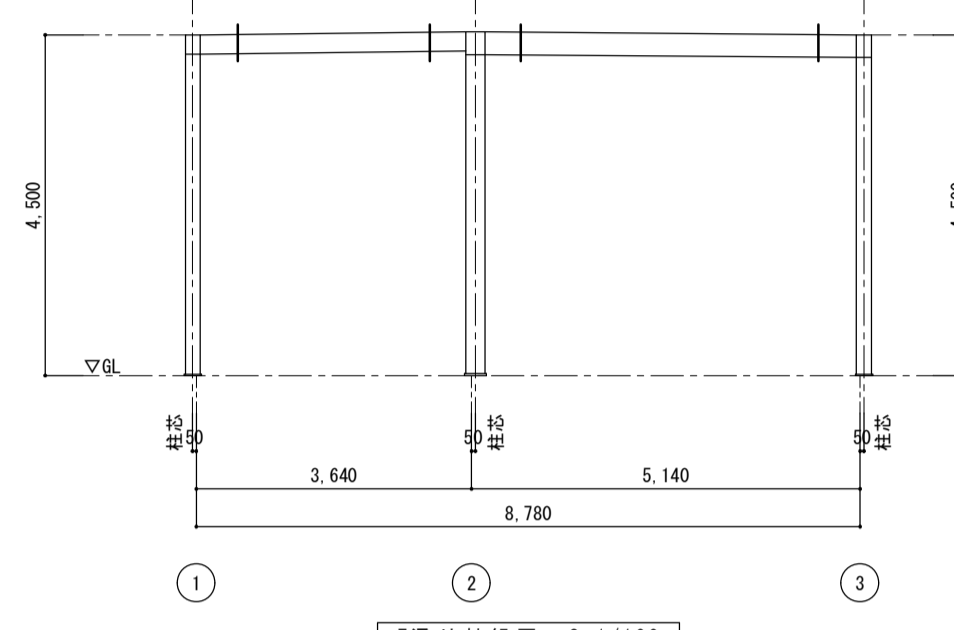
□ 鉄筋φ1=100
鉄筋φ=900、横φ=400

補強前

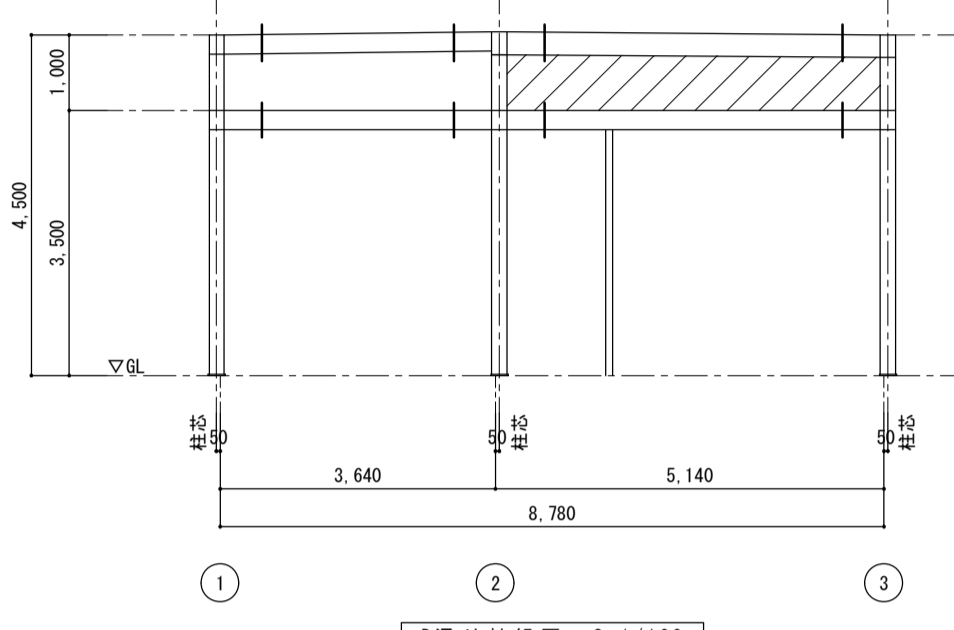


G通り軸組図 S=1/100

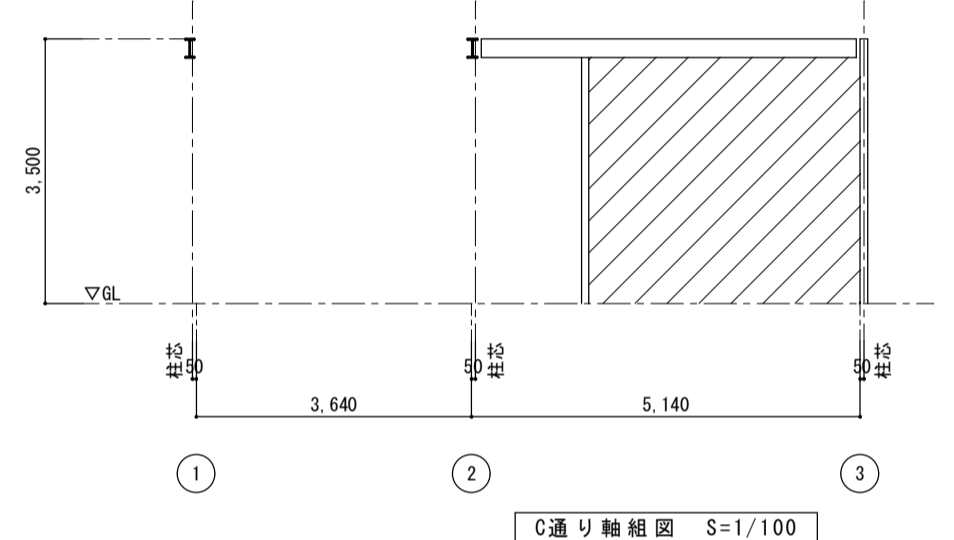
F通り軸組図 S=1/100



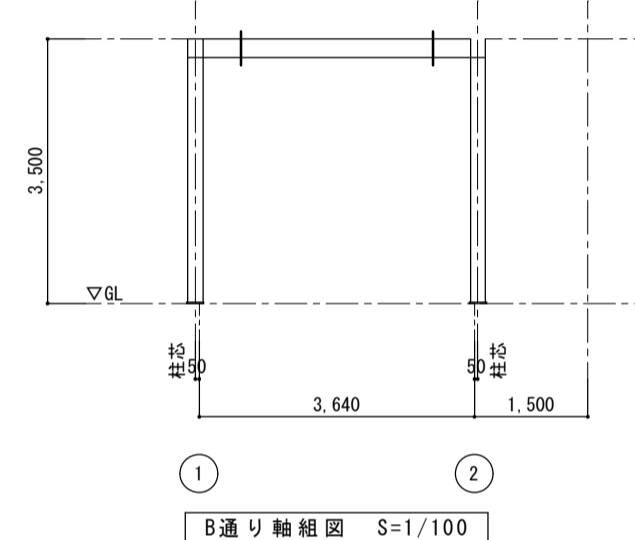
E通り軸組図 S=1/100



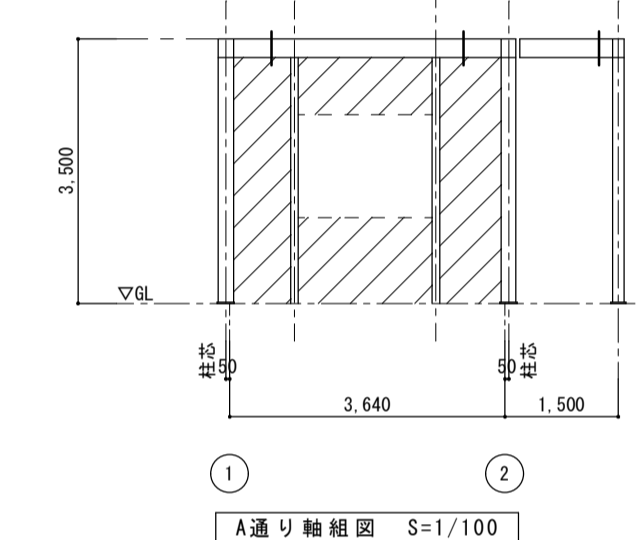
D通り軸組図 S=1/100



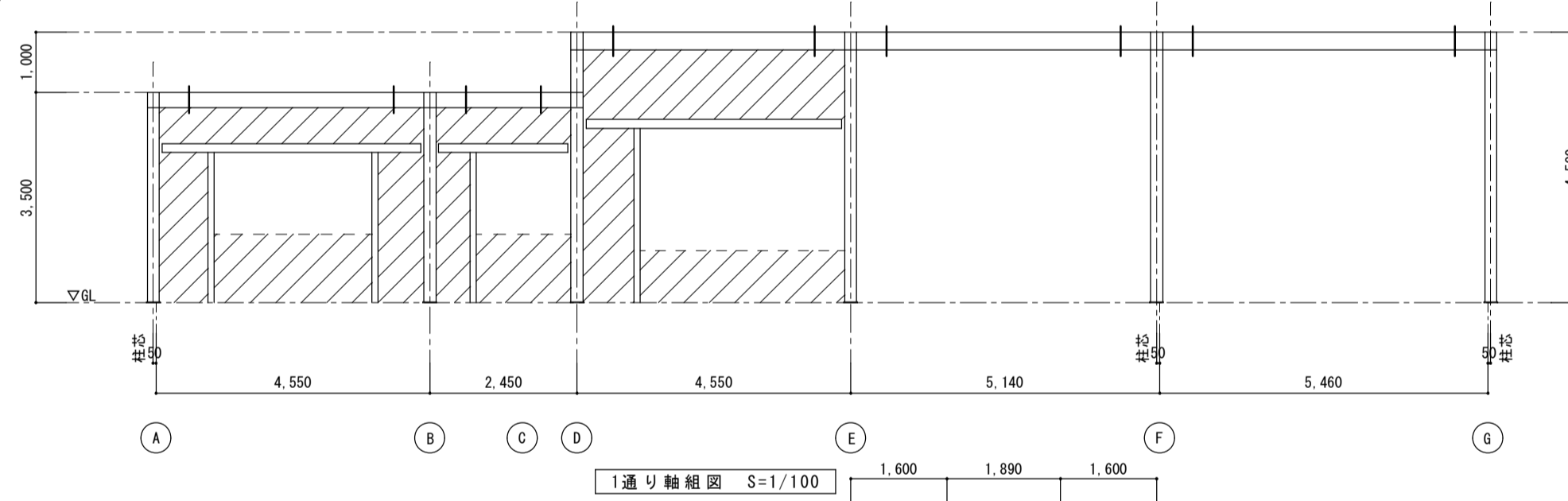
C通り軸組図 S=1/100



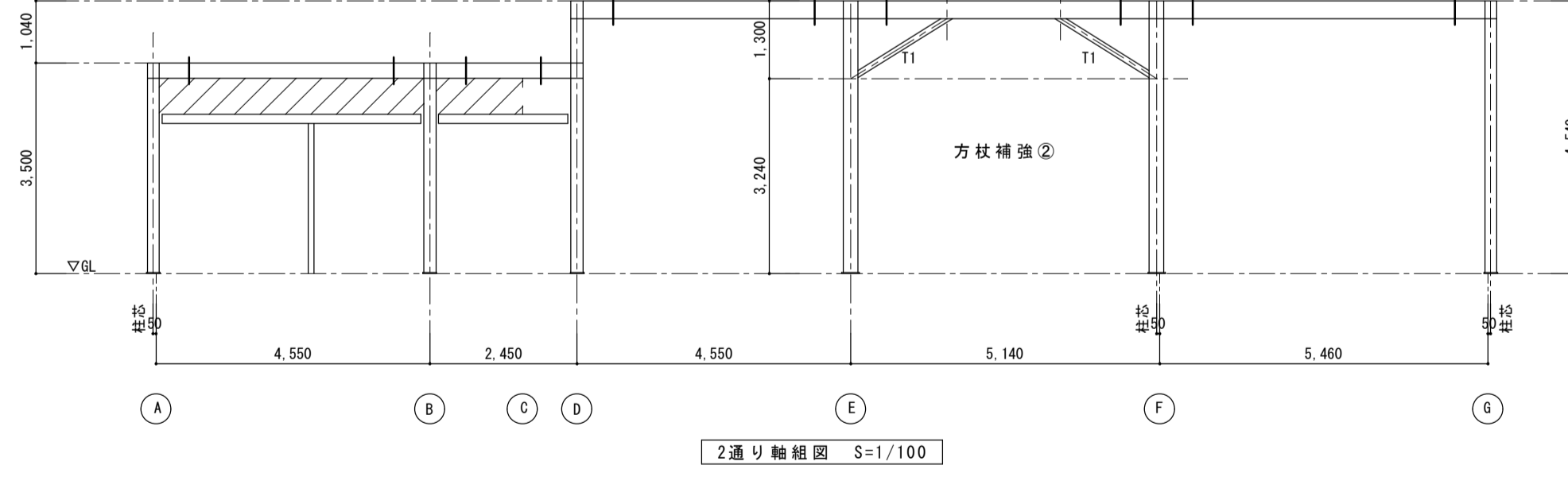
B通り軸組図 S=1/100



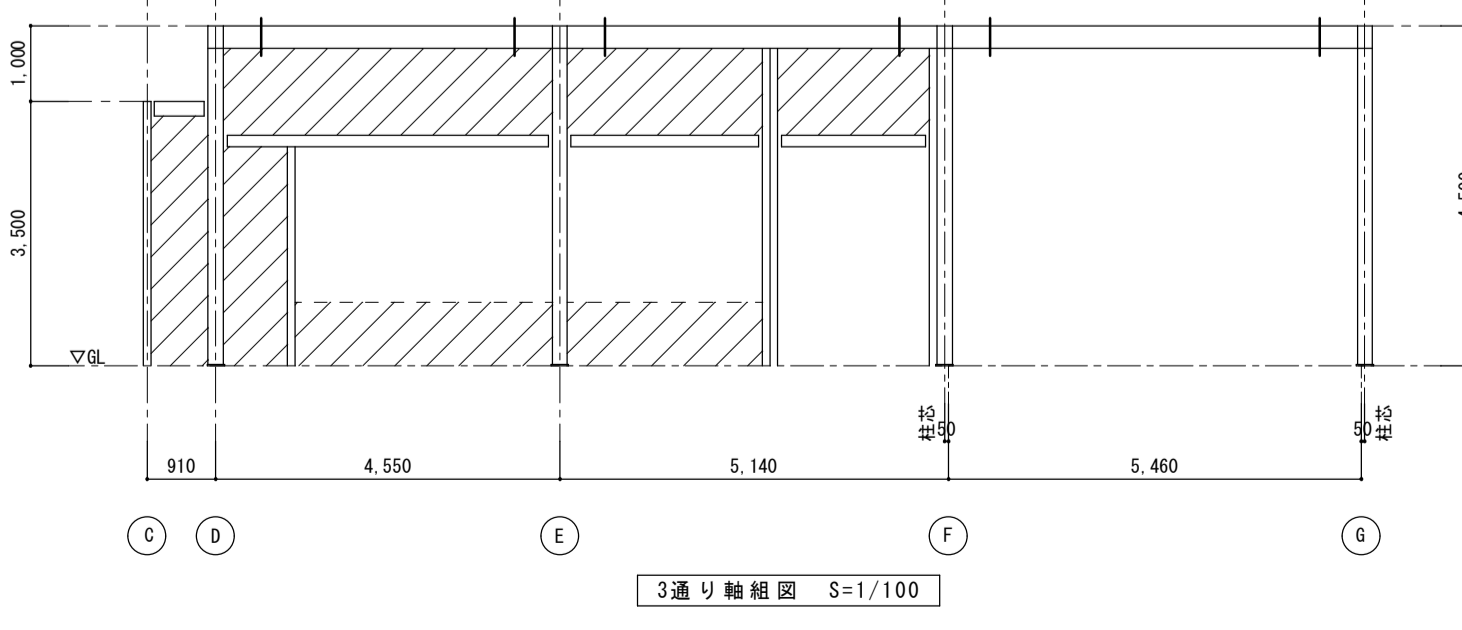
A通り軸組図 S=1/100



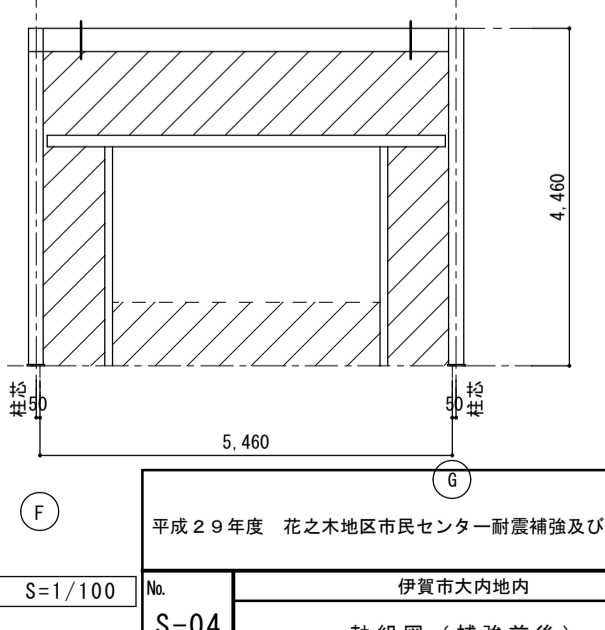
1通り軸組図 S=1/100



2通り軸組図 S=1/100



3通り軸組図 S=1/100

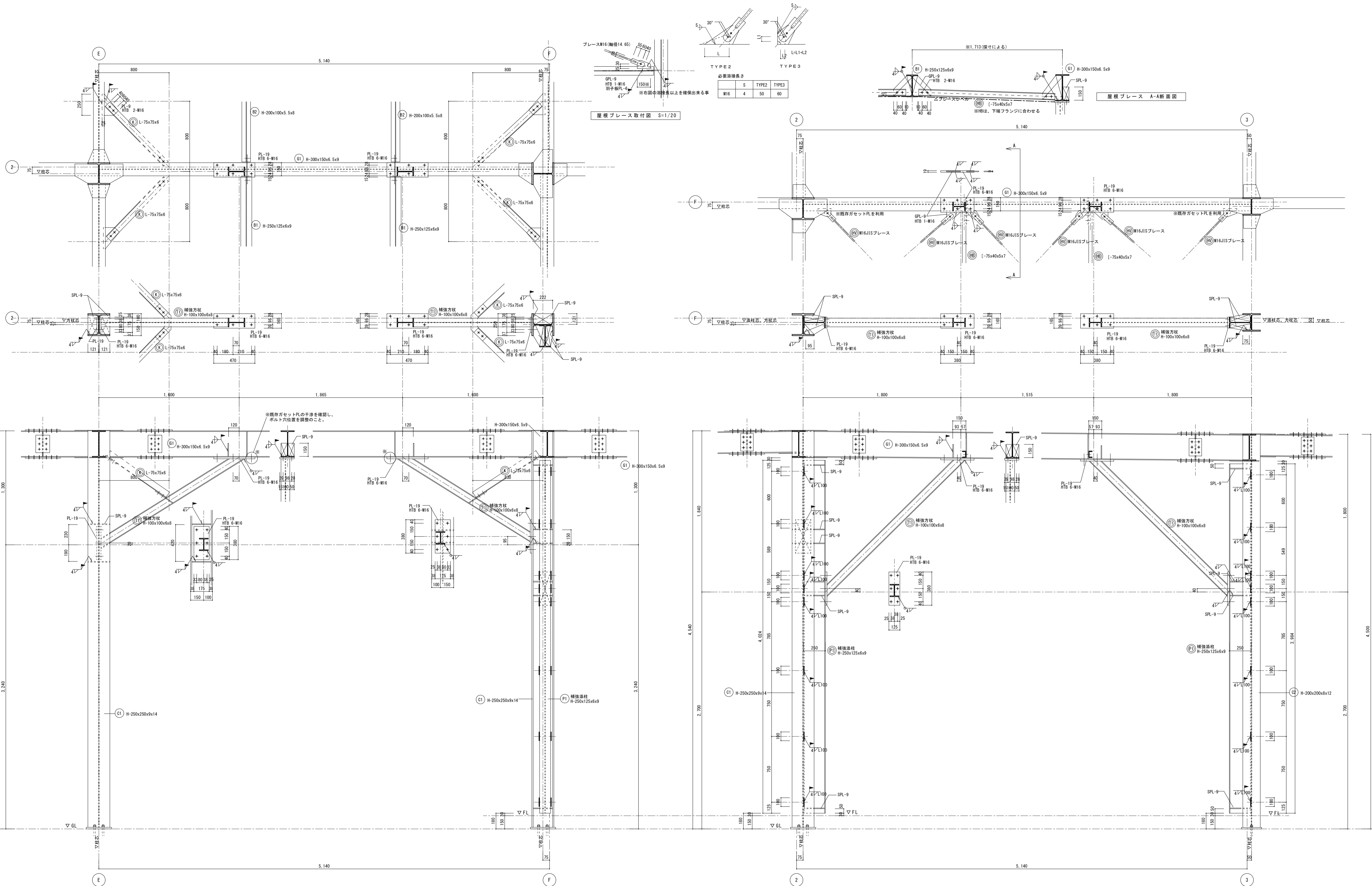


4通り軸組図 S=1/100

□ 鉄筋φ1=100
鉄筋φ=900、横φ=400

補強後

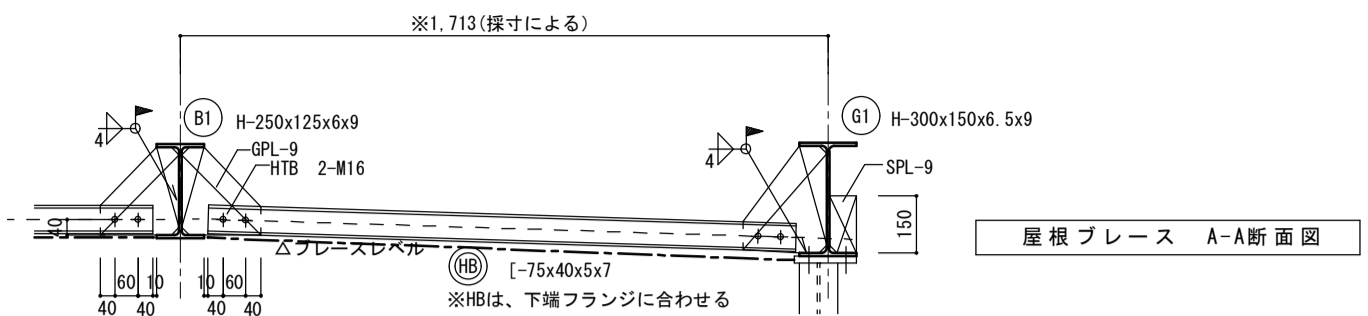
平成29年度 花之木地区市民センター耐震補強及び共用トイレ改修工事		
No.	伊賀市市内地区	A1版
S-04	軸組図(補強前後)	1/100
目付	図	棟
計		棟



ブレースM16(軸径14.65)

必要溶接長さ

必要溶接長さ	S	TYPE2	TYPE3
M16	4	50	60



○は、補強部材

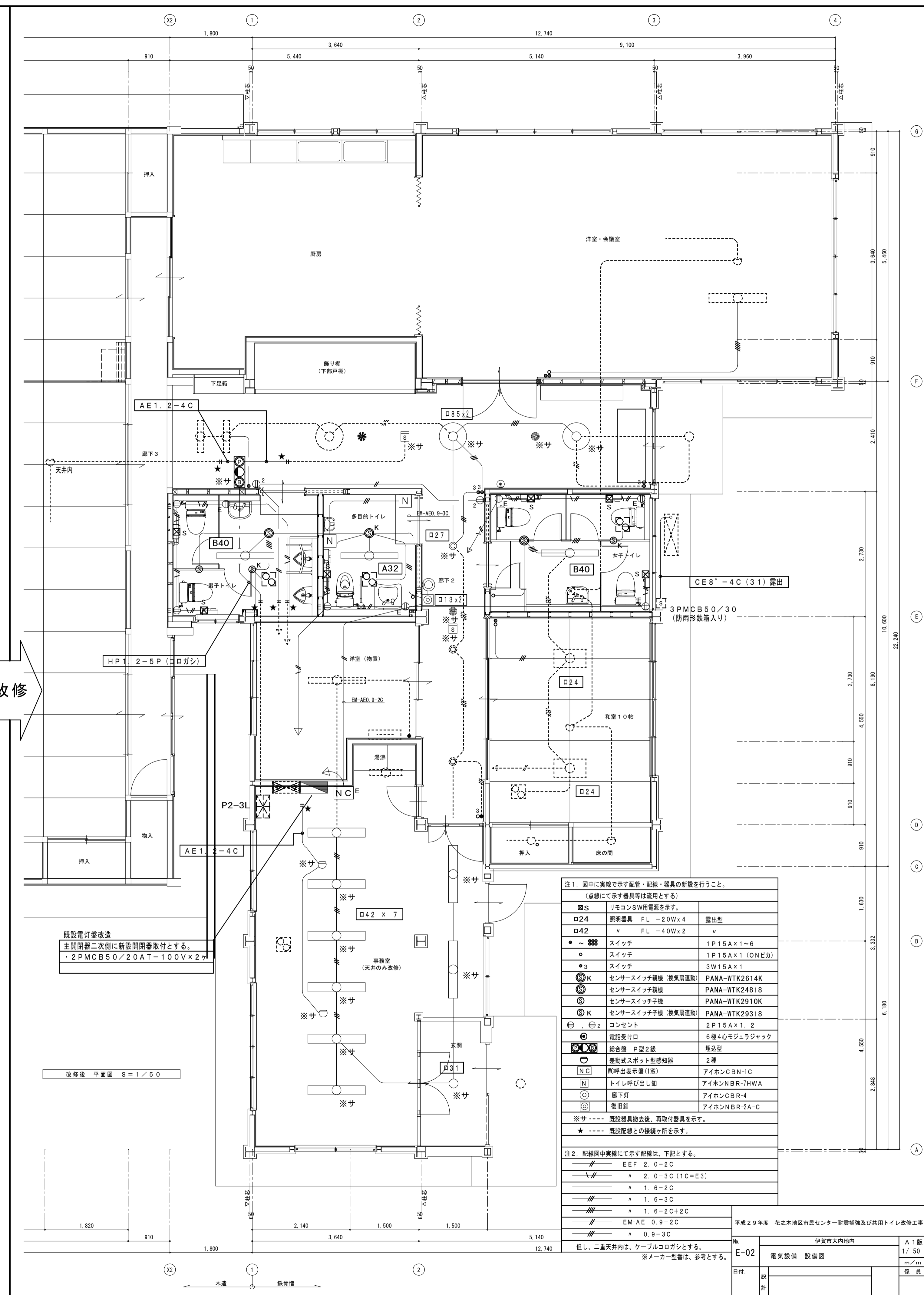
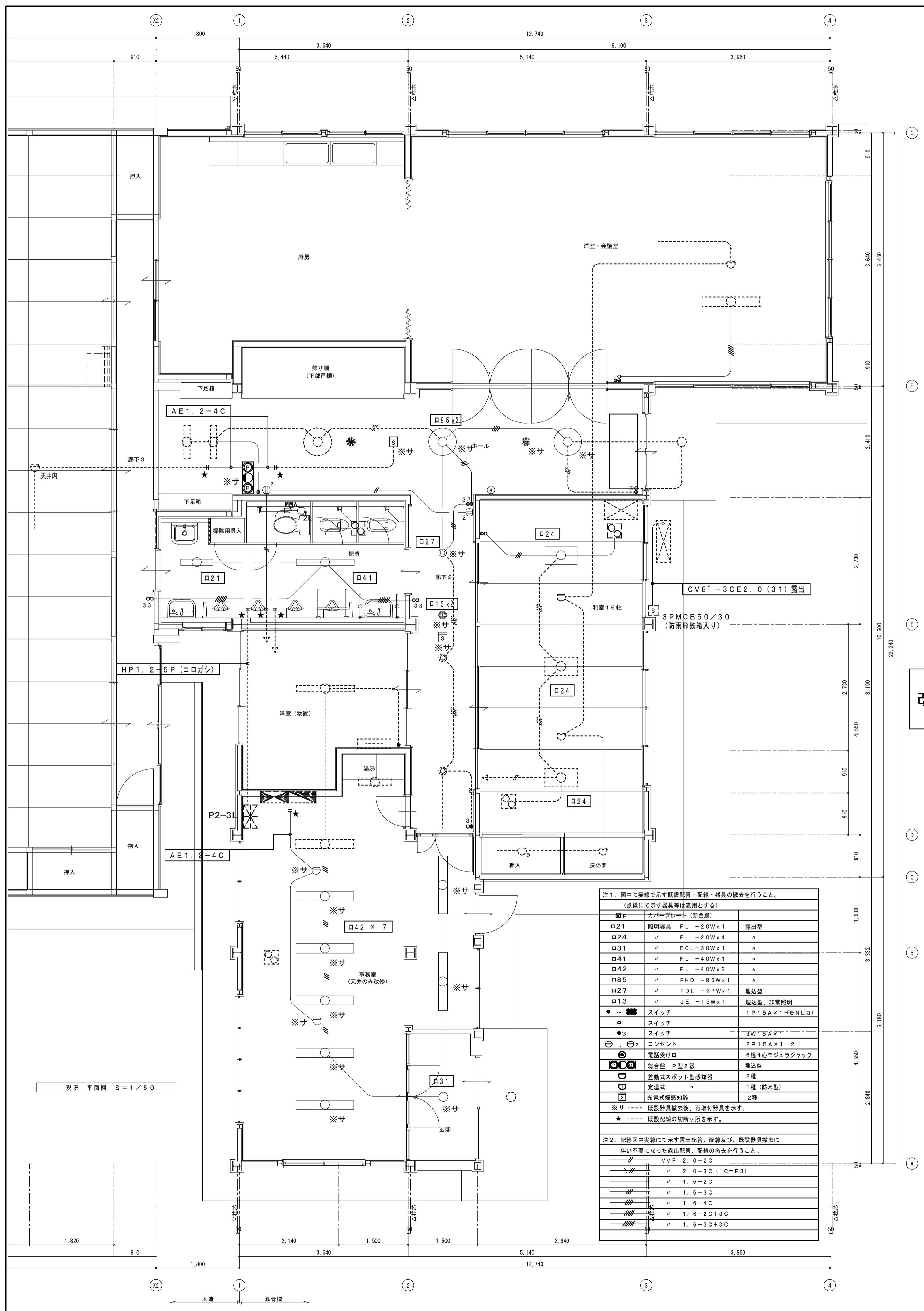
方杖②(2通り)補強詳細図 S=1/20

○は、補強部材

方杖①(F通り)補強詳細図 S=1/20

平成29年度 花之木地区市民センター耐震補強及び共用トイレ改修工事

№	伊賀市大内地区	A1版
S-05	補強詳細図	1/20
目付	図	m/m
計		棟員



注1. 図中に実線で示す既設配管・配線・器具の撤去を行うこと。
(点線にて示す器具等は流用とする)

□21	照明器具	FL - 20W x 1	露出型
□24	"	FL - 20W x 4	"
□31	"	FCL - 30W x 1	"
□41	"	FL - 40W x 1	"
□42	"	FL - 40W x 2	"
□85	"	FHD - 85W x 1	"
□27	"	FDL - 27W x 1	埋込型
□13	"	JE - 13W x 1	埋込型
●	スイッチ	1P15A x 1 (ON/OFF)	
○	スイッチ	3W15A x 1	
◎	コンセント	2P15A x 1, 2	
⊕	電話受付け口	6種4心モジュラージャック	
⊖	総合盤 P型2級		埋込型
⊙	差動式スポット型感知器	2種	
⊚	圧差式	1種 (防水型)	
⊛	光電式煙感知器	2種	

注2. 配線図中実線にて示す露出配管・配線及び、既設器具撤去に伴い不要になった露出配管・配線の撤去を行うこと。

—	VVF 2.0-2C	
—	" 2.0-3C (1C=E3)	
—	" 1.6-2C	
—	" 1.6-3C	
—	" 1.6-4C	
—	" 1.6-2C+3C	
—	" 1.6-3C+3C	

注1. 図中に実線で示す配管・配線・器具の新設を行うこと。
(点線にて示す器具等は流用とする)

⊕	リモコンSW用電源を示す。		
□24	照明器具	FL - 20W x 4	露出型
□42	"	FL - 40W x 2	"
●	スイッチ	1P15A x 1~6	
○	スイッチ	1P15A x 1 (ON/OFF)	
◎	スイッチ	3W15A x 1	
⊕	センサースイッチ継接 (換気扇連動)	PANA-WTK2614K	
⊖	センサースイッチ継接	PANA-WTK24818	
⊙	センサースイッチ子機	PANA-WTK2910K	
⊛	センサースイッチ子機 (換気扇連動)	PANA-WTK29318	
◎	コンセント	2P15A x 1, 2	
⊕	電話受付け口	6種4心モジュラージャック	
⊖	総合盤 P型2級		埋込型
⊙	差動式スポット型感知器	2種	
⊚	圧差式	1種 (防水型)	
⊛	光電式煙感知器	2種	
[N]	呼び出し表示 (1区)	アイホンC/NB-1C	
[N]	トイレ呼び出し	アイホンC/NB-1HWA	
⊙	廊下灯	アイホンC/NB-4	
⊚	復旧灯	アイホンC/NB-2A-C	

注2. 配線図中実線にて示す配管は、下記とする。

—	EEF 2.0-2C	
—	" 2.0-3C (1C=E3)	
—	" 1.6-2C	
—	" 1.6-3C	
—	" 1.6-2C+2C	
—	EM-AE 0.9-2C	
—	" 0.9-3C	

平成29年度 花之木地区市民センター耐震補強及び共用トイレ改修工事
 伊賀市大内地区内
 E-02 電気設備 設備図
 A1版 1/50
 m/m
 係員

機械設備工事特記仕様書 ◎印を付けたものを本工事に適用する。

建築概要
工事名称: 平成29年度 花之木地区市民センター耐震補強及び共用トイレ改修工事
工事場所: 伊賀市内大内地区
建物名称: 花之木地区市民センター
構造: S+木造
階数: 1
延べ面積 (㎡): 351.98

一般事項
適用仕様書: ◎三重県公共工事共通仕様書, ◎国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)」

優先順位: 1. 現場説明事項・質疑応答書 2. 本特記仕様書 3. 設計図書 4. 工事共通仕様書
申請手続: 工事に伴う関係官公署、ガス会社への諸手続きは請負者がこれを代行し、必要経費も本工事に含むものとする。

工程表: 実施工程表、月間工程表を関連業者間にて十分協議して作成し、監督員に提出する。
施工図: 請負者は施工に先立ち、施工計画書、工程別施工要領書、施工図等を作成し、監督員と打ち合わせを行うこと。

機器及び材料等: 工事に使用する機器及び材料等については、予め使用機材届出書(メーカーリスト)、機器説明図、現品、カタログ、その他諸資料を事前に届け出ること。
完成図書: 工事完成の上は各種の試験、検査を受け許可書証、成績表、工事写真、日報、材料検収簿、完成写真、竣工図、取扱説明書等とりまとめ提出すること。

特記事項: ◎地中埋設の給水、ガス、消火管等は埋設表示杭、埋設シートを布設する。
◎機器及び配管等は、地震時に水平移動、転倒、落下などが生じないように「建築設備耐震設計指針」により施工する。

保温工事: ◎保温施工範囲は共通仕様書による。
◎保温施工種別 ◎共通仕様書による。
◎保温厚さ ◎共通仕様書による。
給排水管・給湯管・温水管・ドレン管
消火管(但し屋外のみ)

工事種別: 屋外, 屋内
給排水衛生設備: 給水設備, 排水設備, 衛生器具設備, 給湯設備, ガス設備, 消火設備, ろ過設備, 浄化槽設備

工事範囲
給水設備: ◎給水方式 ◎水道直結方式 ◎高架水槽方式 ◎市水 ◎圧送方式 ◎FRP製 ◎ステンレス製 ◎鋼製製
配管材料: ◎ライニング鋼管 ◎塩化ビニル管 ◎さや管工法 ◎井類 ◎量水器 ◎引込加入、市納金等
排水設備: ◎排水方式 ◎放流先 ◎配管材料 ◎樹類 ◎大便器洗浄方式 ◎水栓 ◎給湯方式 ◎配管材料
ガス設備: ◎配管材料 ◎ボンベ ◎窒化装置 ◎メーター ◎ガス漏れ検警報器
消火設備: ◎屋内消火栓箱 ◎屋外消火栓箱 ◎連結送水管 ◎消火栓弁 ◎ろ過設備 ◎浄化槽設備

機器設備: ◎設計空気条件 (指示なきは建設省建築設備設計基準による)
◎熱源機器 ◎放熱器 ◎配管方式 ◎配管材料
◎ダクト設備: ◎風道 ◎風道材質 ◎吹出口・吸込口 ◎その他
◎換気設備: ◎風道 ◎風道材質 ◎吹出口・吸込口 ◎耐火被覆 ◎その他
◎排煙設備: ◎排煙口開放装置 ◎復帰方式 ◎排煙風量測定 ◎その他
◎床暖房設備: ◎熱源 ◎その他
メーカーリスト: 下記リスト以外の選定は係員の承認を必要とする。

平成29年度 花之木地区市民センター耐震補強及び共用トイレ改修工事
No. M-01
目付: 設計

図示記号

記号	名称
— — — — —	給水管
— — — — —	給湯管
— G — — — —	ガス管
— — — — —	排水管
— — — — —	通気管
— — — — — R — — — —	冷媒管
— — — — — D — — — —	ドレン管
— — — — —	換気ダクト

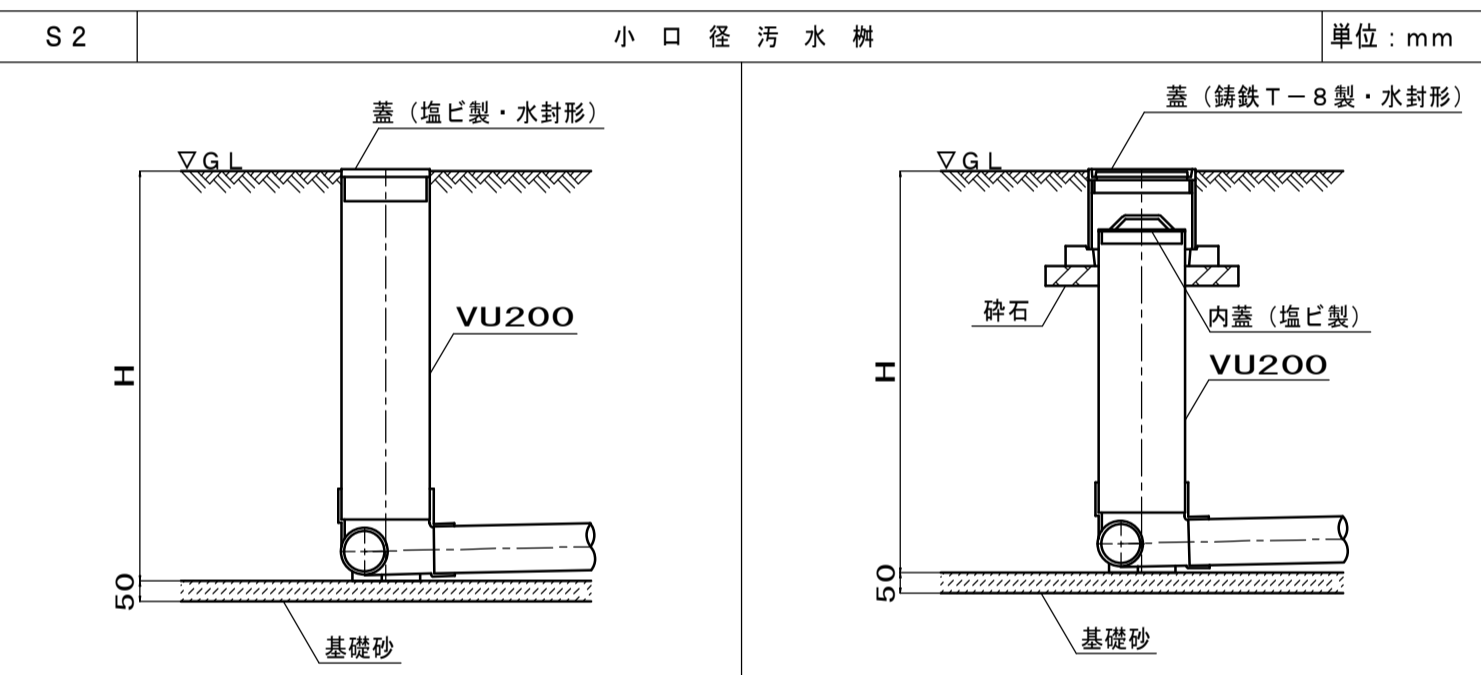
記号	名称
⊕	給水栓
⊕	給湯栓
⊕	混合水栓
⊕	フラッシュバルブ
⊕ ⊗	弁類
⊕	床上掃除口
⊕	排水金物

樹仕様

種別	記号	樹寸法	樹寸法	備考
小口径インバート樹	S-2	200φ	密閉型 200φ	記号 ○
小口径インバート樹	S-3	300φ	密閉型 300φ	記号 ○
小口径雨水樹	R-2	200φ	密閉型 200φ	記号 ⊗

記号 ・D → MHD蓋 ・A → MHA蓋 ・B → MHB蓋 ・格子 → 格子蓋 ・化粧 → 化粧蓋+MHB蓋
 ・トラップ → トラップ樹 ・ドロップ → ドロップ樹 ・T → 錆鉄製蓋 (T-2~25) ・表記なし → 塩ビ製蓋 (鎖付き)

図面上の勾配は参考として、管底、樹位置は詳細図作成の上、決定とする
 管底合わせが出来ない場合は掃除口を設ける
 図示無きも車両乗り入れ部は錆鉄製蓋 (一般車両部T-8) とすること
 塩ビ製インバート樹と流入管底の口径は変芯ソケットを使用して調整する
 雨水の小口径塩ビ樹は、泥溜H=150以上とし、樹脂製バケットを含むものとする



衛生器具表

器具名称	参考品番	付属品 他一式共	男子トイレ	女子トイレ	多目的トイレ	外	合
小便器	UFH500	オートクリーンU乾電池タイプ (TEA62ADR), バックハンガー (T9R)	2				2
洋風便器 (掃除口付)	CS597BCS	SH596BAYR (タンク式), TCF5533AEY (便蓋無し・洗浄便座:貯湯式) リモコン+便器洗浄リモコン	2	3			5
車椅子対応便器 (高座面)	CS20AB	SH30BA (タンク式), TCF5533AMPR (便蓋無し・洗浄便座:貯湯式) リモコン+便器洗浄リモコン			1		1
欄干二連紙巻器	YH702		2	3	1		6
L型手すり	T112CL9	T110D15x2, T110D34x1	1	1			2
L型手すり	T112CL9	T110D45x2, T110D44x1, T110D37x3			1		1
可動式手すり	T112HK8	T110D53x1, T110D36x1			1		1
小便器用手すり	T112CU2	T110D45x4, T110D36x2	1				1
洗面器	L210CM	TENA41A (自動水栓), TL250D, T7PW1, TS126AR (水石融入)	1	1			2
バリアフリー洗面器	L103DMP	TENA50A (自動水栓), T7PW9, TL22D, HH04060, TS126AR (水石融入)			1		1
ベビーチェア	YKA15	T110D45x2, YPH62017W2, YPH13057			1		1
化粧鏡	YM4560A	450x600	1	1			2
大型鏡 (建築工事)	MMA1A1600A600W	1600x600 (建築工事)		建			建
扉入れ	YKB104	ST-M26			1		1
サニタリーボックス	YKB104	ST-M3			3		3

注記) 器具個数は参考とし各図面確認の上とする。
 器具の色柄及び仕様は再度打合せ、協議、承認図を提出の上、決定する事。
 器具取付箇所は事前に打合せを行い建築工事にて必要な補強を行う事。

空調機器表 形式:空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン

記号	機器名称	参考品番	能力 (KW)		消費電力 (KW)		圧縮機出力 (KW)	APF	送風機出力 (KW)	電源	開閉器容量 配線サイズ	付属品	台数	設置場所
			冷房	暖房	冷房	暖房								
⊕ PAC 1	壁掛形	AKSA04066X	3.6 (1.0~4.0)	4.0 (0.8~6.4)	0.876	0.959 低温 (1.86)	1.1	5.7	内0.030 外0.043	3φ200V	15A 2.0'	ワイヤレスリモコン 既製コンクリート基礎 防振ゴム板敷 他一式共	1	和室10帖

注記)
 室外機-室内機間の2次側配線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とする。 断熱材被覆銅管 原管はJIS H3300による。
 電源容量値は参考とする。 保温厚はガス管20mm、液管10mm (10φ以下は8mm)とする。
 運転特性、能力はJIS条件による。 高調波対策が必要な機器は対策を講じるものとする。
 室外機:基礎150H (タイガーベース相当)、防振ゴム板敷

換気機器表 フードは指定色焼付塗装とし、現場指示とする

機器番号	機器名称 参考型番	形式・仕様	電気容量		台数	設置場所・備考
			電源 (V)	電動機 (W)		
⊕ V 1	天井換気扇 VD-18ZB10	形式 低騒音形 径150φ 風量 250 m3/h 40 Pa 付属品 SUS製深形フード、他一式共	1φ-100	29.5	3	男子トイレ 女子トイレ 多目的トイレ

注記 フードは指定色焼付塗装とする。

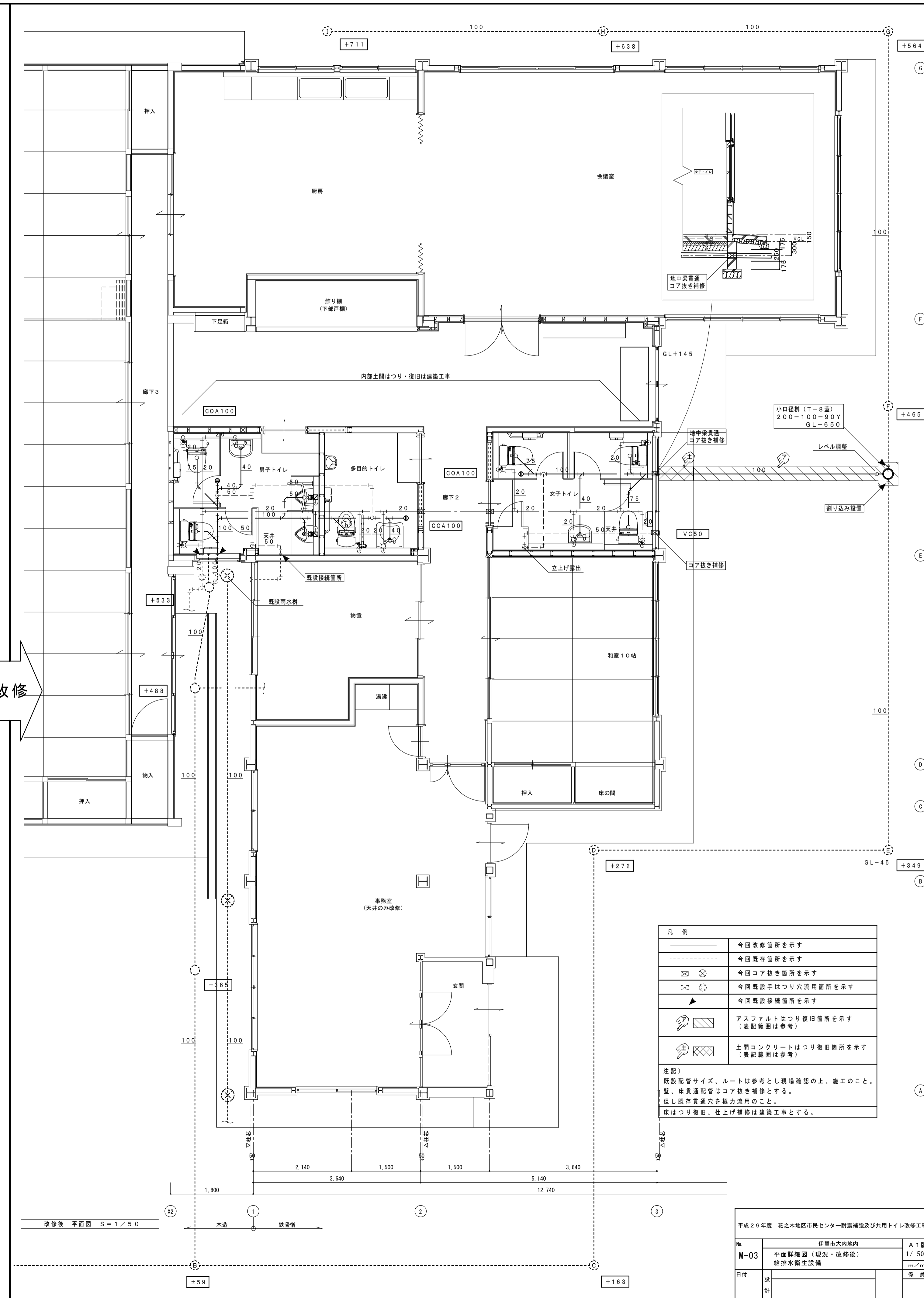
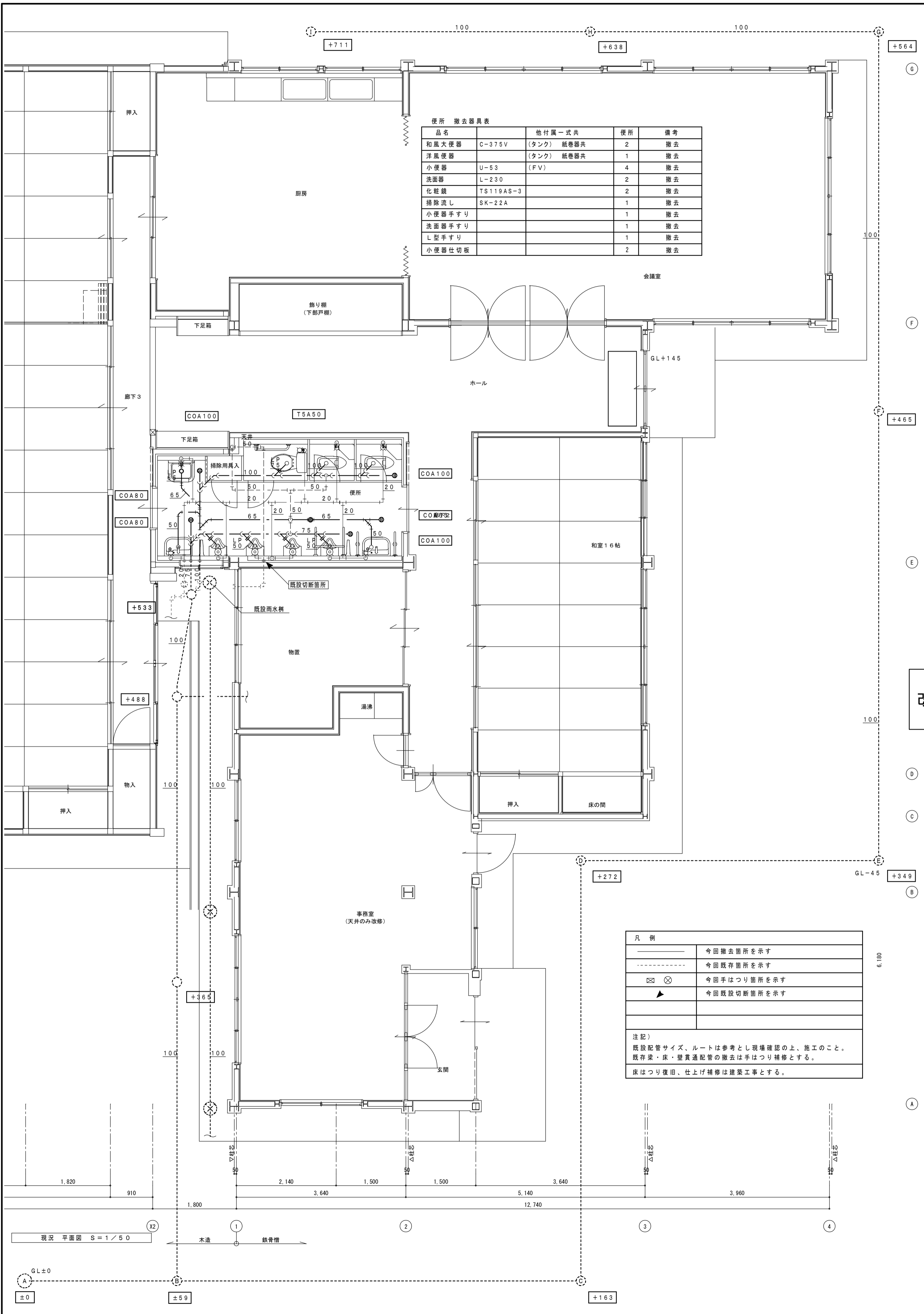
既設機器表 (撤去)

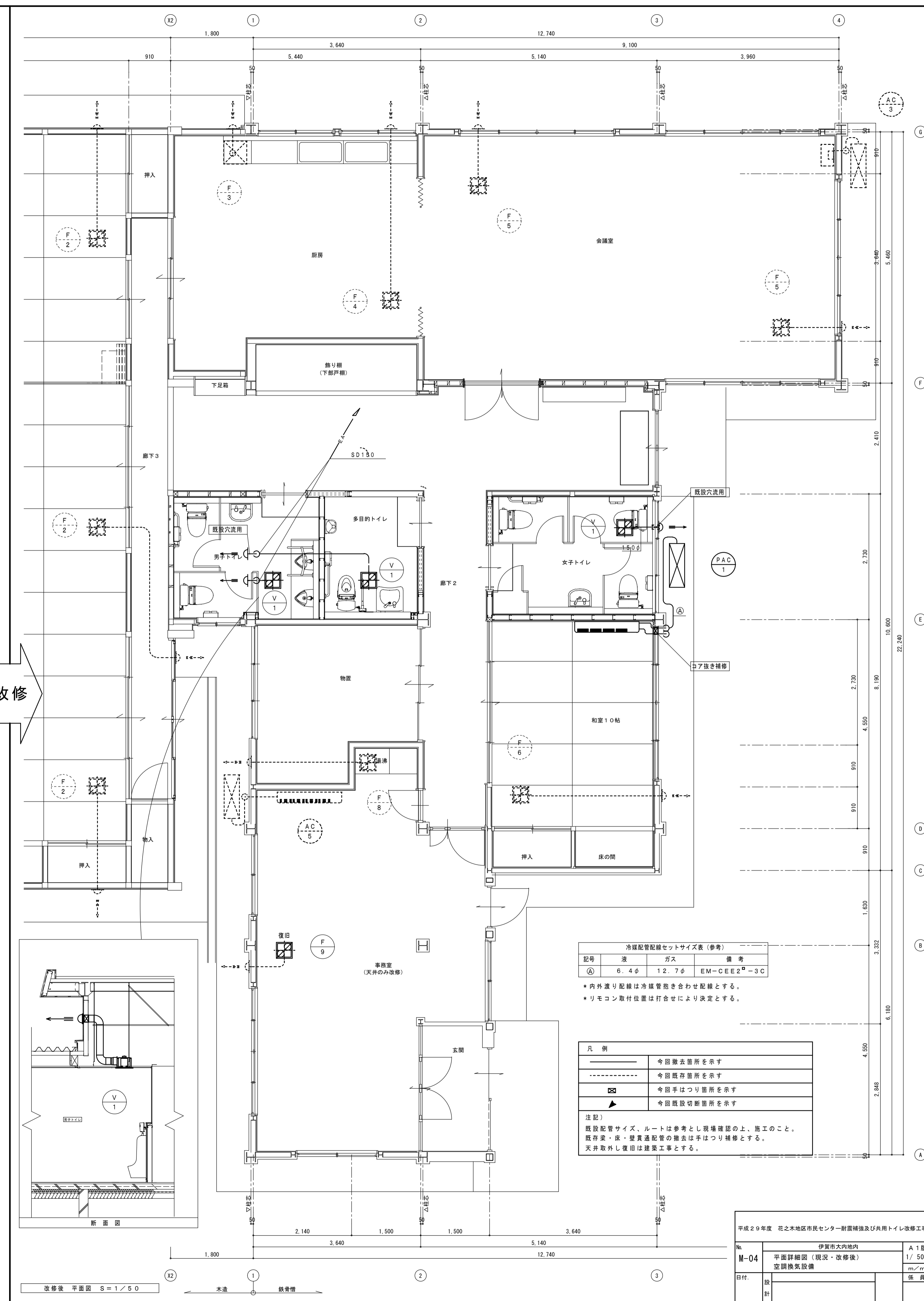
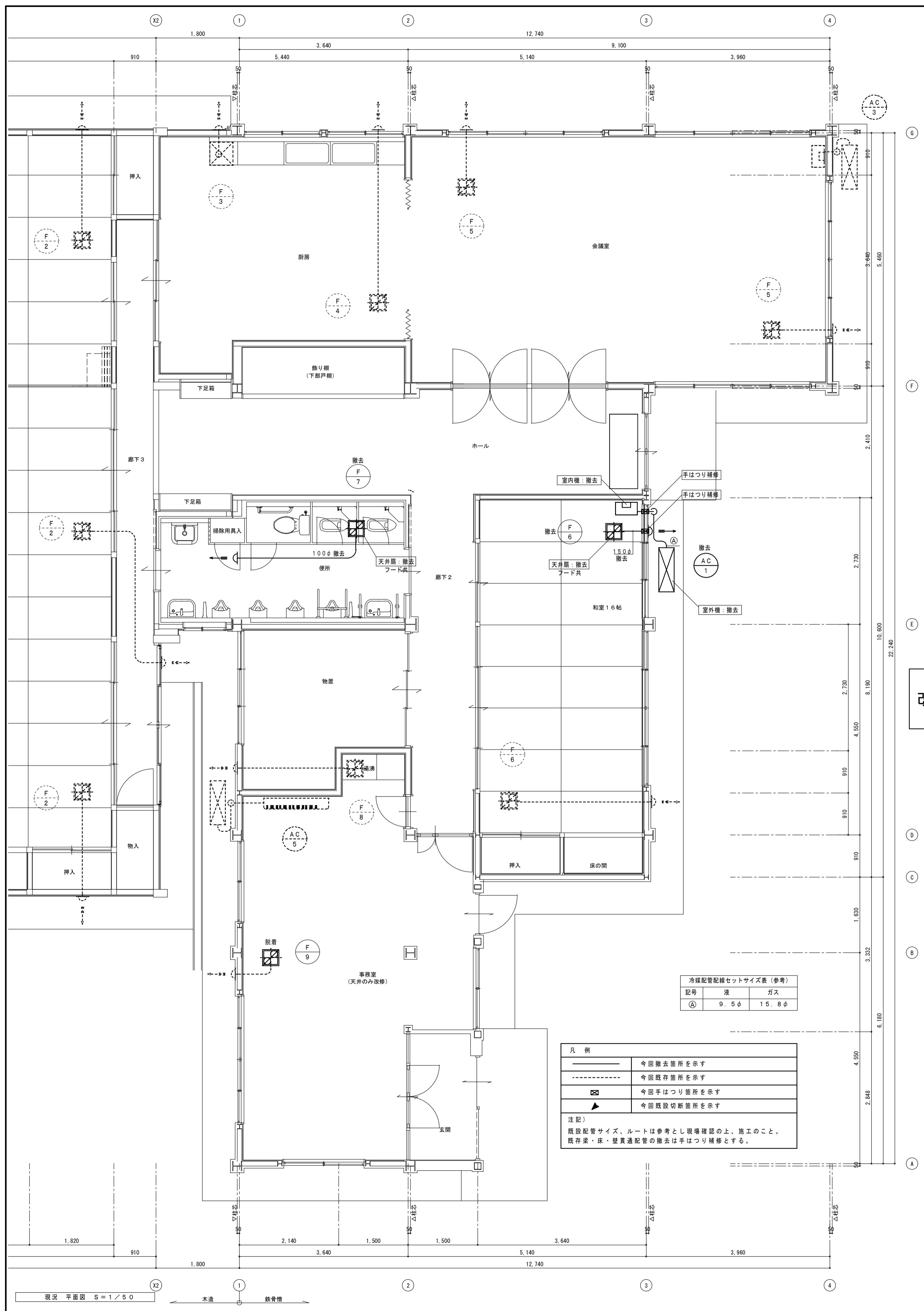
記号	名称	形式	冷媒	数量	設置場所	備考
⊕ AC 1	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン ROA-J713H	形式 床置き型 冷房能力 7.1kW 電源容量 3φ200V 圧縮機2.0kW 消費3.21kW 基礎 既製基礎150H	R22	1	和室16帖	撤去 基礎共 冷媒回収破壊処理

備考 電気容量等は参考値とする

既設機器表 (撤去、脱着)

記号	名称	形式	数量	設置場所	備考
⊕ F 6	天井換気扇	形式 天井埋込形 150φ 風量 付属品 ダクト、フード、他一式共	1	和室16帖	撤去
⊕ F 7	天井換気扇	形式 天井埋込形 100φ 風量 167m3/h相当 付属品 ダクト、フード、他一式共	1	便所	撤去
⊕ F 9	天井換気扇	形式 天井埋込形 150φ 風量 付属品	1	事務室	本体のみ脱着





冷暖配管配線セットサイズ表 (参考)

記号	液	ガス
①	9.5φ	15.8φ

凡例

—	今回撤去箇所を示す
---	今回既存箇所を示す
☒	今回手はつり箇所を示す
▶	今回既設切断箇所を示す

注記)
既設配管サイズ、ルートは参考とし現場確認の上、施工のこと。
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。

冷暖配管配線セットサイズ表 (参考)

記号	液	ガス	備考
①	6.4φ	12.7φ	EM-C EE2 [®] -3C

*内外渡り配線は冷媒管巻き合わせ配線とする。
*リモコン取付位置は打合せにより決定とする。

凡例

—	今回撤去箇所を示す
---	今回既存箇所を示す
☒	今回手はつり箇所を示す
▶	今回既設切断箇所を示す

注記)
既設配管サイズ、ルートは参考とし現場確認の上、施工のこと。
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。
天井取外し復旧は建築工事とする。

平成29年度 花之木地区市民センター耐震補強及び共用トイレ改修工事

№	伊賀市大内地区	A1版
M-04	平面詳細図 (現況・改修後)	1/50
目付	空調換気設備	m/m
設計		棟員